PIXUS MP960

操作ガイド

本体操作編

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

J-1 QT5-0661-V01

本機でできるいろいろなコピー

印刷手順については、下記のページを参照してください。

両面コピー

本書65ページを参照してください。

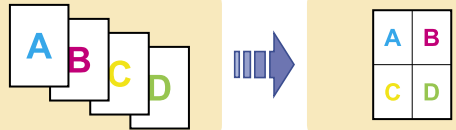
DVD/CD レーベルコピー

DVD/CD のレーベル面をプリンタブルディスクにコピーできます。本書 56 ページを参照してください。

2 in 1 コピー

本書66ページを参照してください。

4 in 1 コピー

本書 67 ページを参照してください。

フチなし／フチありコピー

本書 66 ページを参照してください。

フチなし
フチあり
繰り返しコピー

本書 67 ページを参照してください。

3 × 2（6 面）
3 × 4(12 面)

写真と手書きの文字を合成して印刷したい

手書きナビシートを使うと、パソコンを使わずにお気に入りの写真に手書きの文字やイラストを合成して印刷することができます。また手書き文字以外にも、サンプルデータ内のフレームや文字を合成し、年賀状など手書き文字入りの挨拶状やメッセージ入りのシールを作ることができます。

DVD/CD 手書きナビシートを使うと、写真に手書きの文字やイラストを合成して印刷することができます。

⇒「写真と手書きの文字を合成して印刷する－手書きナビシート印刷」（P.83）
⇒「写真と手書きの文字を合成して DVD/CD に印刷する－ DVD/CD 手書きナビシート印刷」（P.88）

目次

取扱説明書について

このたびは、キヤノン《PIXUS (ピクサス) MP960》をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、ご使用の前に取扱説明書をひととおりお読みください。

また、お読みになったあとは、必ず保管してください。操作中に使いかたがわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

本製品の取扱説明書について

各取扱説明書では PIXUS MP960 の操作や機能について説明しています。

Step 1

かんたんスタートガイド（本体設置編／ソフトウェアインストール編）

必ず、最初にお読みください。

本機の設置、パソコンとの接続、MP ドライバのインストールなど、本機をご購入後、初めて使用するまでに必要な説明が記載されています。

本体設置編には、設置、取り付けの説明が記載されています。ソフトウェアインストール編には、ソフトウェアのインストールの説明が記載されています。

Step 2

操作ガイド（本体操作編／お手入れ・困ったときには編）

印刷を開始するときにお読みください。

本体操作編には、用紙のセット方法やパソコンを使った印刷、スキャンの操作、DVD/CD に画像を印刷する操作、コピー、フォトプリントなど、本機をご使用いただく上で基本となる操作・機能の説明が記載されています。

お手入れ・困ったときには編には、インクタンクの交換方法や日常のお手入れ、困ったときの対処方法などの説明が記載されています。

＊以降、『操作ガイド（お手入れ・困ったときには編）』を、『操作ガイド（お手入れ編）』と呼びます。

Step 3

電子マニュアル

パソコンの画面で見る取扱説明書です。

本書には記載されていない使いかたやトラブルへの対処方法、『セットアップ CD-ROM』に付属しているアプリケーションソフトの使いかたなどについて詳しく知りたいときにお読みください。

電子マニュアル（取扱説明書）を表示する

電子マニュアル（取扱説明書）をパソコンの画面に表示する方法について説明します。

1　デスクトップ上のアイコン（　）をダブルクリックする

電子マニュアル（取扱説明書）の一覧が表示されます。

電子マニュアル（取扱説明書）をインストールしていなかったり、削除した場合は、『セットアップ CD-ROM』を使って、以下のどちらかの方法でインストールします。

- ［おまかせインストール］を選んで、MP ドライバ、アプリケーションソフトとともにインストール
- ［選んでインストール］から［電子マニュアル（取扱説明書）］を選んでインストール

Windows

- 『印刷設定ガイド』は、プリンタドライバの［操作説明］ボタンをクリックして、表示することもできます。

  ［操作説明］ボタンは、プリンタドライバの［基本設定］シートおよび［ユーティリティ］シートに表示されます。ただし、電子マニュアル（取扱説明書）がパソコンにインストールされている必要があります。
- 『スキャナ操作ガイド』は、スキャナドライバの　ボタンをクリックして、表示することもできます。

  　ボタンは、電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないとグレーアウトされます。また、MP Navigator の　?　ボタンをクリックして、表示することもできます。
- ［スタート］メニューから表示するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows® XP 以外をご使用の場合は［プログラム］）→［Canon MP960 マニュアル］→［MP960 電子マニュアル（取扱説明書）］の順に選びます。
- インストールした電子マニュアル（取扱説明書）を削除するときは、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows XP 以外をご使用の場合は［プログラム］）→［Canon MP960 マニュアル］→［アンインストーラ］の順に選びます。

  すべての電子マニュアル（取扱説明書）がまとめて削除されます。

Macintosh

- 『印刷設定ガイド』は、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［特殊効果］、［フチなし全面印刷］、または［両面印刷ととじしろ］の ? ボタンをクリックして、表示することもできます。ただし、電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、? ボタンをクリックしても表示されません。
- 『印刷設定ガイド』は、プリンタドライバを削除すると削除されます。プリンタドライバを再インストールする場合は、［電子マニュアル（取扱説明書）］もインストールしてください。
- 『スキャナ操作ガイド』は、スキャナドライバの　ボタンをクリックして、表示することもできます。

  　ボタンは、電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないとグレーアウトされます。また、MP Navigator の　?　ボタンをクリックして、表示することもできます。
- Finder のメニューバーから［ヘルプ］を選んでヘルプメニューを開き、［ライブラリ］をクリックすると、インストールされた電子マニュアル（取扱説明書）を選んで起動させることができます。

マイ プリンタ（Windows のみ）

本機のプリンタ機能の操作を手助けするソフトウェアです。

プリンタドライバやステータスモニタの画面を、ここからかんたんな操作で開くことができます。本機のプリンタ機能の設定や状態を、確認したり変更したりできます。

また、操作に困ったとき、対処方法をお知らせするメニューもあります。

デスクトップのアイコンをダブルクリックして、ラクラク操作を体験してみてください。

記号について

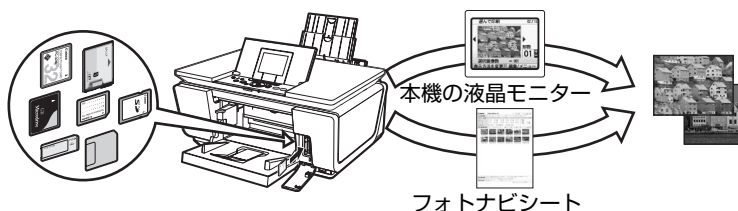
本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にご使用いただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
注意	取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
重要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。
参考	操作の参考になることや補足説明が書かれています。
Windows	Windows 独自の操作について記載しています。
Macintosh	Macintosh® 独自の操作について記載しています。

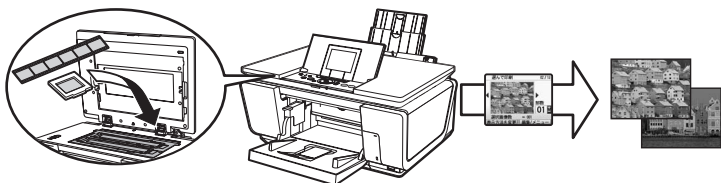
こんなことができます

■ メモリーカードの写真を印刷したい

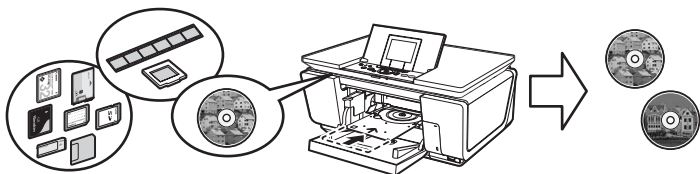
メモリーカードを本機にセットし、液晶モニターで確認しながら印刷したり、フォトナビシートを使って、かんたんに焼き増しすることができます。

⇒「メモリーカードから印刷してみよう」（P.68）

■ 写真やフィルムを読み込んで印刷したい

残しておきたい写真やフィルムなどを読み込んで、液晶モニターで確認しながら印刷することができます。

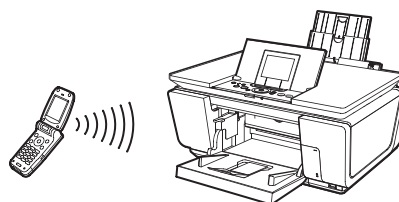
⇒「写真やフィルムから印刷してみよう」（P.93）

■ DVD/CD のレーベル面をコピーしたり、写真や画像を印刷したい

DVD/CD（プリンタブルディスク）に DVD/CD のレーベル面をコピーしたり、メモリーカードの写真や紙焼きの写真、フィルムを読み込んでレーベル面に印刷することができます。

⇒「DVD/CD に印刷してみよう」（P.49）

■ デジタルカメラや携帯電話で撮った写真をかんたんに印刷したい

本機に対応のデジタルカメラを接続すれば、カメラの操作でかんたんに印刷することができます。

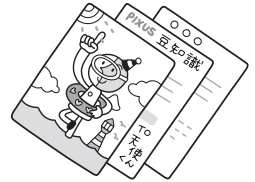
⇒「デジタルカメラと直接つないで印刷してみよう」（P.104）

赤外線通信や Bluetooth に対応した携帯電話から、撮影した写真をワイヤレスで印刷することができます（Bluetooth 通信機能はオプションです）。

⇒「ワイヤレス通信で印刷してみよう」（P.111）

～PIXUS豆知識　その1～

インクはどのように使われるの？

1 ほとんどのインクは印刷に使用されています

思い出の写真をキレイに楽しく印刷してね！

2 クリーニングでも少量のインクが使われます

きれいな印刷を保てるように、状況に応じて自動的にクリーニングを行います。
クリーニングとは、インクがふき出されるノズルから、わずかにインクを吸い出し、目づまりなどを防止する機能です。（クリーニングは手動で行うこともできます。）
クリーニングなどで使用したインクは、本機内部の「インク吸収体」とよばれる部分に吸収されます。

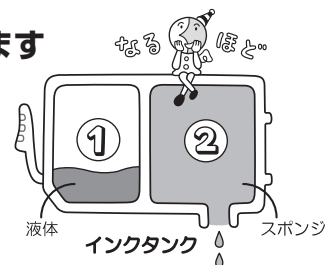
インク吸収体が満杯になると交換が必要になります。インク吸収体はお客様ご自身で交換はできませんので、必ずお客様相談センターまたは修理受付窓口に交換をご依頼ください。
満杯になる前に、エラーメッセージでお知らせします。

詳しくはこちら ➔ 『操作ガイド（お手入れ編）』の「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」

3 各色のインクのなくなりかたは均一なの？

- 印刷する画像の色合いや、印刷物の内容によって異なります。また2種類の黒インクは、印刷する用紙の種類やプリンタドライバの設定によって、自動的に使い分けられます。
  9PGBKは顔料インクで、主に文字中心の印刷の際に使われます。
  7eBKは染料インクで、主に写真やイラストなどの印刷の際に使われます。
- 黒のみの文章を印刷したり、モノクロ印刷をするときにも、ブラック以外のインクが使われることがあります。

まめまめ知識　インクが少なくなったらお知らせします

まず、①がなくなるとインクランプがゆっくり点滅し、インクが少なくなったことをお知らせします。
次に、②がなくなるとインクランプがはやく点滅し、新しいインクタンクへの交換をお知らせします。

詳しくはこちら ➔ 『操作ガイド（お手入れ編）』の「インクタンクを交換する」

～PIXUS豆知識　その2～

とくべつな用紙だから、「失敗したくない！」ときには

印刷前に本機の様子を確認しよう！

プリントヘッドの調子は OK?

ノズルチェックパターンで確認できます。

詳しくはこちら ➔
『操作ガイド（お手入れ編）』の「印刷にかすれやむらがあるときは」

本機の内部がインクで汚れていないかな？

大量に印刷したあとや、フチなし印刷を行ったあとは、用紙の通過部分がインクで汚れている場合があります。インク拭き取りクリーニングで、本機の内部をおそうじできます。

詳しくはこちら ➔
『操作ガイド（お手入れ編）』の「清掃する」の「インク拭き取りクリーニングを行う」

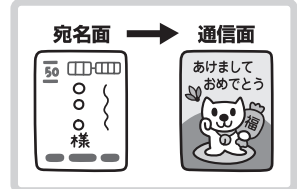
用紙のセットのしかたは大丈夫？

例えば、オートシートフィーダに専用紙、カセットに普通紙をセットすれば、用紙を入れ替える手間が省けます！

印刷したい面を**上**にしてセットする

印刷したい面を**下**にしてセットする

● はがきのセット（自動両面印刷のとき）

宛名面→通信面の順番で印刷します。そのため、用紙は宛名面を先に印刷するようにセットしてください。

● はがきのセット（片面ずつ印刷するとき）

通信面から先に印刷すると、よりキレイに仕上がります。

詳しくはこちら ➔「はがきに印刷するときは」（P.30）

反っている用紙は水平に伸ばしてからセットしてください。

詳しくはこちら ➔『操作ガイド（お手入れ編）』の「困ったときには」の「印刷結果に満足できない」の「反りのある用紙を使用している」

用紙に合わせてキレイに印刷！

プリンタドライバや接続するカメラの［用紙の種類］をセットした用紙に合わせてね

本機は最適な画質になるように、ご使用の用紙に合わせて印刷方法を変えています。
どのような紙をセットしたのか、本機に伝えると、最適な画質に合わせて印刷できます。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナ及び複合機（コンセントから電力を供給されるものに限る）で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

Exif Print について

本機は、「Exif Print」に対応しています。

Exif Print は、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。

Exif Print 対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

商標について

- Microsoft および Windows は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh および Mac は米国およびその他の国で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。
- Photo Rag は、Hahnemühle FineArt GmbH の商標です。
- SmartMedia、およびスマートメディアは、（株）東芝の商標です。
- メモリースティック、メモリースティック PRO、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO Duo は、ソニー（株）の商標です。
- xD-Picture カードは、富士写真フイルム（株）の商標です。
- MultiMediaCard は、MultiMediaCard Association の商標です。
- SD カード、および miniSD カードは、SD Association の商標です。
- DCF は、（社）電子情報技術産業協会の団体商標で、日本国内における登録商標です。
- DCF ロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- IrDA は、Infrared Data Association の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth SIG, Inc. の商標であり、キヤノンはライセンスに基づいて使用しています。

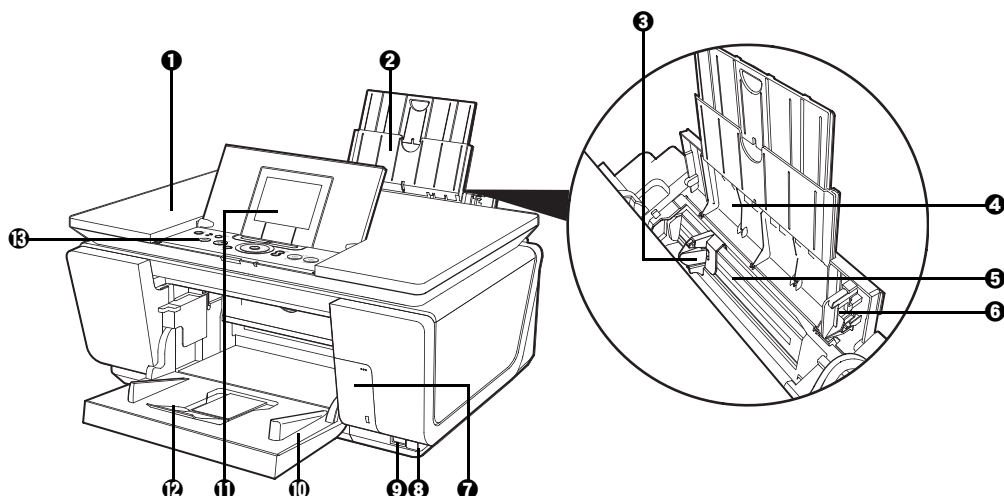
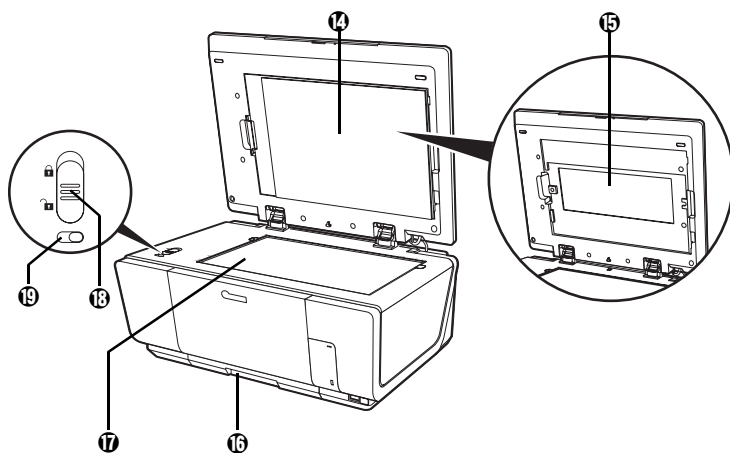
お客様へのお願い

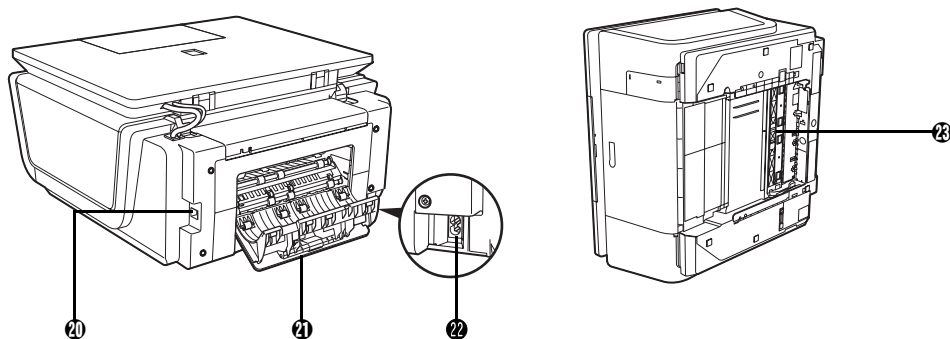
- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一誤りや記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、キヤノンお客様相談センターまでご連絡ください。
  連絡先は、別紙の『サポートガイド』に記載しています。
- 本機を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

Bluetooth ID:B02954

各部の名称と役割

各部名称と役割、メニューの表示方法について説明します。

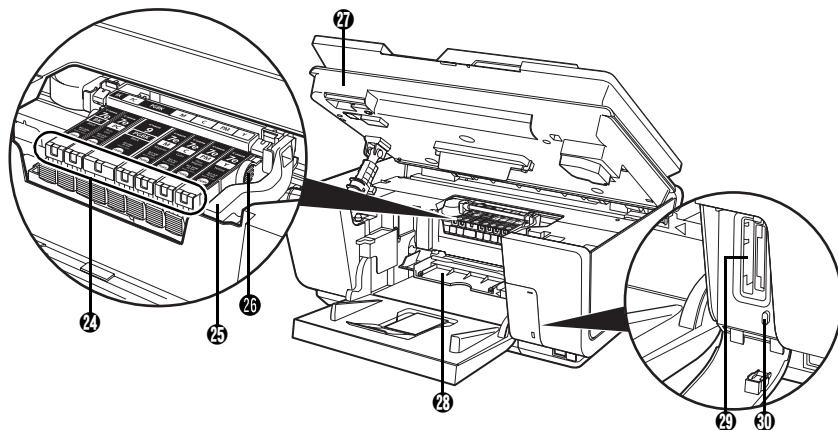
前面

❶	**原稿台カバー**	原稿台ガラスに原稿をセットするときに開けます。
❷	**用紙サポート**	セットした用紙を支えます。用紙をセットする前に、丸いくぼみに指をかけて止まるまで引き出してください。
❸	**用紙ガイド**	用紙をセットしたときに、つまんで動かし、用紙の左端に合わせます。
❹	**給紙口カバー**	オートシートフィーダに用紙をセットするときに開けます。
❺	**オートシートフィーダ**	さまざまな用紙をかんたんにセットできます。一度に複数枚の用紙がセットでき、自動的に一枚ずつ給紙されます。
❻	**カバーガイド**	用紙をセットしたときに、用紙の右側を合わせます。
❼	**カードスロットカバー**	メモリーカードをセットするときにカバーを押して開けます。⇒ P.69
❽	**赤外線ポート**	赤外線通信で携帯電話から送られてきた写真データを受信します。⇒ P.113
❾	**カメラ接続部**	PictBridge 対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などから直接印刷するときに使います。 ⇒ P.104 また、オプションの Bluetooth ユニット BU-20 を取り付けると、Bluetooth 通信を利用してワイヤレスで印刷できます。⇒ P.114
❿	**排紙トレイ**	印刷された用紙が排出されます。排紙トレイが閉じていても、コピーや印刷が開始されたときは自動的に開きます。 使用しないときは閉じておいてください。
⓫	**液晶モニター**	メッセージ、メニュー項目、動作状況が表示されます。
⓬	**排紙補助トレイ**	排出された用紙を支えます。印刷する前に開いてください。
⓭	**操作パネル**	本機の設定や操作をするときに使用します。⇒ P.12

⑭	**FAU（フィルムアダプタユニット）保護シート**	FAU ランプや原稿台ガラスを保護します。また、裏面にフィルムの読み込みを行うときに使用するフィルムガイドを収納できます。 フィルムの読み込みを行うときは外してください。フィルム以外の原稿（書類や写真など）をコピーまたはスキャンするときは、必ず取り付けてください。
⑮	**FAU ランプ**	フィルムに光を当てる光源部です。
⑯	**カセット**	よく使う用紙をセットして、本機に差し込みます。一度に複数枚の用紙がセットでき、自動的に一枚ずつ給紙されます。 * シール用紙、名刺サイズ用紙、カードサイズ、アート紙の用紙はカセットからは給紙できません。
⑰	**原稿台ガラス**	原稿をセットします。
⑱	**スキャナロックスイッチ**	本機を移動させるときなどに原稿読み取り部が動かないようにロックします。電源を入れる前に必ずロックを解除してください。
⑲	**スキャナユニット検知ボタン**	原稿台カバーを開いている間、スキャナユニット（プリンタカバー）をロックするボタンです。原稿台カバーを閉じるとボタンが押され、スキャナユニット（プリンタカバー）を開くことができます（このボタンの操作は不要です）。

背面および底面

⑳	**USB ケーブル接続部**	USB ケーブルでパソコンと接続するためのコネクタです。

パソコンに本機を接続して印刷または画像を読み込んでいるときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに USB ケーブルを抜き差ししないでください。

㉑	**背面カバー**	紙づまりのときに開けます。
㉒	**電源コード接続部**	付属の電源コードを接続するためのコネクタです。

㉓	**両面搬送部**	紙づまりのときに、カセットを取り外して開けます。

内部

㉔	**インクランプ**	赤色に点灯／点滅し、インクタンクの状態を知らせます。
㉕	**プリントヘッド固定レバー**	プリントヘッドを固定します。 重要 プリントヘッドを取り付けたら、このレバーを上げないでください。
㉖	**プリントヘッドホルダ**	プリントヘッドを取り付けます。
㉗	**スキャナユニット（プリンタカバー）**	原稿を読み込むユニットです。インクタンクを交換するときや紙づまりのときに開けます。
㉘	**CD-R トレイガイド**	CD-R トレイをセットします。DVD/CD に印刷するときに手前に倒してください。用紙に印刷するときは閉じてください。
㉙	**カードスロット**	メモリーカードをセットします。⇒ P.69
㉚	**アクセスランプ**	メモリーカードをセットすると点灯し、読み取り／書き込み中は点滅します。⇒ P.69

参考

- プリントヘッドとインクタンクの取り付け方法は、『かんたんスタートガイド（本体設置編）』を参照してください。

インクランプの表示について

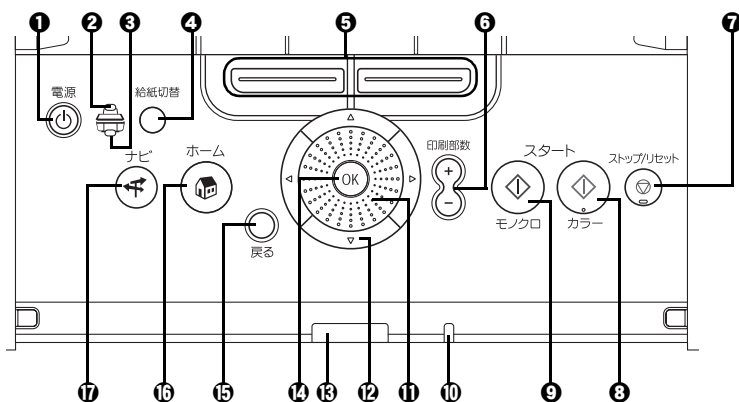
- インクランプの表示により、インクタンクの状態を確認できます。

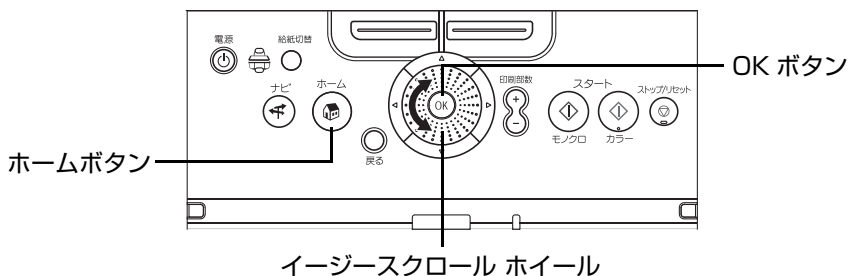
点灯 .... 印刷可能な状態です。

ゆっくり点滅（約 3 秒間隔）............. インクが少なくなっています。印刷を続行することはできますが、交換用インクタンクのご用意をお勧めします。『操作ガイド（お手入れ編）』の「インクタンクを交換する」を参照してください。

はやく点滅（約 1 秒間隔）................. インクがなくなっているか、エラーが発生し、印刷できない状態です。

消灯 .... インクタンクが正しく取り付けられているか確認してください。
インクタンクを取り付け直してもインクランプが消灯している場合は、エラーが発生し、印刷できない状態です。

操作パネルの名称と役割

❶	**電源ボタン**	電源を入れる／切るときに押します。電源を入れるときは、原稿台カバーを閉じてください。
❷	**オートシートフィーダランプ**	オートシートフィーダが選ばれているときに点灯します。
❸	**カセットランプ**	カセットが選ばれているときに点灯します。
❹	**給紙切替ボタン**	給紙箇所を切り替えるときに押します。ボタンを押すたびにオートシートフィーダとカセットが切り替わります。
❺	**ファンクションボタン**	液晶モニターの下に表示されるメニューを選ぶときに使います。⇒ P.14
❻	**＋－ボタン**	コピー部数や印刷部数を選ぶときに使います。
❼	**ストップ / リセットボタン**	操作を取り消すときに使います。また印刷中にこのボタンを押すと、印刷を中止します。
❽	**カラースタートボタン**	カラーコピー、カラーフォトプリント、またはカラースキャンを開始します。
❾	**モノクロスタートボタン**	白黒コピーまたは白黒スキャンを開始します。
❿	**エラーランプ**	エラーが発生したとき、または用紙やインクがなくなったときなどにオレンジ色に点灯または点滅します。
⓫	**Easy-Scroll Wheel（イージースクロールホイール）**	メニュー項目や設定項目を選ぶときに左右に回して使います。⇒ P.13
⓬	**▲▼◀▶ ボタン**	メニュー項目や設定項目を選ぶときは、Easy-Scroll Wheel（イージースクロールホイール）以外に ▲▼◀▶ ボタンでも操作することができます。
⓭	**電源ランプ**	青色に点灯または点滅し、電源のオン／オフの状態を知らせます。
⓮	**OK ボタン**	メニュー項目や設定項目を確定します。また印刷途中でのエラーから復帰するときや、紙づまりを取り除いたあと、復帰するときに使います。
⓯	**戻るボタン**	1 つ前の画面に戻ります。
⓰	**ホームボタン**	ホーム画面を表示するときに使います。ホーム画面から各モードに切り替えることができます。⇒ P.13
⓱	**ナビボタン**	お使いになりたい機能をかんたんな操作で呼び出します。⇒ P.14

操作パネルの基本操作について

イージースクロール ホイール

左右に回して項目を選ぶことができます。選ばれている項目は、色が反転したり、囲みが付いたりします。項目は ▲▼◀▶ ボタンでも選ぶことができます。

ホームボタン

ホーム画面から各メニューを表示させるまでの手順を説明します。

1 ホーム画面を表示する

❶ ホームボタンを押します。
ホーム画面が表示されます。

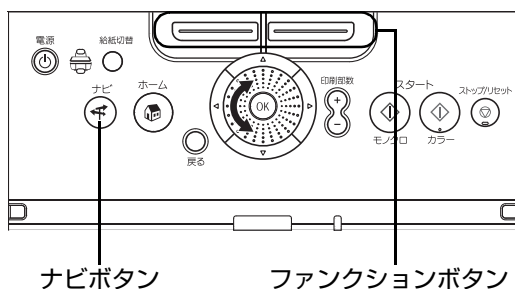
2 メニューを選ぶ

❶ イージースクロール ホイールを回してメニューを選び、OK ボタンを押します。
例：[メモリーカード］を選びます。
選んだメニューの画面が表示されます。

ホーム画面では以下のメニューを選ぶことができます。

コピー	いろいろなレイアウトのコピーができます。⇒「コピーをとろう」(P.62)
スキャン	操作パネルを使って原稿をパソコンに読み込むことができます。⇒「スキャンしてみよう」(P.45)
DVD/CD 印刷	読み込んだ写真や画像を、DVD/CD（プリンタブルディスク）に印刷することができます。⇒「DVD/CD のレーベル面に印刷する」(P.56)

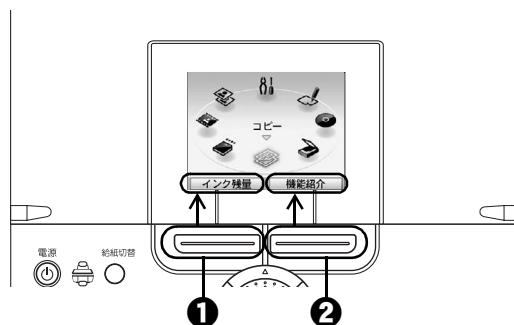
らく楽フォトシート	フォトナビシートでかんたんにメモリーカードの写真を印刷したり、手書きナビシートや DVD/CD 手書きナビシートで手書き文字やイラストを合成して、はがきや DVD/CD に印刷することができます。⇒「便利なシートを使って印刷する」(P.80)
設定	本機のお手入れをしたり、本機の設定を変更することができます。詳しくは、『操作ガイド(お手入れ編)』の「印刷にかすれやむらがあるときは」、「清掃する」または「本機の設定を変更する」を参照してください。
かんたん写真焼増し	紙焼きの写真を読み込んで印刷することができます。⇒「写真やフィルムから印刷してみよう」(P.93)
フィルム印刷	35 mm フィルム(スリーブ、マウント)の画像を読み込んで印刷することができます。⇒「写真やフィルムから印刷してみよう」(P.93)
メモリーカード	デジタルカメラのメモリーカードに保存されている写真を印刷することができます。⇒「メモリーカードから印刷してみよう」(P.68)

その他のボタン

■ ナビボタン

お使いになりたい機能を、かんたんな操作で呼び出すことができます。メニューからお使いになりたい機能を選んで、OK ボタンを押してください。

■ ファンクションボタン

液晶モニターの下に表示されるメニューは、2 つのファンクションボタンで選ぶことができます。

液晶モニターに表示された画面に応じて、ファンクションボタンを押したときに表示される画面は異なります。

❶	ファンクションボタン(左)	ホーム画面では、ファンクションボタン(左 / [インク残量])を押すと、インク残量画面が表示されます。
❷	ファンクションボタン(右)	ホーム画面では、ファンクションボタン(右 / [機能紹介])を押すと、選んだメニューの機能紹介が表示されます。

その他の画面で押すと、操作方法やメニューなどが表示されます。

本機の電源を入れる／切る

印刷を開始する前に、本機の電源を入れます。

電源を入れる

電源を入れる前に、以下の準備が終わっていることを確認してください。

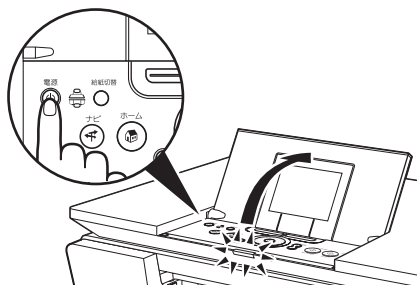
- プリントヘッドとインクタンクがセットされている。

パソコンと接続してご使用になる場合は、以下の準備が終わっていることも確認してください。

- パソコン（接続機器）と接続されている。
- MP ドライバがインストールされている。

上記の準備操作が行われていない場合は、『かんたんスタートガイド（本体設置編／ソフトウェアインストール編）』にしたがって準備してください。

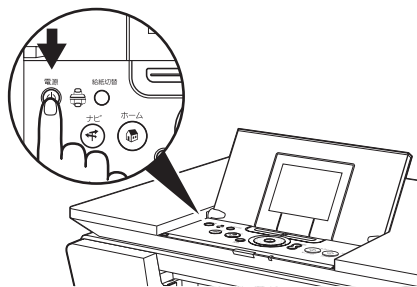
1 操作パネルを開いて、本機の電源ボタンを押して電源を入れる

電源ランプが青色に点滅後、点灯します。

エラーランプがオレンジ色に点灯または点滅し、液晶モニターにエラーメッセージが表示された場合は、『操作ガイド（お手入れ編）』の「困ったときには」の「液晶モニターにエラーメッセージが表示されている」を参照してください。

2 パソコンと接続している場合は、パソコンの電源を入れる

電源を切る

1　本機の電源ボタンを押して電源を切る

電源ランプの点滅が終わると電源が切れます。

電源プラグについて

電源を切ったあと、電源プラグを抜くときは、必ず電源ランプが消灯していることを確認してください。電源ランプが青色に点灯／点滅しているときに電源プラグをコンセントから抜くと、その後、印刷できなくなることがあります。

電源を切るときは、『操作ガイド（お手入れ編）』の「インクタンクを交換する」の「きれいな印刷を保つために（プリントヘッドの乾燥・目づまり防止）」もあわせて参照してください。

■ パワーセーブモードについて

本機は一定時間操作しないとパワーセーブモードになります。パワーセーブモードになると、原稿台ガラスの内部にあるランプ（読み込みランプ）が消灯し、電源ランプのみ点灯します。パワーセーブモードに入るまでの時間は設定することができます。詳しくは、『操作ガイド（お手入れ編）』の「本機の設定を変更する」を参照してください。

コピーやスキャンを行おうとすると、パワーセーブモードから復帰します。

頻繁にご使用になる場合は、パワーセーブモードに入るまでの時間を 1 時間または 4 時間に設定することをお勧めします。初期設定は 1 時間です。

■ 液晶モニターの自動消灯について

液晶モニターは 5 分間本機を何も操作しないと消灯します。いずれかのボタンを押すと復帰します。液晶モニターが消灯するまでの時間は変更することができません。

コピーやスキャンする原稿をセットする

コピーやスキャンを行う場合の原稿を、原稿台ガラスにセットする方法について説明します。

こんな原稿が使えます

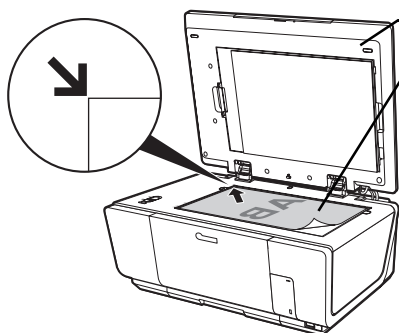
原稿台ガラスにセットして、コピーまたはスキャンできる原稿は、次のとおりです。

原稿の種類	● 書類 ● 写真 ● 本 ● DVD/CD ● フィルム ※ 35 mm スリーブフィルム（ポジ／ネガ）、35 mm マウントフィルムについては「フィルムを読み込もう」（P.96）を参照してください。
サイズ（幅×長さ）	最大 216 mm × 297 mm
厚さ	最大 25 mm

原稿をセットしよう

原稿台ガラスにコピーまたはスキャンしたい原稿をセットします。写真のセットのしかたは「写真を読み込もう」（P.94）、フィルムのセットのしかたは「フィルムを読み込もう」（P.96）を参照してください。

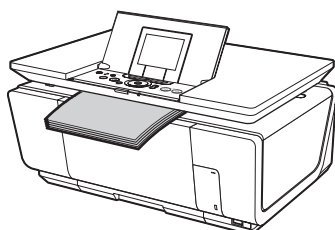
原稿にのり、インク、修正液などを使ったときは、完全に乾いてから原稿台ガラスにセットしてください。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

❶ 原稿台カバーを開けます。

❷ 原稿を原稿台ガラスにセットします。

原稿はコピーまたはスキャンする面を下向きにして原稿台にのせてください。

原稿の左上隅を原稿台ガラスの左上隅にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせます。

- 原稿台ガラスに 2 kg 以上の物をのせないでください。
- 原稿を強く（2 kg を超える力で）押さえたり重みをかけないでください。強く押さえすぎるとスキャナが正しく操作しなくなったり、ガラスの破損などの危険があります。

- 原稿台ガラスの奥側の端から約 1 mm と左側の端から約 1 mm は読み込めません。
- 本などの厚い原稿（最大 25 mm）を読み込むこともできます。原稿をセットするときと同じように、原稿台ガラスにセットします。

2 原稿台カバーをゆっくり閉じる

用紙をセットする

印刷する用紙をオートシートフィーダまたはカセットにセットする方法について説明します。

用紙について

■ 本機で使用できる用紙の種類

用紙の名称	型番	最大積載枚数		本機の設定 [用紙の種類]
		オートシートフィーダ	カセット	
普通紙	—	厚さ 13 mm 以下	厚さ 13 mm 以下	普通紙
封筒 *1	—	約 10 枚	約 5 枚	—
はがき／年賀はがき	—	約 40 枚	約 40 枚	普通紙
インクジェットはがき／インクジェット紙年賀はがき	—	約 40 枚	約 40 枚	インクジェットはがき（通信面） 普通紙（宛名面）
往復はがき *1	—	約 40 枚	約 40 枚	—
インクジェット光沢はがき／写真用年賀はがき	—	約 20 枚	約 20 枚	インクジェットはがき（通信面） 普通紙（宛名面）
高品位専用紙 *1	HR-101S A4 HR-101S B5	約 80 枚 約 80 枚	約 80 枚 約 80 枚	—
スーパーホワイトペーパー	SW-101 A4 SW-201 A4	厚さ 13 mm 以下	厚さ 13 mm 以下	普通紙
ハイグレードコートはがき	CH-301	40 枚	40 枚	インクジェットはがき（通信面） 普通紙（宛名面）
フォト光沢ハガキ	KH-201N	20 枚	20 枚	光沢紙（通信面） 普通紙（宛名面）
プロフェッショナルフォトはがき *2	PH-101	20 枚	20 枚	プロフォトペーパー（通信面） 普通紙（宛名面）
エコノミーフォトペーパー	EC-101 L EC-101 2L EC-101 カード EC-201 L	20 枚 10 枚 20 枚 20 枚	20 枚 10 枚 使用できません *3 20 枚	光沢紙
キヤノン光沢紙	GP-401 A4	10 枚	10 枚	光沢紙
スーパーフォトペーパー *2	SP-101 A4 SP-101 L SP-101 2L	10 枚 20 枚 10 枚	10 枚 20 枚 10 枚	スーパーフォト
キヤノン写真用紙・絹目調 *2	SG-201 A4 SG-201 L SG-201 2L SG-201 六切	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	スーパーフォト
スーパーフォトペーパー・両面 *1 *2	SP-101D A4 SP-101D 2L	10 枚 10 枚	10 枚 10 枚	—
プロフェッショナルフォトペーパー *2	PR-101 A4 PR-101 L PR-101 2L PR-101 六切 PR-101 ワイド	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚 20 枚	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚 20 枚	プロフォトペーパー

用紙の名称	型番	最大積載枚数		本機の設定 [用紙の種類]
		オートシートフィーダ	カセット	
マットフォトペーパー	MP-101 A4 MP-101 L	10 枚 20 枚	10 枚 20 枚	マットフォト
ファインアートペーパー・“Photo Rag” *1 *6 *7	FA-PR1 A4	1 枚	使用できません *3	—
T シャツ転写紙 *1	TR-301	1 枚	1 枚	—
ピクサスプチシール *5 *8（16 面光沢フォトシール）	PS-101	1 枚	使用できません *3	スーパーフォト
ピクサスプチシール・フリーカット *5 *8	PS-201	1 枚	使用できません *3	スーパーフォト
フォトシールセット *5 *8（2 面 /4 面 /9 面 /16 面）	PSHRS	1 枚	使用できません *3	スーパーフォト
片面光沢名刺用紙 *4	KM-101	20 枚	使用できません *3	スーパーフォト
両面マット名刺用紙 *4	MM-101	20 枚	使用できません *3	スーパーフォト

「型番」のあるものは、キヤノン純正紙です。

*1 パソコンからの印刷にのみ使用できます。

*2 用紙を重ねてセットすると、用紙を引き込む際に印刷面に跡が付いてしまう場合があります。その場合は、用紙を 1 枚ずつセットしてください。

*3 カセットから給紙した場合、故障の原因になることがありますので、必ずオートシートフィーダにセットしてください。

*4 テキストデータを印刷する場合、データは名刺サイズ（55 mm × 91 mm）で作成し、上下左右の余白を 5 mm 程度に設定してください。詳しくは『プリンタガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

*5『セットアップ CD-ROM』に付属の Easy-PhotoPrint を使うと印刷の設定がかんたんにできます。パソコンにインストールしてご使用ください。

*6 キヤノン純正紙は最適な印刷品質を得られるように製造・管理されています。キヤノン純正紙のご使用をお勧めします。

*7 ファインアートペーパーをご使用の場合は、用紙の上下端 35 mm は印刷されません。ファインアートペーパー専用の用紙サイズを選択すると、上下端 35 mm には印刷しないように制限がかかります。印刷を行う前に印刷内容をプレビュー画面に表示させて印刷範囲を確認することをお勧めします。プレビューについて、詳しくは『印刷設定ガイド』を参照してください。

*8 紙焼きの写真を読み込んでシール紙に印刷するときは、［かんたん写真焼増し］から［シール紙印刷］を選び印刷してください。⇒ P.102
フィルムの写真を読み込んでシール紙に印刷するときは、［フィルム印刷］から［シール紙印刷］を選び印刷してください。⇒ P.102
メモリーカードの写真をシール紙に印刷するときは、［メモリーカード］から［シール紙印刷］を選び印刷してください。⇒ P.75
携帯電話の写真をシール紙に印刷するときは、［ワイヤレス印刷設定］で用紙サイズに［シール紙］を指定することで印刷することができます。⇒ P.111

- パソコンから印刷をするときの、用紙サイズと用紙の種類の設定方法については、『プリンタガイド（電子マニュアル）』を参照してください。
- 携帯電話の写真を印刷するときの、用紙サイズと用紙の種類の設定方法については、「印刷する用紙やレイアウトを設定する」（P.111）を参照してください。

用紙について、詳しくは『プリンタガイド（電子マニュアル）』の「いろいろな用紙に印刷してみよう」を参照してください。

■ 使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。

- 折れている／反りのある／しわが付いている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ 64 g/m^2 未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外で重さ 105 g/m^2 を超えるもの）

  * ただし他社製のアート紙などの場合は重さ 200 g/m^2 までお使いいただけます。詳しくは、『プリンタガイド』の「キヤノン純正紙以外の特殊な用紙」を参照してください。
- 絵はがき
- 一度折り曲げた往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- ふたが二重になっている封筒
- ふたがシールになっている封筒
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒
- 穴のあいている用紙
- 長方形以外の形状の用紙
- ステープルや粘着剤などでとじている用紙
- 粘着剤の付いた用紙
- 表面にラメなどが付いている用紙

一般のはがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断して A5 サイズより小さい用紙（はがき／ L 判など）に印刷するときは、各モードの［用紙の種類］で［普通紙］を選択してください。［普通紙］以外を選択すると、紙づまりの原因になります。

印刷に適した用紙を選ぶ

写真や文書のための用紙はもちろん、シール用紙やはがきなど、印刷の楽しさを広げる各種専用紙が用意されています。
それぞれの用紙について詳しくは、『プリンタガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

写真を印刷するには

- エコノミーフォトペーパー
- キヤノン光沢紙
- スーパーフォトペーパー
- キヤノン写真用紙・絹目調
- スーパーフォトペーパー・両面
- プロフェッショナルフォトペーパー
- マットフォトペーパー
- ファインアートペーパー・“Photo Rag”

ビジネス文書を印刷するには

- 高品位専用紙

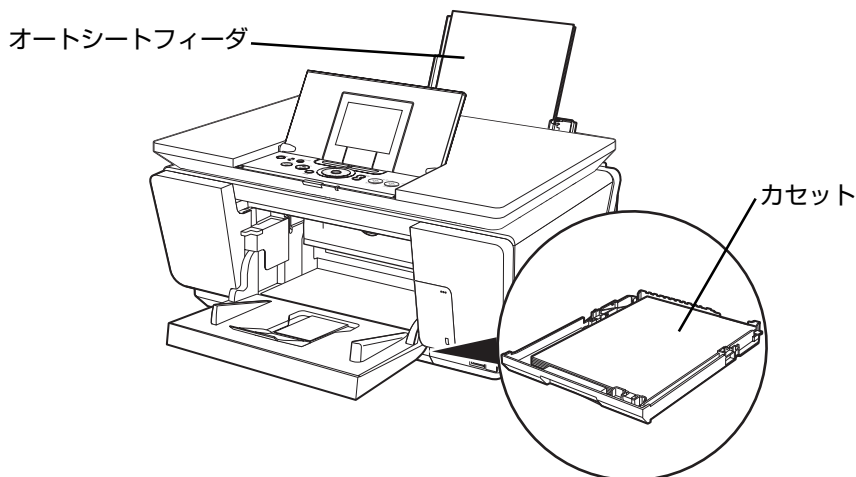
オリジナルグッズを作るには

- T シャツ転写紙
- ピクサスプチシール
- ピクサスプチシール・フリーカット
- フォトシールセット
- 片面光沢名刺用紙
- 両面マット名刺用紙

年賀状、挨拶状を印刷するには

- ハイグレードコートはがき
- フォト光沢ハガキ
- プロフェッショナルフォトはがき

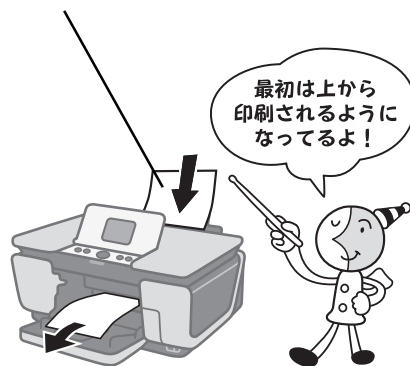
用紙のセット位置について－オートシートフィーダとカセット

本機には 2 つの給紙箇所があり、上部のオートシートフィーダと前面のカセットの 2 箇所に用紙をセットすることができます。

● はじめて印刷するときは

ご購入時はオートシートフィーダから普通紙を給紙する設定になっています。

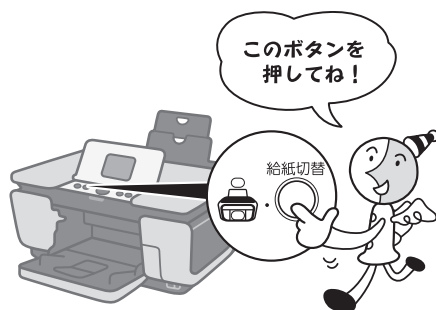
用紙はオートシートフィーダにセットしてください。

用紙のセット方法については「オートシートフィーダに用紙をセットする」（P.25）を参照してください。

オートシートフィーダに
普通紙をセットしよう！

● 給紙箇所を変更する場合は

オートシートフィーダから給紙する場合はオートシートフィーダランプが、カセットから給紙する場合はカセットランプがそれぞれ点灯します。

印刷を開始する前に給紙箇所と実際に用紙をセットした箇所が合っているか確認してください。給紙箇所は、給紙切替ボタンを押すだけで、かんたんに切り替えることができます。給紙箇所の変更方法については「給紙箇所を変更する」（P.24）を参照してください。

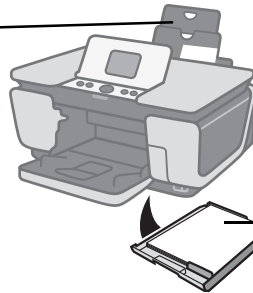
給紙箇所はプリンタドライバで切り替えることもできます。プリンタドライバの設定については『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

■ オートシートフィーダとカセットの便利な使いかた

どのような用紙を使用することが多いのかによって、オートシートフィーダとカセットを使い分けましょう。

● 写真用紙やはがきなど、いろいろな用紙に印刷したいときは

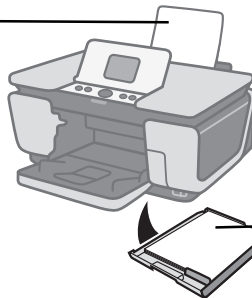
例えば、オートシートフィーダにはがき、カセットに普通紙をセットすれば、給紙切替ボタンを押すだけで 2 種類の用紙を使い分けることができます。

また、プリンタドライバで、カセットから給紙する用紙のサイズと種類をあらかじめ設定しておくと、給紙箇所を自動的に切り替えることができるので、よく使う用紙を設定しておくと効率よく印刷することができます。

- 用紙サイズや種類によっては、必ずオートシートフィーダを使わなければならないものもあります。詳しくは、「用紙について」（P.18）を参照してください。用紙のセット方法については「用紙のセット方法について」（P.24）を参照してください。
- プリンタドライバの設定については『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

● 普通紙にたくさん印刷したいときは

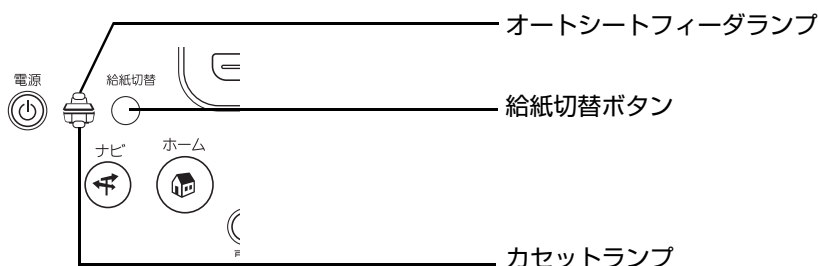
同じサイズの普通紙を両方の給紙箇所にセットしておき、プリンタドライバで、用紙なし時に自動的に給紙箇所を切り替えるように設定しておくと、印刷中にどちらか一方の用紙がなくなったときに、自動的にもう一方の給紙箇所から用紙を給紙することができます。

用紙のセット方法については「用紙のセット方法について」（P.24）を参照してください。

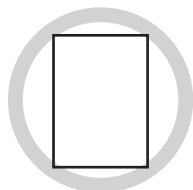
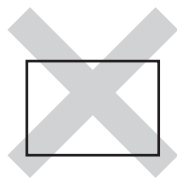
プリンタドライバの設定については、『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

給紙箇所を変更する

印刷を開始する前に給紙箇所と実際に用紙をセットした箇所が合っているか確認してください。給紙切替ボタンを押すと給紙箇所が切り替わります。

パソコンから印刷する場合

- プリンタドライバで［給紙方法］が［給紙切替ボタンに従う］に設定されていないと、印刷時に本機の給紙切替ボタンが有効になりません。プリンタドライバの設定を確認してください。⇒「パソコンから印刷する」（P.38）
- プリンタドライバで［給紙切替ボタンに従う］以外の給紙方法が選ばれている場合は、印刷時にプリンタドライバの設定が優先されます。プリンタドライバによる給紙箇所の切り替えについては、『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

オートシートフィーダから給紙する場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットから給紙する場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

用紙のセット方法について

- 普通紙をはがき、L 判、2L 判、名刺、カードサイズの大きさに切って試し印刷すると、紙づまりの原因になります。
- 往復はがきはパソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- 往復はがきにフチなし全面印刷はできません。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り曲げると、正しく給紙できず印字ずれや紙づまりの原因になります。
- 用紙は縦方向にセットしてください。横方向にセットすると紙づまりの原因となります。

縦方向

横方向

- キヤノン純正紙については、「印刷に適した用紙を選ぶ」（P.21）を参照してください。
- キヤノン純正紙のセット方法については『プリンタガイド（電子マニュアル）』の「いろいろな用紙に印刷してみよう」を参照してください。

普通紙に印刷するときは

- 複写機などで使用される一般的なコピー用紙やキヤノン純正紙スーパーホワイトペーパー SW-101 が使用できます。用紙の両面に印刷する場合は、スーパーホワイトペーパー SW-201 がお勧めです。

  用紙サイズ：　［定型紙］A4、B5、A5、レター、リーガル（オートシートフィーダのみ）
  ［非定型紙（オートシートフィーダ）］最小（横 54.0 mm ×縦 86.0 mm）、最大（横 215.9 mm ×縦 584.2 mm）
  ［非定型紙（カセット）］最小（横 89.0 mm ×縦 127.0 mm）、最大（横 215.9 mm ×縦 297.0 mm）

  用紙の重さ：　64 ～ 105 g/m^2（キヤノン純正紙以外の普通紙）

  * ただし他社製対応用紙（アート紙など）の場合は重さ 200 g/m^2 までお使いいただけます。詳しくは、『プリンタガイド』の「キヤノン純正紙以外の特殊な用紙」を参照してください。この重さを越える用紙（キヤノン純正紙以外）は、紙づまりの原因となりますので使用しないでください。
- 64 g/m^2 で約 150 枚（高さ 13 mm）までセットできます。ただし用紙の種類やご使用の環境（高温・多湿や低温・低湿の場合）によっては、正常に紙送りできない場合があります。この場合は、セットする枚数を約半分（高さ 5 mm 程度）に減らしてください。
- 印刷後の用紙が排紙トレイに 50 枚以上たまる前に、用紙を取り除いてください。

はがきに印刷するときは

- 一般のはがき、往復はがき、インクジェットはがき、インクジェット光沢はがき、年賀はがき、インクジェット紙年賀はがき、写真用年賀はがき、キヤノン純正紙プロフェッショナルフォトはがき PH-101、フォト光沢ハガキ KH-201N、ハイグレードコートはがき CH-301 に印刷できます。
- インクジェット光沢はがき、写真用年賀はがき、プロフェッショナルフォトはがき、およびフォト光沢ハガキは 20 枚、その他のはがきは 40 枚までセットできます。
- はがきを持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。

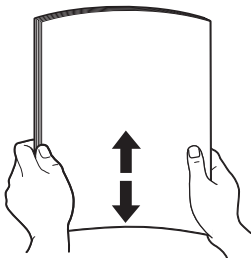
  ⇒「印刷に適した用紙を選ぶ」（P.21）

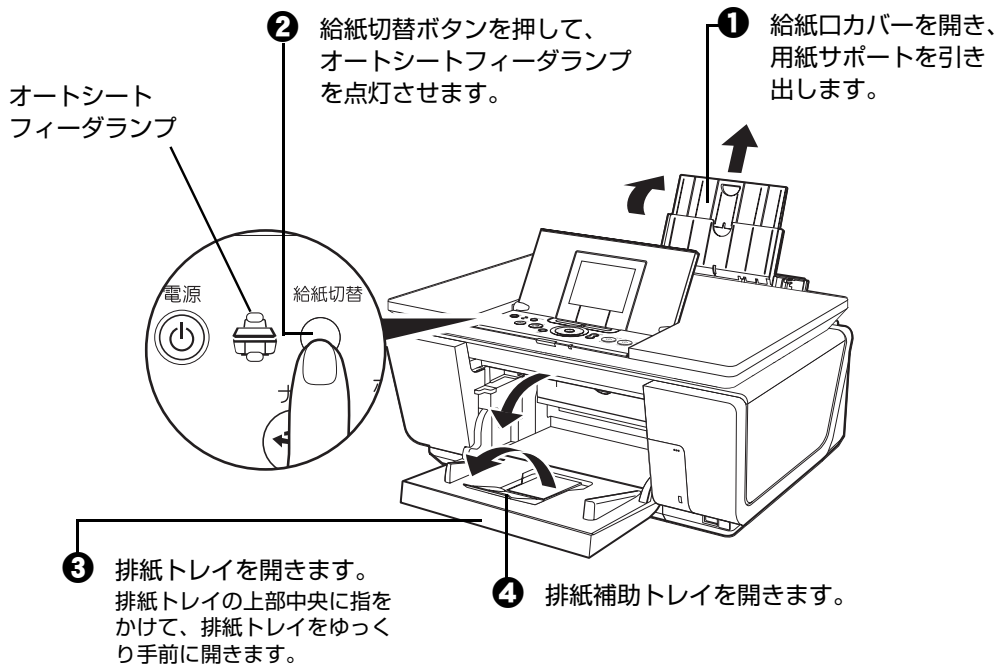
L 判、2L 判、名刺、カードサイズの用紙に印刷するときは

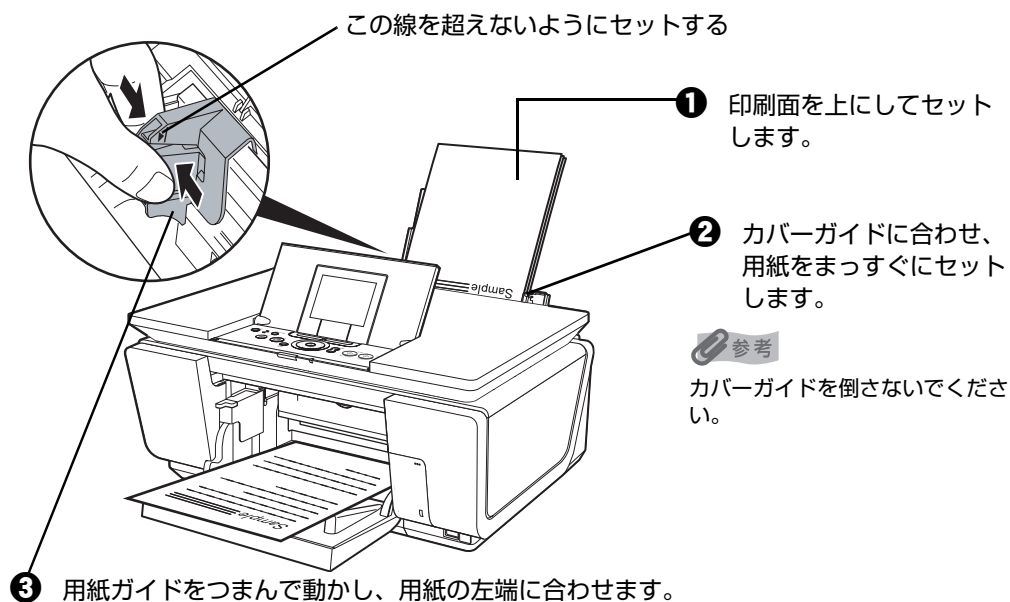
- 名刺、カードサイズの用紙はオートシートフィーダにセットしてください。
- L 判は 20 枚、2L 判は 10 枚、名刺（オートシートフィーダのみ）、カードサイズ（オートシートフィーダのみ）は 20 枚までセットできます。
- 写真を印刷するときは、キヤノン純正の写真専用紙のご使用をお勧めします。

  ⇒「印刷に適した用紙を選ぶ」（P.21）

■ オートシートフィーダに用紙をセットする

1　セットする用紙をそろえる

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、逆向きに曲げて反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、『操作ガイド（お手入れ編）』の「困ったときには」の「印刷結果に満足できない」の「反りのある用紙を使用している」を参照してください。
- 用紙の反りを防ぐため、以下のような取り扱いをお勧めします。
  －使用しない用紙は、用紙が入っていたパッケージに入れて、水平にして保管してください。
  －印刷する直前に、印刷する枚数の用紙だけをパッケージから出して使用してください。

2　用紙をセットする準備

オートシートフィーダとカセットの切り替えはプリンタドライバからも設定できます。
プリンタドライバの設定については『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

3　用紙をセットする

参考

カバーガイドを倒さないでください。

はがきは左のように郵便番号を下にしてセットします。

パソコンを使わずにコピーやダイレクト印刷をする場合、各モードの［用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選びます。各モードの設定については「用紙と印刷の設定について」（P.34）を参照してください。

また、パソコンに接続してご使用になる場合、プリンタドライバの［用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選びます。

プリンタドライバの設定については「パソコンから印刷する」（P.38）を参照してください。

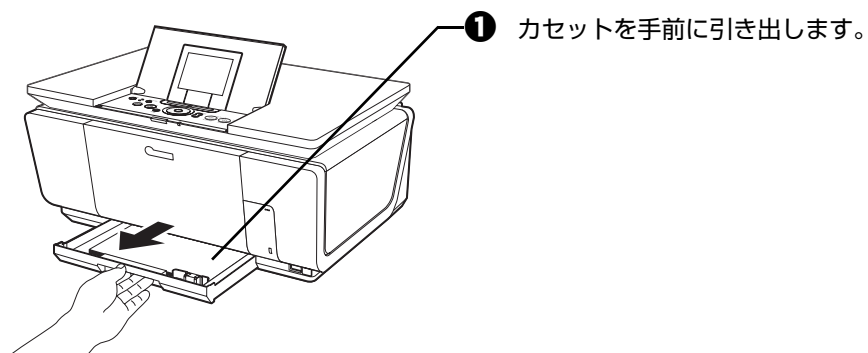
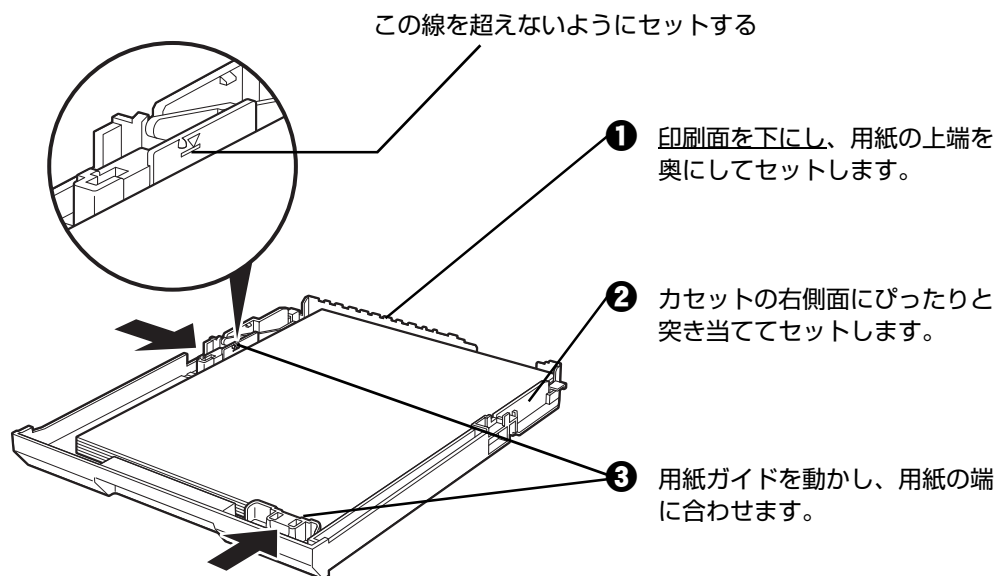
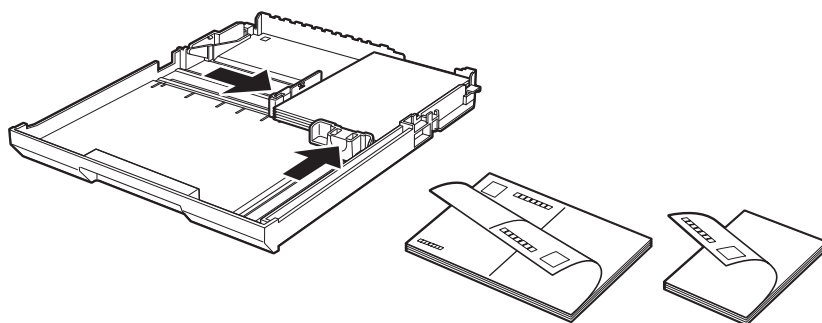
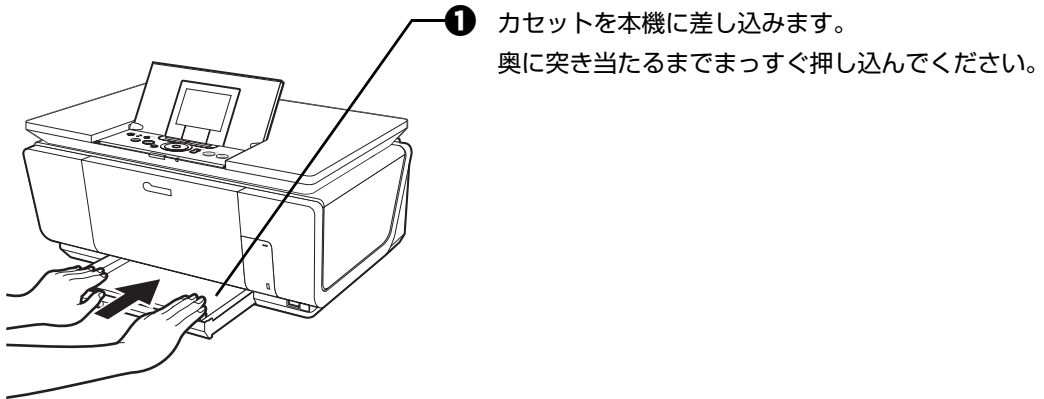
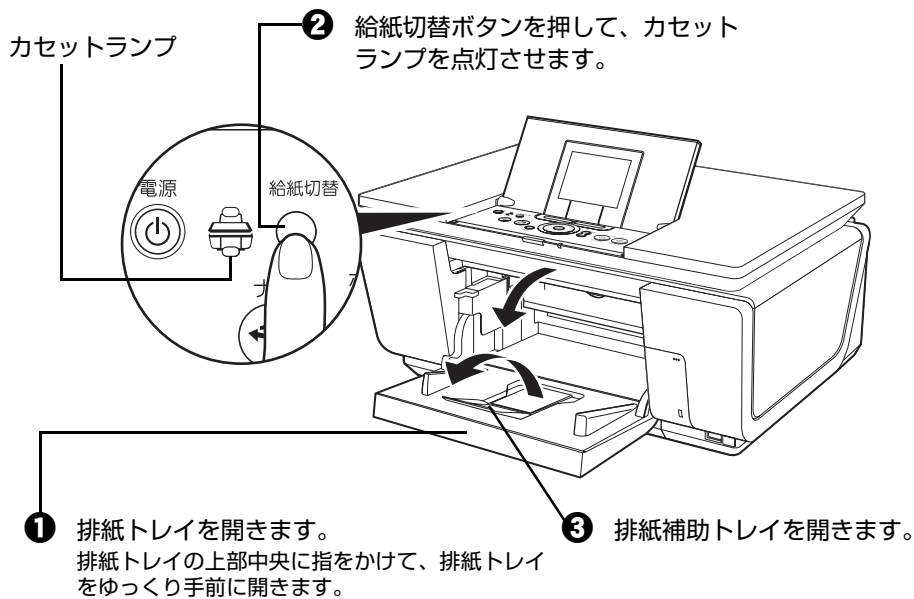
■ カセットに用紙をセットする

用紙のサイズと種類によっては、必ずオートシートフィーダを使わなければならないものがあります。カセットだけを使用する場合は、ご利用に支障がないかあらかじめご確認ください。

⇒「用紙について」（P.18）

- プロフェッショナルフォトペーパーなどの写真専用紙をご使用の場合、カセットに用紙をセットしたままにしないでください。用紙が変色することがあります。
- プロフェッショナルフォトペーパーなどの写真専用紙をご使用の場合、カセットからの給紙の際に、用紙の表面にローラの跡が付くことがあります。その場合は、オートシートフィーダから印刷を行ってください。

1　セットする用紙をそろえる⇒ P.25

2 用紙をセットする準備

3 用紙をセットする（印刷面を下にする）

はがきは以下のように、はがきの上端を奥にしてセットします。宛名面に印刷するときは通信面を上にしてセットしてください。

4　カセットを本機にセットする

❶ カセットを本機に差し込みます。

奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。

5　排紙トレイをセットする

❷ 給紙切替ボタンを押して、カセットランプを点灯させます。

❶ 排紙トレイを開きます。

排紙トレイの上部中央に指をかけて、排紙トレイをゆっくり手前に開きます。

❸ 排紙補助トレイを開きます。

- パソコンを使わずにコピーやダイレクト印刷をする場合、各モードの［用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選びます。各モードの設定については「用紙と印刷の設定について」（P.34）を参照してください。

  また、パソコンに接続してご使用になる場合、プリンタドライバの［用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選びます。

  プリンタドライバの設定については「パソコンから印刷する」（P.38）を参照してください。
- オートシートフィーダとカセットの切り替えはプリンタドライバからも設定できます。
  プリンタドライバの設定については『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

■ はがきに印刷するときは

- 自動両面印刷を行う場合は、宛名面→通信面の順に印刷してください。はがきの両面に 1 面ずつ印刷するときは、きれいに印刷するために、通信面を印刷したあとに宛名面を印刷することをお勧めします。このとき、通信面の先端がめくれたり傷が付いたりする場合は、宛名面から印刷すると状態が改善することがあります。
- プリンタドライバの［用紙の種類］で、セットしたはがきに合わせた設定を選びます。

はがきの種類	印刷面	プリンタドライバの設定
はがき 年賀はがき	通信面	はがき
	宛名面	はがき
	両面	はがき
インクジェットはがき インクジェット紙年賀はがき	通信面	インクジェットはがき
	宛名面	はがき
	両面	※
インクジェット光沢はがき 写真用年賀はがき	通信面	インクジェットはがき
	宛名面	はがき
	両面	※
往復はがき	通信面	はがき
	宛名面	はがき
	両面	はがき
プロフェッショナルフォトはがき PH-101	通信面	プロフォトペーパー
	宛名面	はがき
	両面	※
フォト光沢ハガキ KH-201N	通信面	光沢紙
	宛名面	はがき
	両面	※
ハイグレードコートはがき CH-301	通信面	インクジェットはがき
	宛名面	はがき
	両面	※

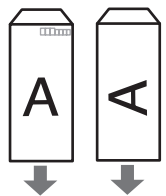
※ Windows をご使用の場合は、『キヤノンピクサスかんたん印刷』（はがき両面印刷）に対応したアプリケーションソフトを使うことで、両面印刷ができるようになります。アプリケーションソフトについては、キヤノン ピクサス ホームページで紹介しています。canon.jp/pixus にアクセスしてください。

封筒のセット方法について

一般の長形３号、長形４号の長形封筒と、洋形４号、洋形６号の洋形封筒に印刷できます。

宛名は封筒の向きに合わせて、自動的に回転して印刷されます。

重要

- パソコンからの印刷にのみ使用できます。
- 角形封筒には印刷できません。
- 型押しや、コーティングなどの加工された封筒、ふたが二重（またはシール）になっている封筒には印刷できません。
- Macintosh をご使用の場合は、長形３号／４号の封筒は印刷できません。
- Windows Me または Windows 98 をご使用の場合で､長形３号／４号の封筒に印刷するときは［バックグラウンド印刷］にチェックマークを付けてください。チェックマークが付いていないと正しい向きに印刷されません。
  バックグラウンド印刷の設定を確認するには、プリンタドライバの設定画面を開き（⇒ P.43）、［ページ設定］シートの［印刷オプション］ボタンをクリックしてください。
- ［用紙サイズ］を正しく選ばないと、上下逆さまに印刷されます。

■ オートシートフィーダに用紙をセットする

❹ プリンタドライバの［用紙の種類］で［封筒］を選び、［用紙サイズ］で本機にセットした封筒のサイズを選びます。

［印刷の向き］または［方向］で、［縦］または［横］のどちらかを選びます。

プリンタドライバの設定については「パソコンから印刷する」（P.38）を参照してください。

封筒の種類	長形封筒（Windows のみ）	洋形封筒	洋形封筒
セットのしかた	縦書き　横書き 封筒のふたを折りたたまずに上に向け、縦置きでセットする	横書き 封筒のふたを左側にし、折りたたんだ面を下にして、縦置きでセットする	縦書き 郵便番号の枠を下に向け、封筒のふたを折りたたんだ面を下にして、縦置きでセットする
［用紙の種類］	封筒	封筒	封筒
［用紙サイズ］	長形３号 長形４号	洋形４号 洋形６号	洋形４号 洋形６号
［印刷の向き］ または［方向］	縦書きの場合：縦 横書きの場合：横	横	縦

特殊な封筒を使用し、印刷結果が上下逆さまになる場合は、プリンタドライバの設定画面を開き、［ページ設定］シートの［180 度回転］にチェックマークを付けてください。

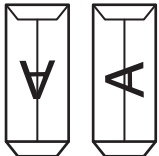
■ カセットに用紙をセットする

❶ カセットの右側面にぴったりと突き当て、封筒の印刷面を下にしてセットします。

一度に 5 枚までセットできます。

⇒「セットのしかた」（P.33）

❷ 用紙ガイドを動かし、封筒の端に合わせます。

❸ 給紙切替ボタンを押して、カセットランプを点灯させます。

❹ プリンタドライバの［用紙の種類］で［封筒］を選び、［用紙サイズ］で本機にセットした封筒のサイズを選びます。

［印刷の向き］または［方向］で、［縦］または［横］のどちらかを選びます。

プリンタドライバの設定については「パソコンから印刷する」（P.38）を参照してください。

封筒の種類	長形封筒（Windows のみ）	洋形封筒	洋形封筒
セットのしかた	縦書き　横書き 封筒のふたを折りたたまずに手前へ向け、縦置きでセットする	横書き 封筒のふたを左側にし、折りたたんだ面を上にして、縦置きでセットする	縦書き 郵便番号の枠を奥へ向け、封筒のふたを折りたたんだ面を上にして、縦置きでセットする
［用紙の種類］	封筒	封筒	封筒
［用紙サイズ］	長形３号 長形４号	洋形４号 洋形６号	洋形４号 洋形６号
［印刷の向き］ または［方向］	縦書きの場合：縦 横書きの場合：横	横	縦

特殊な封筒を使用し、印刷結果が上下逆さまになる場合は、プリンタドライバの設定画面を開き、［ページ設定］シートの［180 度回転］にチェックマークを付けてください。

用紙と印刷の設定について

ここでは、コピーやメモリーカード／写真／フィルムから印刷する場合に、本機の操作パネルで設定する用紙と印刷の設定項目について説明します。

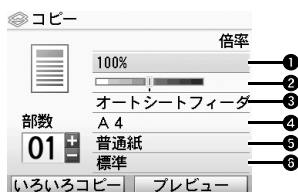
各モードの設定項目

各モードでは以下のような項目があります。

設定したい項目を選んで OK ボタンを押すと、それぞれの設定画面を表示させることができます。

機能によっては、組み合わせて設定できない設定項目があります。

■ コピーモード

ここでは、コピーモードの用紙と印刷の設定について説明します。

印刷する用紙や印刷品質などの設定ができます。

用紙のサイズと種類、印刷品質は、給紙切替ボタンで選択されている給紙箇所に対して設定されます。選択されている給紙箇所を確認してください。

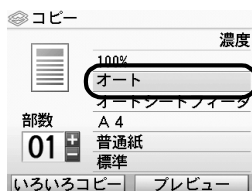
❶ 拡大／縮小の方法を設定できます。

用紙に合わせて変倍／ズーム（25 → 400%）／ 100%／定型サイズで変倍

❷ 濃度（明るさ）を設定します。

イージースクロール ホイールを時計回りに回すと濃く、反時計回りに回すと薄くなります。◀▶ ボタンで設定することもできます。

濃度画面でファンクションボタン（右 /［自動／手動切換］）を押すと、原稿台ガラスにセットした原稿に合わせて自動で濃度を調整して印刷できます。⇒ P.14

また、液晶モニターの濃度調整のスライドバーが［オート］に変わります。

自動濃度調整に設定しているときは、イージースクロール ホイールを回しても濃度を変更することはできません。濃度画面でファンクションボタン（右 /［自動／手動切換］）を押して、手動濃度調整に設定してから変更してください。⇒ P.14

❸ 給紙箇所を設定できます。

印刷を開始する前に給紙箇所と実際に用紙をセットした箇所が合っているか確認してください。OK ボタンを押すと給紙箇所が切り替わります。

❹ 用紙サイズを設定できます。

カード／名刺／ A5 ／ B5 ／ A4 ／レターサイズ／はがき／ L 判／ 2L 判

給紙箇所をオートシートフィーダに設定したときだけ、［カード］または［名刺］を選ぶことができます。

❺ 用紙の種類を設定できます。

光沢紙／マットフォト／スーパーフォト／普通紙／インクジェットはがき／プロフォトペーパー

用紙サイズを［はがき］に設定したときだけ、［インクジェットはがき］を選ぶことができます。

❻ コピーしたい原稿に合わせて印刷品質を設定できます。

はやい（速度優先）／標準／きれい（画質優先）

- 用紙の種類を［普通紙］に設定したときだけ、［はやい（速度優先）］を選ぶことができます。
- 用紙の種類が［普通紙］の場合、［はやい（速度優先）］を選んで思ったような印刷品質で印刷できないときは、［標準］または［きれい（画質優先）］を選んで、もう一度印刷してみてください。
- グレースケールでコピーしたいときは、［きれい（画質優先）］を選んでください。グレースケールとは、2 値（2 階調）で表現している白黒に対し、グレーの濃淡を数多くの階調で表現したものです。

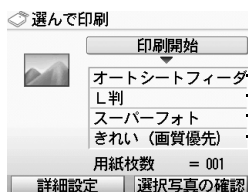
■ メモリーカードモード・かんたん写真焼増しモード・フィルム印刷モード

ここでは、メモリーカードモード、かんたん写真焼増しモードおよびフィルム印刷モードの用紙と印刷の設定について説明します。

● 印刷設定確認画面

印刷する用紙や印刷品質などの設定ができます。

用紙のサイズと種類、印刷品質は、給紙切替ボタンで選択されている給紙箇所に対して設定されます。選択されている給紙箇所を確認してください。

例：メモリーカードモード、かんたん写真焼増しモード、またはフィルム印刷モードの［選んで印刷］で表示される画面⇒ P.72、P.100

❶ 給紙箇所を設定できます。

印刷を開始する前に給紙箇所と実際に用紙をセットした箇所が合っているか確認してください。OK ボタンを押すと給紙箇所が切り替わります。

❷ 用紙サイズを設定できます。

カード／名刺／ A4 ／レターサイズ／はがき／ L 判／ 2L 判／六切 * ／ワイド 101 × 180

給紙箇所をオートシートフィーダに設定したときだけ、［カード］または［名刺］を選ぶことができます。

❸ 用紙の種類を設定できます。

光沢紙／マットフォト／スーパーフォト／普通紙 * ／インクジェットはがき／プロフォトペーパー

用紙サイズを［はがき］に設定したときだけ、［インクジェットはがき］を選ぶことができます。

❹ 印刷品質を設定できます。

標準／きれい（画質優先）

* メモリーカードモードを選んだときのみ、設定できます。

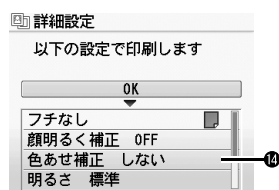
● 詳細設定画面

印刷設定確認画面でファンクションボタン（左 / ［詳細設定］）を押すと、詳細設定画面が表示されます。⇒ P.14

次の機能を使って印刷の詳細設定や、印刷する画像の補正ができます。

補正するときは、巻末の「メモリーカードの写真をきれいに印刷しよう」の例もあわせて参照してください。

メモリーカードモードの画面

かんたん写真焼増しモード／フィルム印刷モードの画面

❶ フチのあり／なしを設定できます。

フチあり／フチなし

用紙の種類を［普通紙］に設定したときは、［フチなし］を選んでいてもフチありで印刷されます。

❷ 日付 OFF ／日付 ON*1

［日付 ON］を選ぶと、写真に撮影日の日付を付けて印刷できます。

❸ 画像番号 OFF ／画像番号 ON*1

［画像番号 ON］を選ぶと、写真に画像番号を付けて印刷できます。

以下の項目を選んでいるとき、［日付 ON］と［画像番号 ON］を同時に設定した場合は、日付のみが印刷されます。日付と画像番号を同時に印刷することはできません。画像番号を印刷したい場合は、［日付 OFF］に設定してください。

- メモリーカードモードの印刷メニューの［レイアウト印刷］を選んでいる。
- 用紙サイズの［カード］または［名刺］を選んでいる。

❹ 赤目補正 OFF ／赤目補正 ON*1

［赤目補正 ON］を選ぶと、人物の目が赤く写った写真を補正して印刷できます。

❺ VIVID フォト OFF ／ VIVID フォト ON*1

［VIVID フォト ON］を選ぶと、VIVID フォト機能（緑や青色をより鮮やかに印刷）が有効になります。

❻ オートフォトモード OFF ／オートフォトモード ON*1

［オートフォトモード ON］を選ぶと、写真の色合いや明るさを自動補正する機能が有効になります。

❼ ノイズ除去 OFF ／ノイズ除去 ON*1

［ノイズ除去 ON］を選ぶと、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを軽減できます。

❽ 顔明るく補正 OFF ／顔明るく補正 ON

［顔明るく補正 ON］を選ぶと、逆光などで暗くなった人物の顔を明るく印刷できます。

❾ 携帯画像補正 OFF ／携帯画像補正 ON*1

［携帯画像補正 ON］を選ぶと、輪郭のギザギザをなめらかにして印刷できます。

❿ 明るさを調整します。

明るさ －２／明るさ－１／明るさ 標準／明るさ ＋１／明るさ ＋２

⓫ コントラストを調整できます。

コントラスト －２／コントラスト －１／コントラスト 標準／コントラスト ＋１／コントラスト ＋２

⓬ 色合いを調整できます。

例えば、肌の色味の赤を強くしたり、黄色を強くすることができます。

肌色 赤＋２／肌色 赤＋１／色あい調整なし／肌色 黄＋１／肌色 黄＋２

⓭ 写真をセピア色の濃淡だけで印刷したりイラスト風に印刷したりなど、写真の加工種類を変更することができます。*1

加工なし／加工セピア／加工イラストタッチ

⓮ 色あせ補正 しない／色あせ補正 する *2

［色あせ補正 する］を選ぶと、経年変化などで色あせたり色カブリした写真を色補正して印刷できます。

*1 メモリーカードモードを選んだときのみ、設定できます。

*2 かんたん写真焼増しモードまたはフィルム印刷モードを選んだときのみ、設定できます。

パソコンから印刷する

ここでは、印刷の基本的な操作手順について説明します。写真を印刷する場合は、『セットアップ CD-ROM』に付属の Easy-PhotoPrint を使って、かんたんな操作で印刷することができます。詳しくは『アプリケーションガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

参考

ご使用のアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多い場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

なお、本書では Windows XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載（以降、Windows XP SP2）をご使用の場合に表示される画面を基本に説明します。

1 本機の電源を入れ、用紙をセットする⇒ P.15、⇒ P.18

2 給紙箇所を確認する⇒ P.24

オートシートフィーダから給紙する場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットから給紙する場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

3 アプリケーションソフトを起動して原稿を作成する、または印刷するファイルを開く

4 プリンタドライバの設定画面を開く

❶ アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選びます。

［印刷］ダイアログが表示されます。

❷ ［プリンタの選択］で［Canon MP960 Printer］が選ばれていることを確認します。

別のプリンタ名が選ばれている場合は、［Canon MP960 Printer］をクリックしてください。

❸ ［詳細設定］（または［プロパティ］）ボタンをクリックします。

［印刷設定］ダイアログの［基本設定］シートが表示されます。

5 印刷に必要な設定をする

❶ ［用紙の種類］で印刷に使用する用紙の種類を選びます。

❷ ［給紙方法］が［給紙切替ボタンに従う］になっていることを確認します。

❸ ［印刷品質］や［色 / 濃度］で印刷品質などを設定します。

印刷設定については、『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

❹ ［OK］ボタンをクリックします。

［印刷］ダイアログが表示されます。

- 用紙サイズを確認するときは、［ページ設定］タブをクリックします。アプリケーションソフトで設定したサイズと違っている場合は、同じサイズに設定するか、拡大 / 縮小印刷またはフィットページ印刷を行う必要があります。詳しくは『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。
- ここでは［給紙方法］で［給紙切替ボタンに従う］を選んだ場合について説明しています。その他の［給紙方法］については、『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。
- プリンタドライバ機能の設定方法については、［ヘルプ］ボタンや［操作説明］ボタンをクリックして、ヘルプや『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。［操作説明］ボタンは、プリンタドライバの［基本設定］シートおよび［ユーティリティ］シートに表示されます。ただし、電子マニュアル（取扱説明書）がパソコンにインストールされている必要があります。
- ［印刷前にプレビューを表示］にチェックマークを付けると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。なお、アプリケーションソフトによっては、プレビューを表示できないものもあります。

6 印刷を開始する

❶ ［印刷］（または［OK］）ボタンをクリックします。

印刷が開始されます。

印刷中に本機のストップ / リセットボタンを押すか、Canon IJ ステータスモニタの［印刷中止］ボタンをクリックすると、印刷を中止できます。

Canon IJ ステータスモニタは、タスクバー上の［Canon MP960 Printer］をクリックして表示します。

ご使用のアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多い場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
なお、本書では Mac® OS X v.10.4.x をご使用の場合に表示される画面を基本に説明しています。

1 本機の電源を入れ、用紙をセットする⇒ P.15、⇒ P.18

2 給紙箇所を確認する⇒ P.24

オートシートフィーダから給紙する場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットから給紙する場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

3 アプリケーションソフトを起動して原稿を作成する、または印刷するファイルを開く

4 用紙サイズを設定する

❶ アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選びます。

ページ設定ダイアログが表示されます。

❷ ［対象プリンタ］で［MP960］が選ばれていることを確認します。

❸ ［用紙サイズ］から印刷する用紙サイズを設定します。

❹ ［OK］ボタンをクリックします。

5 印刷に必要な設定をする

❶ アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選びます。

プリントダイアログが表示されます。

❷ ポップアップメニューから［品位と用紙の種類］を選びます。

❸ ［用紙の種類］で印刷に使用する用紙の種類を選びます。

［給紙方法］が［給紙切替ボタンに従う］になっていることを確認します。

❹ ［印刷設定］から印刷する原稿に適した設定を選びます。

- ここでは［給紙方法］で［給紙切替ボタンに従う］を選んだ場合について説明しています。その他の［給紙方法］については、『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。
- ［印刷設定］から印刷する原稿に適した設定を選ぶと、［用紙の種類］で設定した用紙の特性に合わせた印刷品質や色で印刷できます。

  写真をきれいに印刷：

  写真や、グラデーションを多用したイラストを印刷するときに選びます。

  図表やグラフをきれいに印刷：

  イラストやグラフなど色の境界線がハッキリした原稿を印刷するときに選びます。

  一般的な文書を印刷：

  文字中心の原稿を印刷するときに選びます。

  詳細設定：

  印刷品質やハーフトーン（中間調）に関する詳細な設定を行うことができます。
- プリンタドライバ機能の設定方法については、プリントダイアログの［品位と用紙の種類］、［カラーオプション］、［特殊効果］、［フチなし全面印刷］、または［両面印刷ととじしろ］の?ボタンをクリックして、『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。電子マニュアル（取扱説明書）がインストールされていないと、?ボタンをクリックしても『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』は表示されません。
- ［プレビュー］ボタンをクリックすると、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。なお、アプリケーションソフトによっては、プレビューを表示できないものもあります。

6 印刷を開始する

❶ ［プリント］ボタンをクリックします。

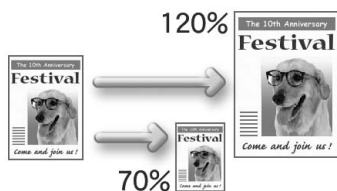
印刷が開始されます。

Dock 内にあるプリンタのアイコンをクリックすると、印刷状況を確認するダイアログが表示されます。Mac OS X v.10.2.8 をご使用の場合は、Dock 内にあるプリンタのアイコンをクリックしてプリントセンターを起動し、プリンタリストの機種名をダブルクリックしてください。

印刷状況のリストで文書を選んで［削除］をクリックすると、その文書の印刷を中止できます。［保留］をクリックすると、その文書の印刷を停止できます。また、［ジョブを停止］をクリックすると、リストにあるすべての印刷を停止できます。

プリンタドライバの機能と開きかた

プリンタドライバの便利な機能

プリンタドライバには、以下のような機能があります。詳しい操作方法については、『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

⇒ 用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小印刷したい（フィットページ印刷）

⇒ 1 枚の用紙に複数ページを縮小して印刷したい（割付印刷）

⇒ 両面に印刷したい（両面印刷）

⇒ スタンプを印刷したい（スタンプ印刷）

⇒ フチを付けずに用紙の全面に印刷したい（フチなし全面印刷）

⇒ 画像の輪郭をなめらかに印刷したい（イメージデータ補正）

⇒ 1 ページの原稿を指定枚数に拡大して印刷したい（ポスター印刷）

⇒ とじしろを付けて印刷したい（とじしろ印刷）

⇒ イラスト風に印刷したい（イラストタッチ印刷）

⇒ 印刷する順番を変えたい（最終ページから印刷）

⇒ デジタルカメラで撮った写真のノイズを減らして印刷したい（デジタルカメラノイズリダクション）

⇒ 拡大／縮小率を設定して印刷したい（拡大／縮小印刷）

⇒ 複数ページの原稿を冊子に綴じられるように印刷したい（冊子印刷）

⇒ 背景に模様を付けて印刷したい（背景印刷）

⇒ 印刷するときの動作音を静かにしたい（サイレント機能）

OS によって、使用できない機能もあります。詳しくは『印刷設定ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

プリンタドライバの設定画面を表示する

Windows

マイプリンタから開くこともできます。デスクトップ上の［マイプリンタ］アイコンをダブルクリックして表示される画面で［プリンタの設定］を選んでください。

■ アプリケーションソフトから開く

印刷する前に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

- ご使用のアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多い場合があります。詳しい操作方法については、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- ［ポート］シートなど、Windows の機能に関するシートは、アプリケーションソフトから開いたときには表示されません。表示するには、［スタート］メニューから開いてください。

1 ご使用のアプリケーションソフトで、印刷を実行するコマンドを選ぶ

一般的に、［ファイル］メニューから［印刷］を選ぶと、［印刷］ダイアログを開くことができます。

2 ［Canon MP960 Printer］が選ばれていることを確認し、［詳細設定］（または［プロパティ］）ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

■ ［スタート］メニューから開く

本機のメンテナンス操作を行う場合や、すべてのアプリケーションソフトに共通する印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1 ［スタート］メニューから［コントロール パネル］→［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順に選ぶ

Windows XP 以外をご使用の場合は、［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］の順に選びます。

2 ［Canon MP960 Printer］アイコンを選ぶ

3 ［ファイル］メニューから［印刷設定］（Windows Me または Windows 98 をご使用の場合は［プロパティ］）を選ぶ

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

■ ページ設定ダイアログを開く

印刷する前にページ（用紙）設定を行う場合、この方法を使います。

1 ご使用のアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選ぶ

ページ設定ダイアログが表示されます。

■ プリントダイアログを開く

印刷する前に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1 ご使用のアプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選ぶ

プリントダイアログが表示されます。

■ Canon IJ Printer Utility を開く

プリントヘッドのクリーニングなど、本機のメンテナンスを行う場合、この方法を使います。

1 ［移動］メニューから［アプリケーション］を選ぶ

2 ［ユーティリティ］フォルダ、［プリンタ設定ユーティリティ］の順にダブルクリックする

Mac OS X v.10.2.8 をご使用の場合は、［ユーティリティ］フォルダ、［プリントセンター］の順にダブルクリックします。

プリンタリストが表示されます。

3 ［名前］から［MP960］を選び、［ユーティリティ］をクリックする

Mac OS X v.10.2.8 をご使用の場合は、［名前］から［MP960］を選び、［設定］をクリックします。

4 ［製品］から［MP960］を選び、［メンテナンス］ボタンをクリックする

Canon IJ Printer Utility が起動します。

画像を読み込む

ここでは、画像を読み込む（スキャンする）方法について説明します。

画像の読み込みについて

原稿台ガラスから読み込んだ（スキャンした）画像を、印刷せずに電子データとしてパソコンに保存できます。スキャンした画像は、JPEG、TIFF、ビットマップ、PDF などの一般的なデータ形式でパソコンに保存できます。また、アプリケーションソフト（OCR ソフトウェア）を利用すれば、読み込んだ文字原稿をテキストデータに変換することも可能です。

■ 画像を読み込む前に

画像を読み込む前に、次のことを確認してください。

● ソフトウェア（MP ドライバと MP Navigator）はインストールされていますか？

まだソフトウェアをインストールしていないときは、『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）』を参照してください。

● スキャンする原稿は、原稿台ガラスにセットできる原稿の条件に合っていますか？

詳しくは、「コピーやスキャンする原稿をセットする」（P.17）を参照してください。写真のセットのしかたは「写真を読み込もう」（P.94）を参照してください。フィルムのセットのしかたは「フィルムを読み込もう」（P.96）を参照してください。

● 本機とパソコンが正しく接続されていますか？

本機とパソコンがケーブルでしっかり接続されていることを確認してください。

読み込む方法について

■ MP Navigator を使って読み込む

MP Navigator を使うと、原稿台ガラスにセットされた原稿やフィルムを読み込んだり、パソコンやメモリーカードに保存された画像データを表示することができます。読み込んだ原稿はプレビューで確認でき、さまざまな目的に応じて手軽に印刷や加工などをすることができます。

また、読み込んだ原稿を本機に同梱のアプリケーションソフトで編集／印刷することもできます。

Windows

デスクトップの［MP Navigator 3.0］アイコンをダブルクリックすると起動します。

Macintosh

［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［Canon Utilities］フォルダ、［MP Navigator 3.0］アイコンの順にダブルクリックすると起動します。

MP Navigator から起動できるアプリケーションソフトは、次のとおりです。

- Easy-PhotoPrint（写真印刷）
- PhotoRecord（アルバム印刷）（Windows のみ）*
- らくちん CD ダイレクトプリント for Canon（CD-R 印刷）
- ArcSoft PhotoStudio（写真画像の編集）
- 読取革命 Lite（文書をテキストに変更）
- Presto! PageManager（写真や文書の整理）

* PhotoRecord は、［おまかせインストール］ではインストールされません。必要な場合は、［選んでインストール］でインストールしてください。

［選んでインストール］で MP ドライバと MP Navigator のみをインストールした場合は、アプリケーションソフトは起動できません。MP Navigator から上記のアプリケーションソフトを起動したい場合は［選んでインストール］で個別にインストールしてください。

MP Navigator の詳しい操作方法については、『スキャナ操作ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

■ 本機の操作パネルを使って読み込む

操作パネルを使って原稿台にセットした写真や文書、フィルムなどをパソコンに読み込むことができます。

パソコンに本機を接続して画像を読み込んでいるときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに USB ケーブルを抜き差ししないでください。

● Windows XP をご使用の場合

初めて本機のカラースタートボタンまたはモノクロスタートボタンを押したときに、プログラムの選択画面が表示される場合があります。その場合は、起動するアプリケーションソフトに［MP Navigator Ver3.0］を指定して、［この動作には常にこのプログラムを使う］にチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックしてください。次回から MP Navigator が自動的に起動します。

● Mac OS X をご使用の場合

本機のカラースタートボタンまたはモノクロスタートボタンを押したときスキャンを開始するためには、Mac OS X の［アプリケーション］にあるイメージキャプチャで、起動するアプリケーションソフトを MP Navigator に設定しておく必要があります。

- Mac OS X v.10.4.x をご使用の場合は、設定する必要はありません。
- イメージキャプチャを起動する前に、MP Navigator がインストールされ、本機とパソコンが接続されていることを確認してください。

Mac OS X v.10.3.x をご使用の場合

［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［イメージキャプチャ］をダブルクリックします。スキャナウィンドウの左下にある［オプション］ボタンをクリックし、［スキャナボタンが押されたときに起動するアプリケーション］で［MP Navigator 3］を選び、［OK］ボタンをクリックします。イメージキャプチャを終了するには、［イメージキャプチャ］メニューから［イメージキャプチャを終了］を選びます。

［イメージキャプチャ］メニューから［環境設定］を選び、［スキャナ］で［可能なときには TWAIN ソフトウェアを使用する］にチェックマークを付けると、［オプション］が表示されません。その場合は、［可能なときには TWAIN ソフトウェアを使用する］のチェックマークを外して、いったんイメージキャプチャを終了し、起動し直してください。

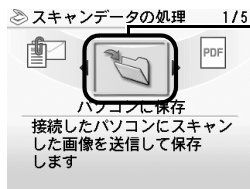
Mac OS X v.10.2.8 以降をご使用の場合

［移動］メニューから［アプリケーション］を選び、［イメージキャプチャ］をダブルクリックします。［イメージキャプチャ］メニューから［環境設定］を選びます。［スキャナのボタンを押したときに起動する項目］で［その他］を選びます。［アプリケーション］から［Canon Utilities］フォルダ、［MP Navigator 3.0］の順に選び、［開く］ボタンをクリックします。イメージキャプチャを終了するには、［イメージキャプチャ］メニューから［イメージキャプチャを終了］を選びます。

1 本機の電源を入れる⇒ P.15

2 原稿台ガラスに原稿をセットする⇒ P.17

フィルムをセットするときは、「フィルムを読み込もう」（P.96）を参照してください。

3 スキャン操作を選ぶ

❶ ホーム画面から［スキャン］を選びます。⇒ P.13

❷ スキャン操作を選び、OK ボタンを押します。

スキャン待機画面が表示されます。

パソコンに保存：

原稿を読み込んで、保存します。

PDF ファイルで保存：

原稿を読み込んで、PDF ファイルとして保存します。

フィルムスキャンで保存：

フィルムを読み込んで、保存します。

アプリケーションで開く：

原稿を読み込んで、登録されたアプリケーションソフトで表示します。

メールに添付：

原稿を読み込んで、E メールソフトウェアで画像を添付したメールを作成します。

各スキャン操作は、MP Navigator から設定することができます。詳しくは、『スキャナ操作ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

4 カラースタートボタンまたはモノクロスタートボタンを押す

原稿が読み込まれます。スキャンを行うときは、MP Navigator で設定されている内容で、読み込まれます。

読み込む原稿の種類によって画像の位置やサイズが正しく読み込めない場合は、『スキャナ操作ガイド（電子マニュアル）』の「便利なスキャンのしかた」の「本機の操作パネルの動作設定をする」を参照して、MP Navigator の［原稿の種類］と［原稿サイズ］を実際の原稿に合わせてください。

原稿が読み込まれたあとの動作は、手順 3 で選んだスキャン操作の設定により異なります。動作の設定方法については、『スキャナ操作ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

■ アプリケーションソフトから読み込む

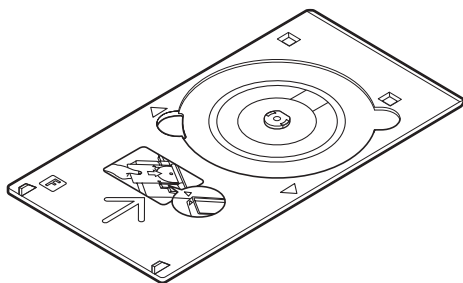
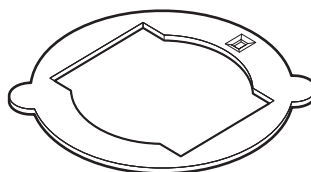
TWAIN または WIA（Windows XP のみ）に対応したアプリケーションソフトを操作しながら原稿を読み込んで、その画像をアプリケーションソフトで使うことができます。詳しい操作方法については、『スキャナ操作ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

DVD/CD に印刷する

付属の CD-R トレイを使うことで、DVD/CD（プリンタブルディスク）に画像を印刷（DVD/CD ダイレクトプリント）することができます。

ここでは、DVD/CD に印刷するための準備と、CD-R トレイの使いかたについて説明します。

用意するもの

DVD/CD に印刷するには次のものが必要です。

CD-R トレイ
＊表面に F のマークがあります

8 cmCD-R アダプタ
（8 cmDVD/CD に印刷するときのみ）
＊CD-R トレイに装着されています

DVD/CD 印刷モード、DVD/CD 手書きナビシート印刷から 8 cm サイズの DVD/CD に印刷することはできません。

● DVD/CD（プリンタブルディスク）

ラベル面がインクジェット方式のプリンタに対応した 12 cm/8 cm サイズの DVD/CD を用意してください。

プリンタブルディスクとは、ふつうの DVD/CD と異なり、ラベル面に特殊な加工が施された印刷が可能な DVD/CD です。推奨の DVD/CD を使うと、よりきれいな印刷結果を得ることができます。

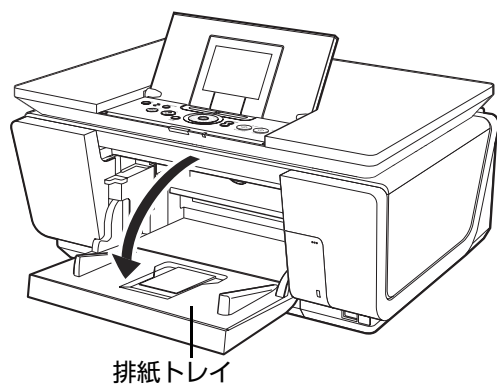
推奨する DVD/CD の情報は、不定期に更新されます。また、推奨品の仕様は予告なく変更されることがあります。
最新情報についてはキヤノンサポートホームページでご確認いただけます。canon.jp/support にアクセスしてください。

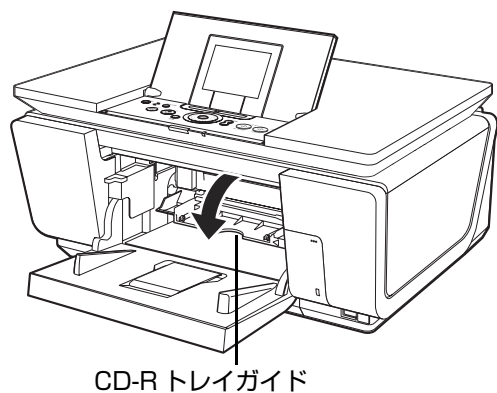
DVD/CD に印刷するときの注意について

- CD-R トレイは、本機に同梱のものをご使用ください（表面に F のマークがあります）。
- インクジェット方式に対応していないDVD/CDに印刷しないでください。インクが乾かずDVD/CD自体や DVD プレーヤーなどのセットする機器に支障をきたす場合があります。
- DVD/CD の記録面には印刷しないでください。記録したデータが読めなくなることがあります。
- DVD/CD はできるだけ端を持ち、ラベル面（印刷面）、記録面に触れないでください。
- CD-R トレイにゴミなどがある場合は、DVD/CD をセットする前に取り除いてください。そのままセットすると、DVD/CD の記録面が傷付くことがあります。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面に触れないでください。
- 本機の動作中に CD-R トレイを取り付けないでください。
- DVD/CD の印刷中に CD-R トレイを取り外さないでください。破損の原因になります。
- CD-R トレイに付いている反射板を汚したり、傷付けたりしないでください。DVD/CD がセットされていることを認識できなかったり、印字位置がずれてしまう場合があります。CD-R トレイが汚れた場合には、反射板が傷付かないように柔らかい布などでふいてください。
- らくちんCDダイレクトプリントfor Canon、Easy-PhotoPrint以外のアプリケーションソフトを使って印刷すると、CD-R トレイが汚れることがあります。
- 8 cm サイズの DVD/CD に印刷するときは、付属の 8 cmCD-R アダプタをご使用ください。
- DVD/CD に印刷したあとは、必ず CD-R トレイガイドを閉じてください。

CD-R トレイの取り付け・取り外し

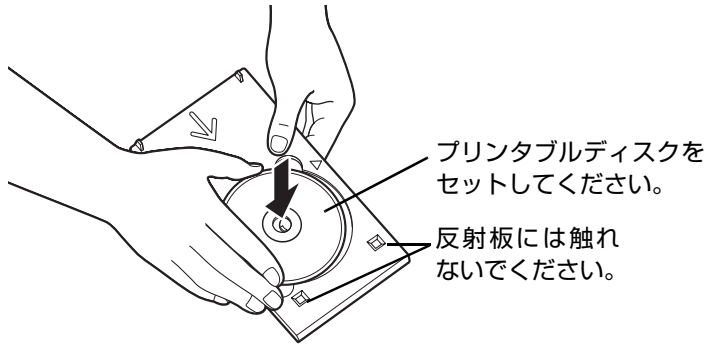
■ CD-R トレイの取り付け

1　排紙トレイを開く

❶ 排紙トレイの上部中央に指をかけて、排紙トレイをゆっくり手前に開きます。

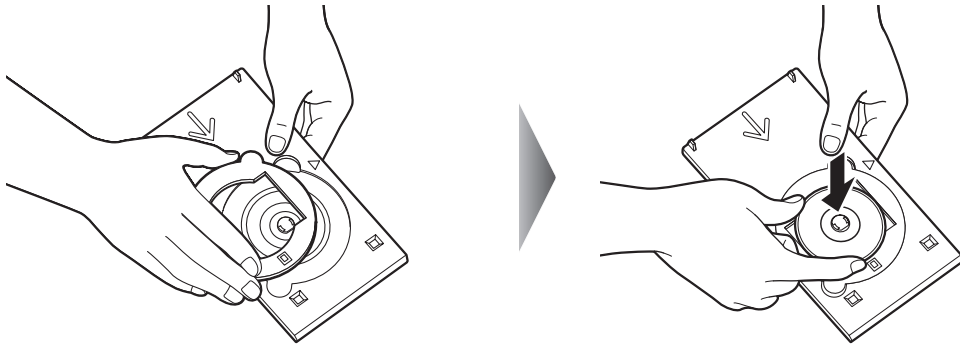
2　CD-R トレイガイドを手前に倒す

3 DVD/CD をセットする

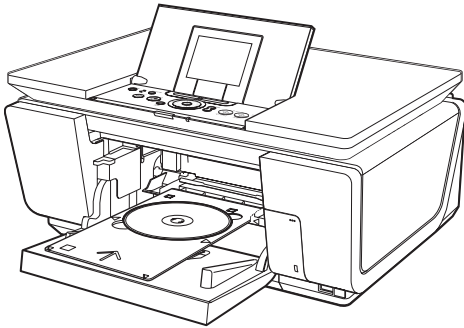
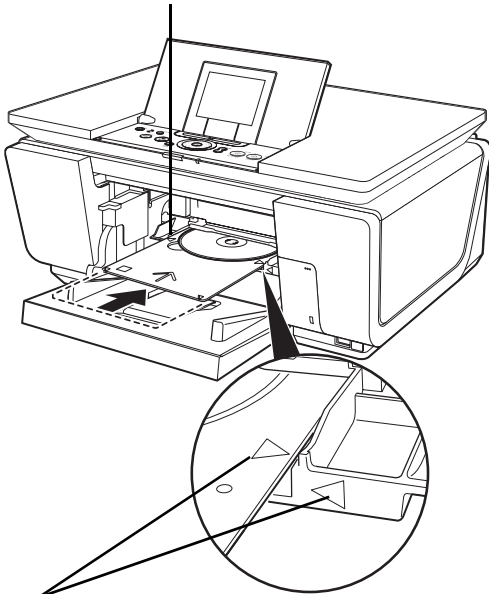
- セットするときにディスクの印刷面や反射板に触れないでください。
- 8 cmDVD/CD に印刷する場合は、付属の 8 cmCD-R アダプタを取り付けてください。取り付けないと印刷品質が低下したり、8 cmDVD/CD が傷付くことがあります。

12 cmDVD/CD の場合：

❶ 印刷面を上にして、ディスクを CD-R トレイにセットします。

8 cmDVD/CD の場合：

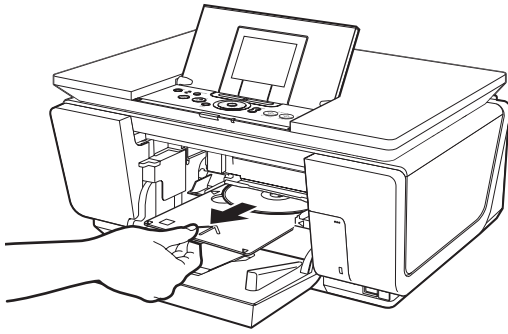
❶ 8 cmCD-R アダプタ両端の突起部分を、CD-R トレイ両端のくぼみに合わせます。

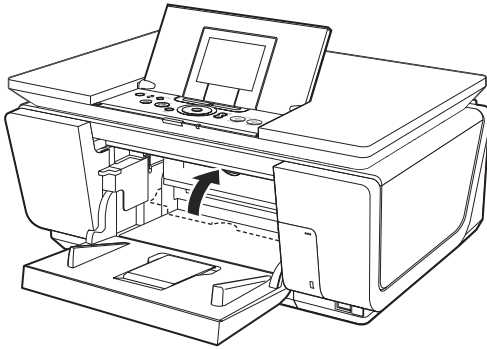
❷ 印刷面を上にして、8 cmDVD/CD を CD-R トレイにセットします。

4 CD-R トレイをセットする

- 本機の動作中に CD-R トレイを取り付けないでください。
- 本機が印刷の準備を行うため、セットした CD-R トレイが排出されることがあります。その場合は、画面の指示にしたがって、CD-R トレイをセットし直してください。

❶ CD-R トレイを CD-R トレイガイドにセットします。

❷ CD-R トレイの矢印（▷）と、CD-R トレイガイドの矢印（◁）がほぼ合うところまで挿入します。

CD-R トレイガイドの矢印（◁）の位置より奥に CD-R トレイを押し込まないでください。

■ CD-R トレイの取り外し

1　CD-R トレイを取り出す

❶ CD-R トレイを手前に引いて取り出します。

2　CD-R トレイガイドを閉じる

CD-R トレイガイドを開いた状態では、用紙が正しく送られないため、通常の用紙を使った印刷はできません。必ずCD-R トレイガイドを閉じてください。

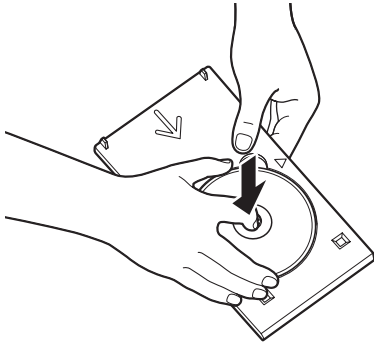
3 DVD/CD を取り外す

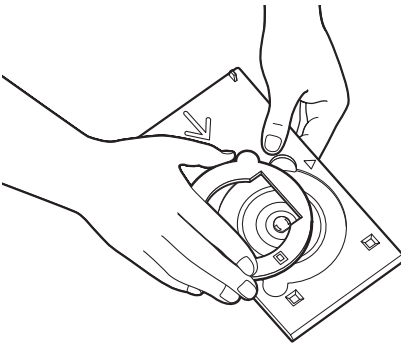
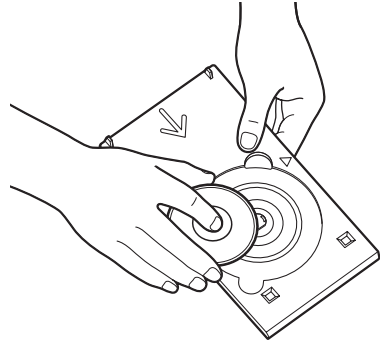
取り出す際に印刷面に触れないでください。

参考

印刷面が十分に乾いてから、取り外してください。CD-R トレイ上に印刷された場合や、DVD/CD の外側および内側の透明部分に印刷された場合は、印刷面が乾いてから拭き取ってください。

12 cmDVD/CD の場合：

❶ CD-R トレイからディスクを取り外します。

8 cmDVD/CD の場合：

❶ 8 cmCD-R アダプタを取り外します。

❷ CD-R トレイから 8 cmDVD/CD を取り外します。

CD-R トレイを使用しないときは、反ったりしないよう平らなところに保管してください。反ってしまうと使用できなくなることがあります。

DVD/CD のレーベル面に印刷する

読み込んだ写真や画像を、DVD/CD（プリンタブルディスク）に印刷してみましょう。

不要な DVD/CD（プリンタブルディスク）にお試し印刷することをお勧めします。

らくちん CD ダイレクトプリント for Canon を使って印刷する

- 『セットアップ CD-ROM』に付属のアプリケーションソフト、らくちん CD ダイレクトプリント for Canon を使用すると、印刷用のデータを編集・加工して印刷することができます。パソコンにインストールしてご使用ください。らくちん CD ダイレクトプリント for Canon のインストール方法については、『かんたんスタートガイド（ソフトウェアインストール編）』を参照してください。
- らくちん CD ダイレクトプリント for Canon を使った印刷方法については、らくちん CD ダイレクトプリント for Canon の取扱説明書を参照してください。
  Windows をご使用の場合は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム］（Windows XP 以外をご使用の場合は［プログラム］）→［らくちん CD ダイレクトプリント for Canon］→［操作説明］の順に選ぶとご覧になれます。
  Macintosh をご使用の場合は、インストール先で［CD ダイレクトプリント］、［マニュアル］フォルダ、［マニュアル］の順にダブルクリックするとご覧になれます。

DVD/CD のレーベル面をコピーする

既存の DVD/CD のレーベル面を、DVD/CD（プリンタブルディスク）にコピーします。

8 cm サイズの DVD/CD には印刷できません。

画像がずれて印刷される場合は、印刷位置を調整してください。印刷位置調整については、『操作ガイド（お手入れ編）』の「本機の設定を変更する」の「印刷設定」を参照してください。

1 印刷の準備をする

❶ 本機の電源を入れます。⇒ P.15

❷ ホーム画面から［DVD/CD 印刷］を選びます。⇒ P.13

2 印刷メニューを選ぶ

❶ ［DVD/CD ラベルから］を選び、OK ボタンを押します。
印刷領域を指定する画面が表示されます。

3 印刷領域を指定する

❶ ▲▼ ボタンで［外径］または［内径］を選び、印刷領域を変更します。

- 外径／内径の寸法は、DVD/CD（プリンタブルディスク）の印刷面の直径を測り、外径は計測した値より小さい数値で、内径は計測した値より大きい数値を指定してください。
- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

4 ご使用の DVD/CD（プリンタブルディスク）の種類を指定する

ご使用のメディアが推奨品の場合は、適切な濃度で印刷するために、［推奨品 DVD/CD］を指定してください。推奨品でない場合は、［その他 DVD/CD］を指定してください。

推奨品一覧は、キヤノンサポートホームページ canon.jp/support でご確認ください。

5 コピー元の DVD/CD を原稿台ガラスにセットする

重要

コピー元の DVD/CD は、コピーする面を下向きにして原稿台ガラスの中央付近に置いてください。原稿台ガラスの端に置くと画像が欠けることがあります。

6 印刷設定を確認する

❶ カラーコピーする場合はカラースタートボタンを押し、白黒コピーする場合はモノクロスタートボタンを押します。

7 印刷準備が終わったら、DVD/CD（プリンタブルディスク）をセットする

ファンクションボタン（左 / ［設定ガイド］）を押すと、DVD/CD（プリンタブルディスク）のセット方法が表示されます。⇒ P.14

- コピーを中止するときは、ストップ / リセットボタンを押します。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。

メモリーカードから印刷する

メモリーカードの写真を DVD/CD（プリンタブルディスク）に印刷します。

8 cm サイズの DVD/CD には印刷できません。

画像がずれて印刷される場合は、印刷位置を調整してください。印刷位置調整については、『操作ガイド（お手入れ編）』の「本機の設定を変更する」の「印刷設定」を参照してください。

1 印刷の準備をする⇒ P.56

2 印刷メニューを選ぶ

❶ ［写真データから］を選び、OK ボタンを押します。

❷ メモリーカードをカードスロットにセットします。⇒ P.69

印刷領域を指定する画面が表示されます。

3 印刷領域を指定する

❶ ▲▼ ボタンで［外径］または［内径］を選び、印刷領域を変更します。

- 外径／内径の寸法は、DVD/CD（プリンタブルディスク）の印刷面の直径を測り、外径は計測した値より小さい数値で、内径は計測した値より大きい数値を指定してください。
- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

4 ご使用の DVD/CD（プリンタブルディスク）の種類を指定する

ご使用のメディアが推奨品の場合は、適切な濃度で印刷するために、［推奨品 DVD/CD］を指定してください。推奨品でない場合は、［その他 DVD/CD］を指定してください。

推奨品一覧は、キヤノンサポートホームページ canon.jp/support でご確認ください。

5 印刷したい写真を選ぶ

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンで印刷したい写真を表示し、OK ボタンを押します。

❷ DVD/CD の印刷イメージを確認して OK ボタンを押します。

こんなこともできます

- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒ P.78

6 印刷設定を確認する

❶ カラースタートボタンを押します。

7 印刷準備が終わったら、DVD/CD（プリンタブルディスク）をセットする

ファンクションボタン（左 /［設定ガイド］）を押すと、DVD/CD（プリンタブルディスク）のセット方法が表示されます。⇒ P.14

- モノクロスタートボタンを押しても、印刷は開始されません。
- 印刷を中止するときは、ストップ / リセットボタンを押します。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。

写真から印刷する

紙焼きの写真を DVD/CD（プリンタブルディスク）に印刷します。

8 cm サイズの DVD/CD には印刷できません。

画像がずれて印刷される場合は、印刷位置を調整してください。印刷位置調整については、『操作ガイド（お手入れ編）』の「本機の設定を変更する」の「印刷設定」を参照してください。

1 印刷の準備をする⇒ P.56

2 印刷メニューを選ぶ

❶ ［プリント写真から］を選び、OK ボタンを押します。
印刷領域を指定する画面が表示されます。

3 印刷領域を指定する

❶ ▲▼ ボタンで［外径］または［内径］を選び、印刷領域を変更します。

- 外径／内径の寸法は、DVD/CD（プリンタブルディスク）の印刷面の直径を測り、外径は計測した値より小さい数値で、内径は計測した値より大きい数値を指定してください。
- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

4 ご使用の DVD/CD（プリンタブルディスク）の種類を指定する

ご使用のメディアが推奨品の場合は、適切な濃度で印刷するために、［推奨品 DVD/CD］を指定してください。推奨品でない場合は、［その他 DVD/CD］を指定してください。

推奨品一覧は、キヤノンサポートホームページ canon.jp/support でご確認ください。

5 写真を原稿台ガラスにセットする⇒ P.94

OK ボタンを押すと、写真が読み込まれます。

6 印刷したい写真を選ぶ

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンで印刷したい写真を表示し、OK ボタンを押します。

❷ DVD/CD の印刷イメージを確認して OK ボタンを押します。

こんなこともできます

印刷する範囲を指定するートリミング⇒ P.77

7 印刷設定を確認する

❶ カラーで印刷する場合はカラースタートボタンを押し、白黒で印刷する場合はモノクロスタートボタンを押します。

8 印刷準備が終わったら、DVD/CD（プリンタブルディスク）をセットする

ファンクションボタン（左 /［設定ガイド]）を押すと、DVD/CD（プリンタブルディスク）のセット方法が表示されます。⇒ P.14

- 印刷を中止するときは、ストップ / リセットボタンを押します。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。

フィルムから印刷する

35 mm ネガ／ポジフィルム（スリーブ／マウント）の画像を DVD/CD（プリンタブルディスク）に印刷します。

8 cm サイズの DVD/CD には印刷できません。

画像がずれて印刷される場合は、印刷位置を調整してください。印刷位置調整については、『操作ガイド（お手入れ編）』の「本機の設定を変更する」の「印刷設定」を参照してください。

1 印刷の準備をする⇒ P.56

2 印刷メニューを選ぶ

❶ ［フィルムから］を選び、OK ボタンを押します。

印刷領域を指定する画面が表示されます。

3 印刷領域を指定する

❶ ▲▼ ボタンで［外径］または［内径］を選び、印刷領域を変更します。

- 外径／内径の寸法は、DVD/CD（プリンタブルディスク）の印刷面の直径を測り、外径は計測した値より小さい数値で、内径は計測した値より大きい数値を指定してください。
- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

4 ご使用の DVD/CD（プリンタブルディスク）の種類を指定する

ご使用のメディアが推奨品の場合は、適切な濃度で印刷するために、［推奨品 DVD/CD］を指定してください。推奨品でない場合は、［その他 DVD/CD］を指定してください。

推奨品一覧は、キヤノンサポートホームページ canon.jp/support でご確認ください。

5 読み込むフィルムの種類を選ぶ

参考

カラーネガフィルム、白黒ネガフィルム、カラーポジフィルム、またはマウント（スライド用）の画像を読み込むことができます。

6 フィルムを原稿台ガラスにセットする⇒ P.97

カラースタートボタンを押すと、フィルムが読み込まれます。

7 印刷したい写真を選ぶ

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンで印刷したい写真を表示し、OK ボタンを押します。

❷ DVD/CD の印刷イメージを確認して OK ボタンを押します。

こんなこともできます

印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77

8 印刷設定を確認する

❶ カラーで印刷する場合はカラースタートボタンを押し、白黒で印刷する場合はモノクロスタートボタンを押します。

9 印刷準備が終わったら、DVD/CD（プリンタブルディスク）をセットする

ファンクションボタン（左 / ［設定ガイド］）を押すと、DVD/CD（プリンタブルディスク）のセット方法が表示されます。⇒ P.14

- 白黒ネガフィルムを読み込んだ場合は、カラースタートボタンを押しても印刷は開始されません。
- 印刷を中止するときは、ストップ / リセットボタンを押します。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。

コピーをとる

ここでは、コピーの基本的な操作手順について説明します。

1 コピーの準備をする

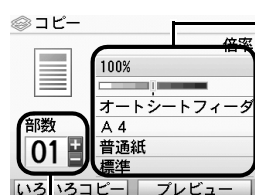
❶ 本機の電源を入れます。⇒ P.15

❷ ホーム画面から［コピー］を選びます。⇒ P.13

❸ 用紙をセットします。⇒ P.18

❹ 給紙箇所を確認します。⇒ P.24

オートシートフィーダから給紙する場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットから給紙する場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

2 コピーを開始する

❶ 用紙サイズや用紙の種類などを確認します。

- 用紙と印刷の初期設定は以下の通りです。
  －給紙箇所：オートシートフィーダ
  －用紙サイズ：A4
  －用紙の種類：普通紙
  －印刷品質：標準
- 設定内容を変更するときは、各項目を選んで OK ボタンを押してください。⇒ P.34

❷ ＋－ボタンでコピー部数を指定します。

❸ 原稿台ガラスに原稿をセットします。

参考

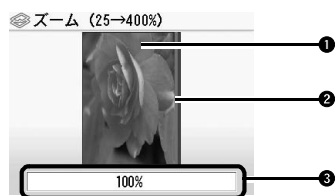
コピーできる原稿の種類や条件、セットのしかたについては、「コピーやスキャンする原稿をセットする」（P.17）を参照してください。

❹ カラーコピーをする場合はカラースタートボタンを押し、白黒コピーをする場合はモノクロスタートボタンを押します。

コピーが開始されます。

- ファンクションボタン（右 /［プレビュー］）を押すと（⇒ P.14）、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。原稿を読み込むため、プレビューが表示されるまで原稿台カバーを開けないでください。
- プレビュー画面を表示したあと、コピーが開始される前に原稿を再読み込みするため、コピーが終わるまで原稿台カバーを開けたり、原稿を原稿台ガラスから取り外さないでください。
- コピーを中止するときは、ストップ / リセットボタンを押します。

プレビュー画面を表示する

［プレビュー］と表示されている画面でファンクションボタン（右 /［プレビュー］）を押すと、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。⇒ P.14

❶ 原稿プレビュー

原稿台ガラスにセットした原稿が表示されます。原稿が傾いて表示されているときは、原稿台ガラスの左上隅にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせて原稿をセットし直してから、再度プレビュー画面を表示し、原稿プレビューを確認してください。

原稿が設定した用紙サイズよりも大きい場合、印刷されない部分は用紙サイズを表す枠の外に表示されます。

❷ 用紙サイズ

プレビュー画面を表示するときに設定している用紙サイズが表示されます。

❸ コピー倍率

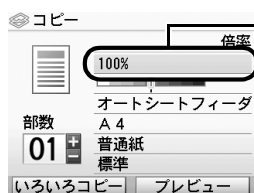
プレビュー画面を表示するときに設定しているコピー倍率が表示されます。［ズーム（25 → 400%)］、［100%］、または［定型サイズで変倍］を選んでいるときは、プレビュー画面でコピー倍率を変更することができます。

拡大・縮小してコピーする

原稿を拡大または縮小してコピーできます。

1 コピーの準備をする⇒ P.62

2 拡大／縮小の方法を選ぶ

［ズーム（25 → 400%）］を選んだ場合を例として説明します。

❶ ［倍率］を選び、OK ボタンを押します。

❷ ［ズーム（25 → 400%）］を選び、OK ボタンを押します。

パーセントを指定して拡大／縮小コピーします。

［ズーム（25 → 400%）］のほかに以下の方法が選べます。

用紙に合わせて変倍：

オートシートフィーダまたはカセットにセットした用紙サイズにおさまるように、原稿を自動的に拡大、または縮小してコピーします。

100%：

原稿と同じサイズでコピーします。

定型サイズで変倍：

A4 から A5 への縮小、B5 から A4 への拡大など、用紙サイズを変更してコピーするときに便利です。

❸ イージースクロール ホイールか ▲▼◀▶ ボタンで設定値を選び、OK ボタンを押します。

イージースクロール ホイールか ▲▼◀▶ ボタンで、倍率を拡大または縮小することができます。

参考

- ［プレビュー］と表示されている画面でファンクションボタン（右 /［プレビュー］）を押すと（⇒ P.14）、プレビュー画面で印刷結果を確認することができます。原稿を読み込むため、プレビューが表示されるまで原稿台カバーを開けないでください。
- プレビュー画面を表示したあと、コピーが開始される前に原稿を再読み込みするため、コピーが終わるまで原稿台カバーを開けたり、原稿を原稿台ガラスから取り外さないでください。
- ［用紙に合わせて変倍］を選んだ場合、原稿によってはサイズを正しく検知できないことがあります。正しく検知できないときは［ズーム（25 → 400%）］、［100%］、または［定型サイズで変倍］を選んでください。

3 コピーを開始する⇒ P.62

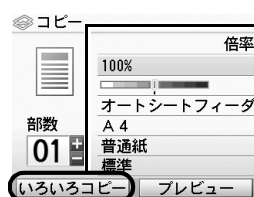
便利なコピー機能を使う

いろいろなコピー

いろいろなレイアウトのコピーが楽しめます。

いろいろなコピーの各種設定を解除するには、コピー画面でストップ / リセットボタンを押します。
コピー部数または濃度が設定されている場合は、ストップ / リセットボタンを 2 回押してください。

1 コピーの準備をする⇒ P.62

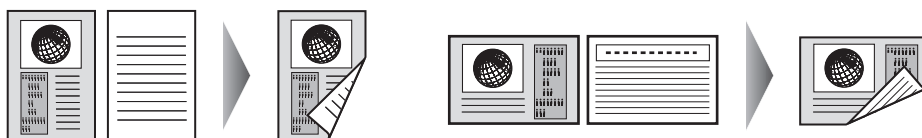
2 コピーメニューを選ぶ

❶ ファンクションボタン（左 / ［いろいろコピー］）を押します。⇒ P.14
いろいろコピー画面が表示されます。

■ 用紙の両面にコピーする－両面コピー

2 枚の原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーすることができます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［コピー］→ファンクションボタン（左 / ［いろいろコピー］）→［両面コピー］

いろいろコピー画面で［両面コピー］を選び、表示される案内にしたがって操作します。カラーコピーをする場合はカラースタートボタンを押し、白黒コピーをする場合はモノクロスタートボタンを押します。表面のみコピーする場合は、ファンクションボタン（左 / ［表面のみ印刷］）を押します（⇒ P.14）。続けて読み込む場合は OK ボタンを押します。

長辺とじのとき

短辺とじのとき

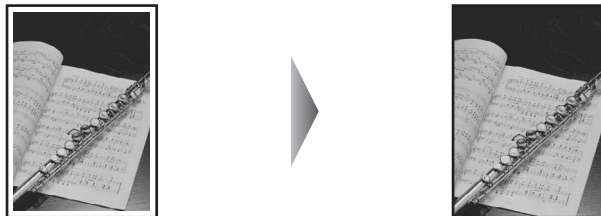
- この機能は、倍率の［用紙に合わせて変倍］、およびほかのコピー機能と組み合わせて設定することはできません。
- 白黒で両面コピーをした場合、片面の白黒コピーに比べて、印刷濃度に違いが見られる場合があります。
- この機能は、用紙サイズを［A4］または［レターサイズ］に設定したときだけ使うことができます。
- この機能は、用紙の種類を［普通紙］に設定したときだけ使うことができます。

■ 用紙全体にコピーする－フチなしコピー

画像のまわりにフチがでないように、用紙全体にコピーします。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［コピー］→ファンクションボタン（左 /［いろいろコピー］）→［フチなしコピー］

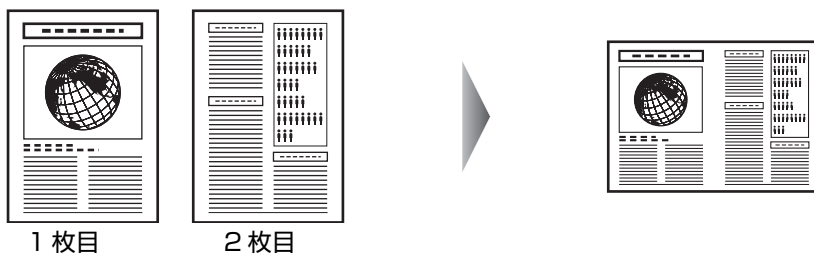
いろいろコピー画面で［フチなしコピー］を選び、表示される案内にしたがって操作します。カラーコピーをする場合はカラースタートボタンを押し、白黒コピーをする場合はモノクロスタートボタンを押します。

- 画像は用紙全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- この機能は、用紙サイズを［カード］、［名刺］、［A4］、［レターサイズ］、［はがき］、［L 判］、または［2L 判］に設定したときだけ使うことができます。
- この機能は、用紙の種類を［光沢紙］、［マットフォト］、［スーパーフォト］、［インクジェットはがき］、または［プロフォトペーパー］に設定したときだけ使うことができます。
- 印刷品質は、［標準］または［きれい（画質優先）］を選ぶことができます。
- 画像の大きさに合わせて、画像のはみ出し量を調整できます。詳しくは、『操作ガイド（お手入れ編）』の「本機の設定を変更する」を参照してください。

■ 2 枚の原稿を 1 枚にコピーする－ 2in1 コピー

2 枚の原稿を 1 枚の用紙におさまるように縮小してコピーすることができます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［コピー］→ファンクションボタン（左 /［いろいろコピー］）→［2in1 コピー］

いろいろコピー画面で［2in1 コピー］を選び、表示される案内にしたがって操作します。カラーコピーをする場合はカラースタートボタンを押し、白黒コピーをする場合はモノクロスタートボタンを押します。1 枚目の原稿で読み込みを終了するには、ファンクションボタン（左 /［1 枚目のみ印刷］）を押します（⇒ P.14）。続けて読み込む場合は OK ボタンを押します。

1 枚目

2 枚目

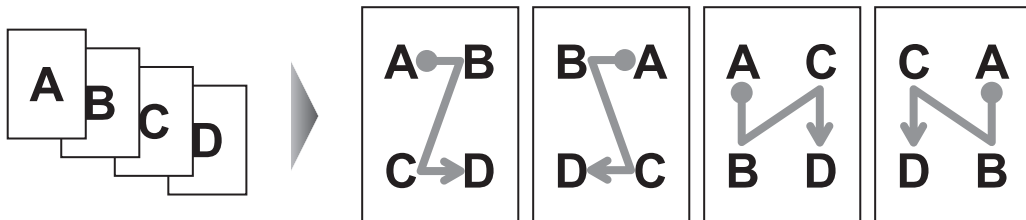
- この機能は、ほかのコピー機能と組み合わせて設定することはできません。
- 読み込み中に［本機のメモリがいっぱいで処理を継続できません］と表示された場合は、印刷品質を［標準］に設定して、コピーしてみてください。それでも改善されない場合は、印刷品質を［はやい（速度優先）］に設定してから、再度コピーしてください。
- この機能は、用紙サイズを［A4］または［レターサイズ］に設定したときだけ使うことができます。
- 倍率は設定できません。

■ 4 枚の原稿を 1 枚にコピーする− 4in1 コピー

4 枚の原稿を 1 枚の用紙におさまるように縮小してコピーすることができます。4 通りの配置順を選ぶことができます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［コピー］→ファンクションボタン（左 /［いろいろコピー］）→［4in1 コピー］

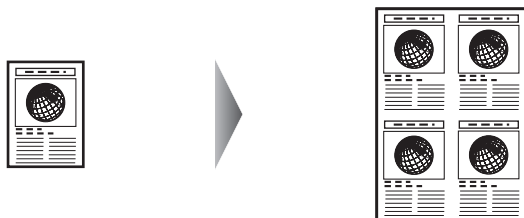
いろいろコピー画面で［4in1 コピー］を選び、表示される案内にしたがって操作します。カラーコピーをする場合はカラースタートボタンを押し、白黒コピーをする場合はモノクロスタートボタンを押します。1 枚目、2 枚目または 3 枚目の原稿で読み込みを終了するには、ファンクションボタン（左 /［このまま印刷］）を押します（⇒ P.14）。続けて読み込む場合は OK ボタンを押します。

- この機能は、ほかのコピー機能と組み合わせて設定することはできません。
- 読み込み中に［本機のメモリがいっぱいで処理を継続できません］と表示された場合は、印刷品質を［標準］に設定して、コピーしてみてください。それでも改善されない場合は、印刷品質を［はやい（速度優先）］に設定してから、再度コピーしてください。
- この機能は、用紙サイズを［A4］または［レターサイズ］に設定したときだけ使うことができます。
- 倍率は設定できません。

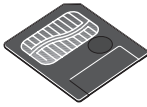
■ 画像を 1 枚の用紙に繰り返しコピーする−繰り返しコピー

用紙に原稿を繰り返しコピーできます。繰り返す回数は、自動レイアウトまたはあらかじめ本機に設定されている回数を選びます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［コピー］→ファンクションボタン（左 /［いろいろコピー］）→［繰り返しコピー］

いろいろコピー画面で［繰り返しコピー］を選び、表示される案内にしたがって操作します。カラーコピーをする場合はカラースタートボタンを押し、白黒コピーをする場合はモノクロスタートボタンを押します。

重要

- 原稿を読み込む範囲は、拡大／縮小率によって異なります。
- コピーする原稿は、一区切り分におさまるサイズでなければなりません。たとえば、等倍で原稿を 4 回コピーするときの原稿サイズは、用紙サイズの 1/4 以内でなくてはなりません。

- 用紙サイズの［カード］と［名刺］は選べません。
- 倍率の［用紙に合わせて変倍］は選べません。

メモリーカードをセットする

使用できるメモリーカード、各メモリーカードのセット方法と取り出し方法について説明します。

使用できるメモリーカードについて

以下のメモリーカードが使用できます。

カードスロットに直接セット可能なメモリーカード	
	コンパクトフラッシュ（CF）カード TYPE Ⅰ /TYPE Ⅱ（3.3 V）に対応しています。 マイクロドライブ
	スマートメディア 3.3V のカードのみ対応しています。 1 MB/2 MB のカードは対応していません。
	メモリースティック メモリースティック PRO
	SD メモリーカード マルチメディアカード（ver.3.31）

カードアダプタを使用してカードスロットにセットするメモリーカード	
重要 カードアダプタを取り付けないまま、メモリーカードをカードスロットにセットすると、メモリーカードが取り出せなくなる場合があります。必ず、カードアダプタに取り付けてからセットしてください。	
	xD-Picture カード *1
	メモリースティック Duo*2 メモリースティック PRO Duo*2
	miniSD カード *2

*1 別途 xD-Picture カード用コンパクトフラッシュカードアダプタをお買い求めください。
推奨 xD-Picture Card アダプタ（2006 年 4 月現在）
－富士写真フイルム株式会社製　型番：DPC-CF
*2 カードに付属のカードアダプタを使用してください。

- 本機は DCF® 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ（Exif 準拠）および DPOF（Ver1.00 準拠）に対応しています。
- デジタルカメラが動作を保証していないメモリーカードに撮影／保存されている写真は、本機で読み込めない場合やデータが破損する場合があります。デジタルカメラが動作を保証しているメモリーカードについては、デジタルカメラに付属の取扱説明書を参照してください。
- メモリーカードは、デジタルカメラでフォーマットしてください。パソコン固有のフォーマットには対応していません。
- パソコンで編集した写真は、正しく印刷できないことがあります。
- 一度に複数のメモリーカードをセットしないでください。

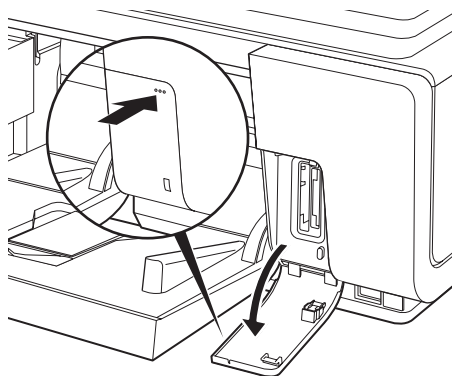
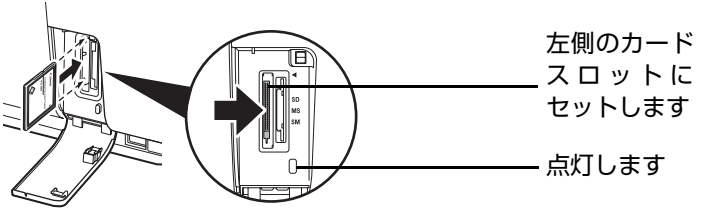
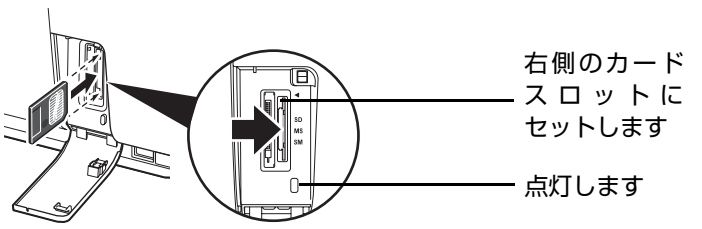
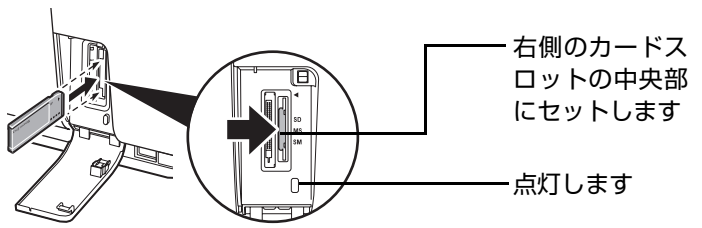
メモリーカードをカードスロットにセットする

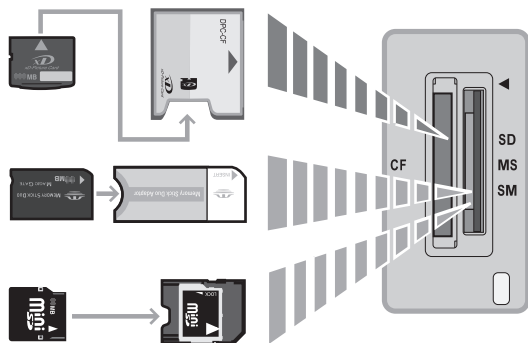
- 本機の操作パネルを使って、［各設定］の［カード書き込み状態］で［書き込み可能］にしている場合は、カードダイレクト印刷ができなくなります。本機のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして操作したあとは、メモリーカードを抜いてから［カード書き込み状態］を［書き込み禁止］に設定してください。詳しくは、『操作ガイド（お手入れ編）』の「本機の設定を変更する」を参照してください。
- メモリーカードに保存されている写真をパソコンで編集・加工したときは、必ずパソコンから印刷してください。操作パネルから印刷を行うと、正しく印刷できないことがあります。

1　本機の電源を入れる⇒ P.15

2　カードスロットカバーを開ける

右図の矢印部分を押して開きます。

3　メモリーカードをカードスロットに 1 枚だけセットする

注意

xD-Picture カード／メモリースティック Duo ／メモリースティック PRO Duo ／ miniSD カードをご使用の場合は、必ず、メモリーカード専用のカードアダプタに取り付けてからカードスロットにセットしてください。

誤ってカードアダプタに取り付けないでカードスロットに挿入してしまった場合は、『操作ガイド（お手入れ編）』の「困ったときには」の「メモリーカードが取り出せない」を参照してください。

●各メモリーカードのセット方法

カードの種類	セット方法
● コンパクトフラッシュ ● マイクロドライブ ● xD-Picture カード	
● スマートメディア	
● メモリースティック ● メモリースティック PRO ● メモリースティック Duo ● メモリースティック PRO Duo ● SD メモリーカード ● miniSD カード ● マルチメディアカード（ver.3.31）	

注意

- メモリーカードがスロットからはみ出した状態になりますが、それ以上無理に押し込まないでください。無理に押し込むと本機やメモリーカードの破損につながります。
- メモリーカードの向きをよく確認して、カードスロットにセットしてください。間違った向きで無理にセットすると、本機やメモリーカードが破損するおそれがあります。

4 アクセスランプが点灯したことを確認する

5 カードスロットカバーを閉じる

メモリーカードを取り出す

重要

カードスロットをパソコン用メモリーカードドライブとして使用する場合は、メモリーカードを本機から取り出す前にパソコン側での取り出し操作が必要になります。

- Windows をご使用の場合は、リムーバブルディスクアイコンを右クリックして［取り出し］を選んで取り出し操作を行ってください。［取り出し］が表示されない場合は、アクセスランプが点滅していないことを確認し、カードを取り出してください。
- Macintosh をご使用の場合は、 アイコンをゴミ箱に捨ててください。

1 カードスロットカバーを開ける

カバーを押して開きます。

2 アクセスランプが点滅していないことを確認してカードを取り出す

アクセスランプが点滅していないことを確認し、カードのはみ出した部分をつまんで、カードを取り出してください。

重要

アクセスランプが点滅しているときにメモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ると、メモリーカードのデータが破損することがあります。

3 カードスロットカバーを閉じる

メモリーカードの写真を印刷する

デジタルカメラのメモリーカードに保存されている写真を液晶モニターで見ることができます。写真を見ながら、印刷部数を指定して印刷してみましょう。

1 印刷の準備をする

❶ 本機の電源を入れます。⇒ P.15

❷ 用紙をセットします。⇒ P.18

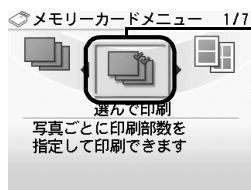
❸ 給紙箇所を確認します。⇒ P.24

オートシートフィーダから給紙する場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットから給紙する場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

2 メモリーカードをセットする

❶ ホーム画面から［メモリーカード］を選びます。⇒ P.13

❷ メモリーカードをカードスロットにセットします。⇒ P.69

3 印刷メニューを選ぶ

❶ ［選んで印刷］を選び、OK ボタンを押します。

❷ 用紙サイズや用紙の種類などを確認し、［次へ］を選んで、OK ボタンを押します。

写真選択画面が表示されます。

- 設定内容を変更するときは、各項目を選んで OK ボタンを押してください。⇒ P.34
- 写真を読み込み中は、液晶モニターに ⌛ が表示される場合があります。

4 印刷したい写真を選び、写真ごとに印刷枚数を指定する

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンで印刷したい写真を表示します。

❷ ＋－ボタンで印刷枚数を指定します。

❸ 手順 ❶、❷ を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷枚数を指定します。

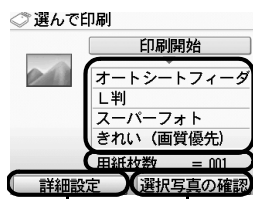
❹ OK ボタンを押します。

印刷設定確認画面が表示されます。

参考

こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒ P.77
- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒ P.78

5 印刷を開始する

❶ 印刷設定を確認します。

参考

設定内容を変更するときは、各項目を選んで OK ボタンを押してください。⇒ P.34

❷ 選んだ写真の合計の印刷枚数を確認します。

❸ 選んだ写真とそれぞれの部数を確認します。

❹ 詳細設定を変更します。⇒ P.34

❺ カラースタートボタンを押します。

写真ごとに指定した部数で印刷されます。

- 印刷を中止するときは、ストップ / リセットボタンを押します。
- モノクロスタートボタンを押しても、印刷は開始されません。

便利な印刷機能を使う

いろいろなメモリーカード印刷

いろいろなレイアウトのメモリーカード印刷が楽しめます。

1 印刷の準備をする⇒ P.72

2 メモリーカードをセットする⇒ P.72

3 印刷メニューを選ぶ

■ 1 枚の用紙に複数の写真を貼り込んで印刷する－レイアウト印刷

指定したレイアウトに、好きな写真を貼り付けて印刷できます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［メモリーカード］→［レイアウト印刷］

メモリーカードメニュー画面で［レイアウト印刷］を選び、表示される案内にしたがって操作します。

- コマに写真を貼り込まない場合は、写真を貼り込む画面でファンクションボタン（左 /［1 コマ空ける］）を押します。⇒ P.14
- フチなしを設定したときは、用紙の種類で［普通紙］は設定できません。
- ［ミックス 1］、［ミックス 2］、または［ミックス 3］に設定した場合、用紙サイズは［A4］または［レターサイズ］を選ぶことができます。
- 1 回の貼り込みの操作で、複数ページに貼り込むことはできません。1 ページの貼り込みが終了後、印刷を開始してください。
- ［日付 ON］と［画像番号 ON］を同時に設定した場合は、日付のみが印刷されます。日付と画像番号を同時に印刷することはできません。画像番号を印刷したい場合は、［日付 OFF］に設定してください。

こんなこともできます

- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒ P.78

■ シール紙に印刷する－シール紙印刷

お気に入りの写真にフレームを付けて、キヤノン純正のシール紙に印刷できます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［メモリーカード］→［シール紙印刷］

メモリーカードメニュー画面で［シール紙印刷］を選び、表示される案内にしたがって操作します。

- シール紙はカセットから印刷できません。オートシートフィーダにセットしてください。
- オートシートフィーダに一度にセットできる枚数は 1 枚です。
- フレームなしで印刷する場合は、フレーム選択画面でファンクションボタン（左 /［フレームなし］）を押してください。⇒ P.14
- 写真が逆さまのときは、▲▼ ボタンでフレームを 180 度回転させると、写真の上下に合わせて印刷できます。
- フレームに合わせて写真を 90 度回転させたい場合は、トリミング編集でトリミング範囲を回転して、トリミングの設定をしてください。⇒ P.77
- 用紙サイズや用紙の種類などの印刷設定を変更することはできません。

こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒ P.77
- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒ P.78

■ その他の印刷機能

［メモリーカード］には、ほかにも以下のような印刷メニューがあります。

● ［DPOF 印刷］

デジタルカメラで DPOF（Digital Print Order Format）の設定を行った場合、設定した内容にしたがった印刷が自動で行えます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［メモリーカード］→［DPOF 印刷］

- 本機では、以下の DPOF 機能に対応しています。

  対応画像形式： CIFF、Exif、JFIF

  プリントスタイル - スタンダードプリント：
  DPOF でスタンダードプリントを指定した写真を印刷

  プリントスタイル - インデックスプリント：
  DPOF でインデックスプリントを指定した写真を、本機のインデックス印刷のレイアウトに合わせて印刷

  印刷写真の指定： DPOF で指定した写真のみ印刷（操作パネルから指定できません）

  印刷枚数の指定： DPOF で指定した枚数を印刷（操作パネルから指定できません）

  上記以外の機能（写真のコメントやタイトル、トリミング、写真回転など）には対応していません。
- 印刷は用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。用紙サイズにより、写真の上下左右がカットされて印刷される場合があります。
- 撮影日の日付並び順は、DPOF の設定にしたがって印刷されます。

● [撮影情報印刷]

撮影した時の写真情報（Exif 情報）を写真一覧や写真の余白に印刷できます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［メモリーカード］→［撮影情報印刷］

以下の印刷方法が選べます。

- ［指定写真に印刷］：選んだ写真と写真情報を印刷できます。
- ［一覧に印刷］：すべての写真の一覧と写真情報を印刷できます。

こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒ P.77（［指定写真に印刷］のみ）
- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77（［指定写真に印刷］のみ）
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒ P.78

● [インデックス印刷]

メモリーカードに保存されているすべての写真の一覧を印刷できます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［メモリーカード］→［インデックス印刷］

- ［大（ベタ焼き）］：　35 mm フィルムのネガサイズ風に印刷されます。
- ［小（標準一覧）］：　印刷される写真の面数は用紙サイズによって異なります。
レターサイズ：80 面、A4：80 面、L 判：15 面、2L 判：35 面、
はがき：24 面、名刺／カード：6 面、六切：72 面、ワイド：28 面

こんなこともできます

印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒ P.78

● [すべての写真を印刷]

メモリーカードに保存されている写真をすべて印刷できます。

以下の順に画面を表示します。

ホームボタン→［メモリーカード］→［すべての写真を印刷］

こんなこともできます

印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒ P.78

便利な表示機能を使う

表示方法を変更する

［表示方法を変更］が表示されている画面で、ファンクションボタン（左 / ［表示方法を変更］）を押すと、写真の表示方法を変更することができます。⇒ P.14

標準画面表示： 1 枚ずつ写真が表示されます。

9 画面表示： 9 枚ずつ写真が表示されます。イージースクロール ホイールを使って、写真を選ぶことができます。それぞれの写真について印刷部数を設定できます。

フルスクリーン表示： 1 枚の写真を画面いっぱいに表示します。

拡大表示： 1 枚の写真を 2 倍の大きさで表示します。▲▼◀▶ ボタンで、表示される範囲を移動することができます。

スライドショー： 自動で次の写真を表示します。ストップ / リセットボタンを押すと終了します。

- かんたん写真焼増しモードおよびフィルム印刷モードの場合は、［標準画面表示］、［フルスクリーン表示］または［拡大表示］を選ぶことができます。
- 手書きナビシートを印刷する場合は、［標準画面表示］、［9 画面表示］、［フルスクリーン表示］または［拡大表示］を選ぶことができます。

印刷する範囲を指定する－トリミング

液晶モニターに表示されている写真のトリミング編集を行うことができます。

印刷設定確認画面で、用紙サイズや用紙の種類、フチのあり／なしを設定したあと、トリミング編集をしてください。トリミング編集後に用紙設定を変更すると、トリミング編集が用紙に合わせて補正されたり無効になる場合があります。

1 トリミングしたい写真を選ぶ

❶ トリミング編集を行いたい写真を選びます。

2 トリミング編集画面を表示する

❶ ［編集 / メニュー］が表示されている画面で、ファンクションボタン（右 / ［編集 / メニュー］）を押します。⇒ P.14

❷ ［トリミング］を選んで、OK ボタンを押します。
トリミング編集画面が表示されます。

3 印刷したい範囲をトリミングする

▲▼◀▶ ボタン：

トリミング枠を移動します。

イージースクロール ホイール：

トリミング枠の大きさを設定します。
時計回りに回すと枠を大きく、反時計回りに回すと枠を小さくすることができます。

ファンクションボタン（右 /［枠を回転］）：

トリミング枠を回転します。

ボタンを押すと、長方形の枠の向きが切り替わります。⇒ P.14

4 トリミング範囲を決定する

❶ OK ボタンを押します。

トリミング範囲が設定され、元の写真が表示されます。

- トリミングした画像をメモリーカード内に新たに保存することはできません。
- トリミングが設定されている写真にはトリミング範囲が表示されます。
- トリミング範囲を設定後、再度［編集 / メニュー］が表示されている画面でファンクションボタン（右 /［編集 / メニュー］）を押し（⇒ P.14）、［トリミング］を選んで、OK ボタンを押すと、前回トリミングした範囲を変更できます。
- トリミング設定の完了後に解除するには、［編集 / メニュー］が表示されている画面でファンクションボタン（右 /［編集 / メニュー］）を押し（⇒ P.14）、［トリミング解除］を選んで、OK ボタンを押します。［表示画像のみ］または［すべての画像］を選んで、OK ボタンを押します。

印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定

メモリーカードに保存されている写真の数が多いときは、写真の撮影日を指定することで、指定した日付の写真だけを、または指定した範囲の写真だけを表示させたり、印刷することができます。

印刷する写真を日付で絞り込む前に、すでに印刷枚数を指定した写真がある場合や、すでにレイアウトに貼り込んだ写真がある場合、その写真は絞り込む日付または範囲以外の写真であっても印刷されます。

1 日付指定方法設定画面を表示する

［編集 / メニュー］から設定する場合：

❶ ［編集 / メニュー］が表示されている画面で、ファンクションボタン（右 /［編集 / メニュー］）を押します。⇒ P.14

❷ ［日付範囲指定］を選んで OK ボタンを押します。

日付指定方法設定画面が表示されます。

印刷範囲の指定画面で［日付指定］から設定する場合：

❶ ［日付指定］を選んで OK ボタンを押します。

日付指定方法設定画面が表示されます。

2 日付指定方法を設定する

❶ 日付指定方法を選びます。

絞り込む日付を 1 日だけ指定したいときは［1 日のみ指定］を選びます。

絞り込む日付の範囲を指定したいときは［日付範囲指定］を選びます。

❷ OK ボタンを押します。

日付指定画面が表示されます。

メモリーカードに保存されている写真数によっては、日付指定画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

3 絞り込む日付範囲を指定する

［1 日のみ指定］を選んだ場合：

❶ 絞り込む日付を指定します。

［日付範囲指定］を選んだ場合：

❶ 絞り込みを開始する日付を指定し、OK ボタンを押します。

❷ 絞り込みを終了する日付を指定します。

4 絞り込みを開始する

❶ OK ボタンを押します。

絞り込みが行われて指定した範囲の写真が表示されます。

- 指定する日付は［各設定］の［日付表示形式］の設定にしたがって印刷されます。詳しくは、『操作ガイド（お手入れ編）』の「本機の設定を変更する」を参照してください。
- 日付指定を解除するには、[編集 / メニュー] が表示されている画面でファンクションボタン（右 / [編集 / メニュー]）を押し（⇒ P.14）、[日付範囲指定解除］を選んで、OK ボタンを押します。

便利なシートを使って印刷する

フォトナビシートを使って印刷する

本機では、フォトナビシートにマークを付けて印刷の設定をして、印刷したい写真を選ぶことにより、かんたんに写真を印刷することができます。マークを付けたフォトナビシートを読み込む（スキャンする）と、選んだ画像が印刷されます。

1 印刷の準備をする

❶ 本機の電源を入れます。⇒ P.15

❷ A4 の用紙をセットします。⇒ P.18

フォトナビシートを印刷するときは、白い紙を使用してください。

❸ 給紙箇所を確認します。⇒ P.24

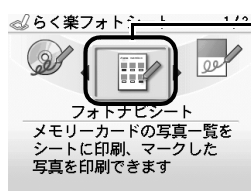
オートシートフィーダから給紙する場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットから給紙する場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

2 らく楽フォトシートメニューを選ぶ

❶ ホーム画面から［らく楽フォトシート］を選びます。⇒ P.13

❷ ［フォトナビシート］を選び、OK ボタンを押します。

❸ ［ナビシート印刷］を選び、OK ボタンを押します。

❹ メモリーカードをカードスロットにセットします。⇒ P.69

3 印刷する画像データの範囲を選ぶ

❶ ◀▶ ボタンでフォトナビシートに印刷する画像データの範囲を選び、OK ボタンを押します。

以下の範囲が選べます。

すべての写真を印刷： すべての画像を印刷します。

印刷枚数を指定： 枚数を指定して印刷します。

日付を指定： 画像の日付の範囲を指定して印刷します。

メモリーカードに保存されている写真数によっては、日付指定画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

4 フォトナビシートの印刷を開始する

❶ カラースタートボタンを押します。
フォトナビシートが印刷されます。

37 枚以上の画像を印刷する場合は、複数枚のフォトナビシートが印刷されます。

5 フォトナビシートにマークを付ける

濃い鉛筆などで塗りつぶして写真の選択や設定をします。

重 要

- 各項目で、もれがないように必ずマークを塗りつぶしてください。
- フォトナビシートが複数枚あるときは、それぞれのシートのマークを塗りつぶしてください。
- 塗りつぶしたマークが薄いと読み込まれないことがあります。

6 フォトナビシートを読み込み、写真を印刷する

❶ フォトナビシートで選んだ用紙をセットします。⇒ P.18

- フォトナビシートを使って画像を印刷する場合の用紙サイズは、L 判、2L 判、はがき、A4 を選ぶことができます。
- フォトナビシートの「給紙口を選択」で選んだ給紙箇所に用紙をセットしてください。

❷ ［シート読取＆印刷］を選び、OK ボタンを押します。

❸ 原稿台ガラスに、フォトナビシートをセットし、OK ボタンを押します。

マークを塗りつぶした面を下にして、フォトナビシートの左上隅を原稿台ガラスの左上隅にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせます。

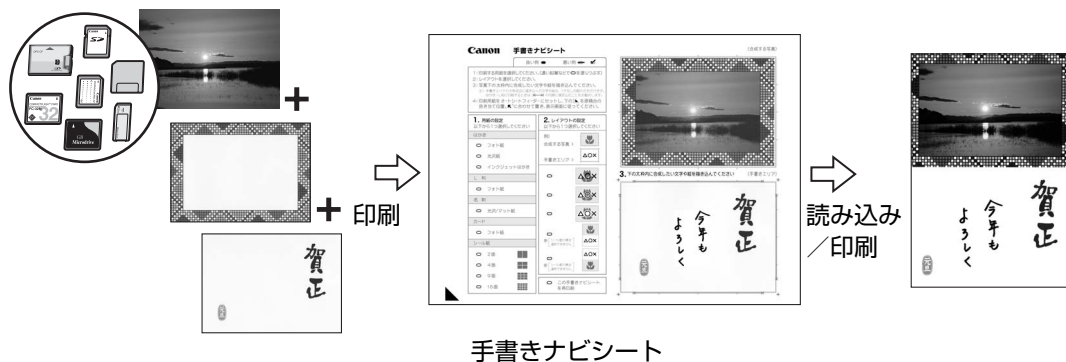
フォトナビシートが読み込まれ、指定した写真が印刷されます。

重要

- 液晶モニターに［フォトナビシートの読み取りに失敗しました］と表示された場合は、OK ボタンを押してフォトナビシートにチェックマークもれがないか、またはフォトナビシートの向きや位置を確認してください。
- 塗りつぶしたマークが薄いと読み込まれないことがあります。
- 印刷中にメモリーカードを抜かないでください。
- 原稿台ガラスが汚れている場合、読み込まれないことがあります。詳しくは、『操作ガイド（お手入れ編）』の「清掃する」を参照してください。
- フォトナビシートが汚れている場合、読み込まれないことがあります。

- 印刷を中止するときは、ストップ / リセットボタンを押します。
- 2 枚目以降のフォトナビシートを使用して印刷したいときは、手順 5 から行ってください。
- フォトナビシートから写真を印刷する前に、いったんメモリーカードを抜いてセットし直した場合、印刷が開始されるまで時間がかかる場合があります。

写真と手書きの文字を合成して印刷する－手書きナビシート印刷

手書きナビシートを使うと、お気に入りの写真にカラーの手書き文字やイラストを合成して印刷することができます。また手書き文字以外にも、フレームや文字を合成し年賀状など手書き文字入りの挨拶状やメッセージ入りのシールを作ることができます。

手書きナビシート

1 印刷の準備をする

❶ 本機の電源を入れます。⇒ P.15

❷ A4 の用紙をセットします。⇒ P.18

手書きナビシートを印刷するときは、白い紙を使用してください。

❸ 給紙箇所を確認します。⇒ P.24

オートシートフィーダから給紙する場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットから給紙する場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

2 らく楽フォトシートメニューを選ぶ

❶ ホーム画面から［らく楽フォトシート］を選びます。⇒ P.13

❷ ［手書きナビ印刷］を選んで、OK ボタンを押します。

❸ ［手書きシート印刷］を選んで、OK ボタンを押します。

❹ メモリーカードをカードスロットにセットします。⇒ P.69

❺ 液晶モニターの表示を確認し、OK ボタンを押します。

3 印刷したい写真を選ぶ

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンで印刷したい写真を表示し、OK ボタンを押します。

フレーム選択画面が表示されます。

こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒ P.77
- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒ P.78

4 フレームを選ぶ

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンでフレームを選び、OK ボタンを押します。

イラスト／文字選択画面が表示されます。

- ファンクションボタン（左 / ［フレームなし］）を押すと、フレームなしで印刷できます。⇒ P.14
- 写真が逆さまのときは、▲▼ ボタンでフレームを 180 度回転させると、写真の上下に合わせて印刷できます。
- フレームに合わせて写真を 90 度回転させたい場合は、トリミング編集でトリミング範囲を回転して、トリミングの設定をしてください。⇒ P.77

5 イラスト／文字を選ぶ

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンでイラスト／文字を選び、OK ボタンを押します。

ファンクションボタン（左 / ［イラストなし］）を押すと、イラスト／文字を入れずに印刷できます。⇒ P.14

6 手書きナビシートの印刷を開始する

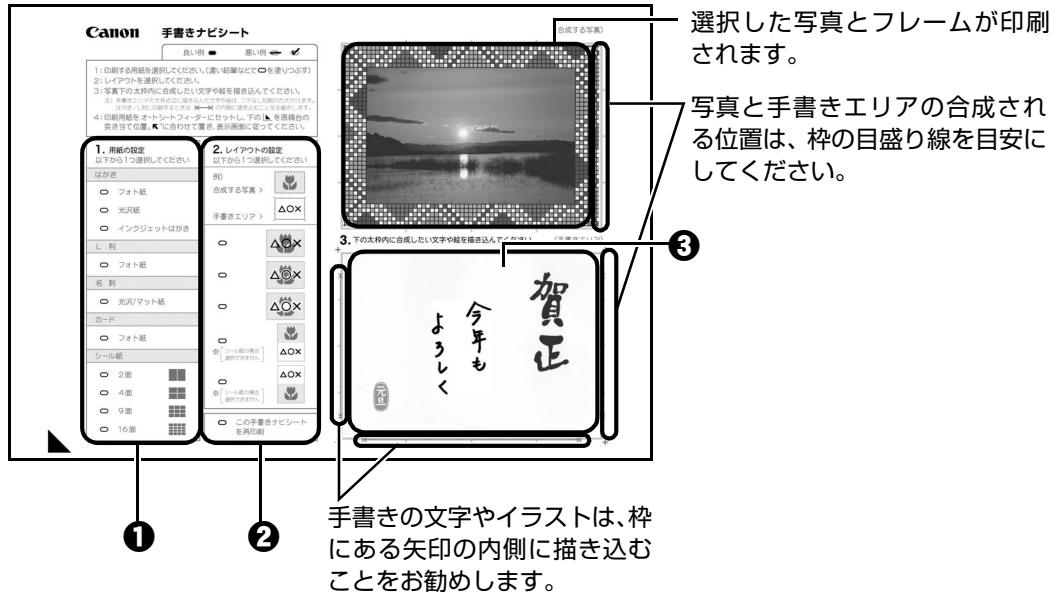
❶ カラースタートボタンを押します。

手書きナビシートが印刷されます。

7 手書きナビシートにマークを付け、合成したい文字やイラストを描き込む

手順 ❶ と手順 ❷ では、濃い鉛筆などでマークを塗りつぶして用紙やレイアウトの設定をします。

良い例　　　　　悪い例

チェックマーク　線のみ　うすい

❶ 用紙のサイズや種類を選びます。

❷ 写真と手書きエリアの合成方法を選びます。

は写真の配置、△○× は手書きのエリアの配置を示しています。

- シール紙は用紙半面レイアウトと組み合わせて設定することはできません。
- 手書き文字の合成パターンは背景となる写真上ではっきり見えるように、次の 3 種類から選んでください。
  －文字のみ、白フチ付、白フチ付でフチの内側を白ヌキ
- 「この手書きナビシートを再印刷」にマークを付けると、手書きナビシートをもう一度、印刷します。マークを付けるとほかのマークはすべて無効になります。

❸ イラスト／文字選択画面で選択した文字やイラストが印刷されます。

合成したい手書きの文字やイラストをここに描き込みます。

- きれいに読み込むためにかすれないようにはっきりと描いてください。
- 蛍光ペンなどのうすい色はうまくいかない場合があります。

- 各項目で、もれがないように必ずマークを塗りつぶしてください。
- 塗りつぶしたマークが薄いと読み込まれないことがあります。
- シール紙に対応したレイアウトは以下の通りです。
  －ピクサスプチシール PS-101：16 面
  －フォトシールセット PSHRS：2 面、4 面、9 面、16 面
- シール紙以外はフチなしで印刷されます。
- 写真の周囲と手書きエリアの枠近辺に描き込んだ文字やイラストは、フチなし印刷のため欠けます。

  はがき／ L 判に印刷するときは、文字やイラストを手書きエリアの枠にある矢印の内側に描き込むことをお勧めします。
- 背景になる写真と同じような色のイラスト／文字や、手書き文字を合成すると文字が読みにくくなります。

  この場合は手書きナビシートの「レイアウトの設定」で白フチ付を選択してください。
- 手書きエリアに印刷されたイラスト／文字に重ねて蛍光ペンや水性ペン等で文字やイラストを描くと、かすれてしまうことがあります。このまま読み込むと、きれいに印刷されません。

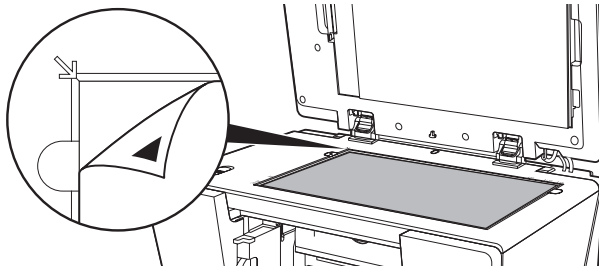
8 手書きナビシートを読み込み、写真を印刷する

❶ 手書きナビシートで選んだ用紙をオートシートフィーダにセットします。⇒ P.24

給紙切替ボタンで給紙箇所をカセットに設定していても、オートシートフィーダから給紙されます。

❷ ［手書きシート読込］を選び、OK ボタンを押します。

❸ 原稿台ガラスに、手書きナビシートをセットします。

マークを塗りつぶした面を下にして、手書きナビシートの左下隅の ▲ マークを原稿台ガラスの左上隅にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせます。

❹ OK ボタンを押します。

印刷部数指定画面が表示されます。

❺ ＋－ボタンで印刷部数を設定し、OK ボタンを押します。

手書きナビシートが読み込まれ、指定した写真にフレームと手書きエリアの内容が合成されて印刷されます。

印刷が完了するまで手書きナビシートは動かさないでください。

重要

- 液晶モニターに［手書きナビシートの読み取りに失敗しました］と表示された場合は、OK ボタンを押して、以下を確認してください。
  －原稿台ガラスが汚れていないか、手書きナビシートの用紙が汚れていないか、または手書きナビシートの向きや位置、表裏を確認してください。
  －塗りつぶしたマークが薄くないか、正しく塗りつぶされているか、手書きナビシートにチェックマークもれがないか、または一つの項目に複数のチェックマークをつけていないか確認してください。
- 液晶モニターに用紙とレイアウトの設定の組み合わせが正しくないというメッセージが表示された場合は、OK ボタンを押して手書きナビシートの用紙とレイアウトの組み合わせを確認してください。シール紙と用紙半面レイアウトを組み合わせて選ぶことはできません。ほかの組み合わせを選んでください。
- 写真の印刷が完了するまで、メモリーカードを抜かないでください。

- 印刷を中止するときは、ストップ / リセットボタンを押します。
- 手書きイラストの大きさや形によっては、印刷に時間がかかることがあります。
- 撮影方法や画像編集の条件によっては、印刷画像の上下が逆に印刷されることがあります。その場合は用紙の向きを逆にしてセットしてください。

写真と手書きの文字を合成して DVD/CD に印刷する－DVD/CD 手書きナビシート印刷

DVD/CD 手書きナビシートを使うと、メモリーカードに保存されているお気に入りの写真にカラーの手書き文字やイラストを合成して印刷することができます。

印刷

DVD/CD 手書きナビシート

読み込み／印刷

重要

8 cm サイズの DVD/CD には印刷できません。

参考

画像がずれて印刷される場合は、印刷位置を調整してください。DVD/CD 印刷位置調整については、『操作ガイド（お手入れ編）』の「本機の設定を変更する」の「印刷設定」を参照してください。

1 印刷の準備をする

❶ 本機の電源を入れます。⇒ P.15

❷ A4 の用紙をセットします。⇒ P.18

参考

- DVD/CD 手書きナビシートを印刷するときは、白い紙を使用してください。
- お試し印刷を行う場合は、用紙を 2 枚セットしてください。

❸ 給紙箇所を確認します。⇒ P.24

参考

オートシートフィーダから給紙する場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットから給紙する場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

2 らく楽フォトシートメニューを選ぶ

❶ ホーム画面から［らく楽フォトシート］を選びます。⇒ P.13

❷ ［DVD/CD 手書きナビ］を選んで、OK ボタンを押します。

❸ ［ナビシート印刷］を選んで、OK ボタンを押します。

❹ メモリーカードをカードスロットにセットします。⇒ P.69

❺ 液晶モニターの表示を確認し、OK ボタンを押します。

3 印刷したい写真を選ぶ

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンで印刷したい写真を表示し、OK ボタンを押します。

❷ DVD/CD の印刷イメージを確認して OK ボタンを押します。

こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒ P.77
- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77
- 印刷する写真を日付で絞り込む－日付指定⇒ P.78

4 DVD/CD 手書きナビシートの印刷を開始する

❶ カラースタートボタンを押します。

DVD/CD 手書きナビシートが印刷されます。

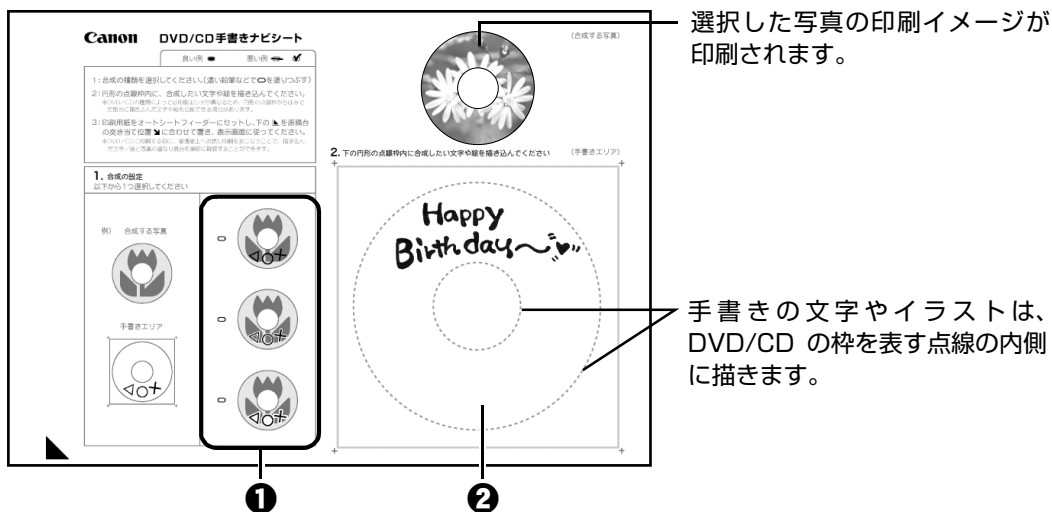
5 DVD/CD 手書きナビシートにマークを付け、合成したい文字やイラストを描き込む

手順 ❶ では、濃い鉛筆などでマークを塗りつぶして合成の設定をします。

良い例　悪い例

チェックマーク

線のみ

うすい

選択した写真の印刷イメージが印刷されます。

手書きの文字やイラストは、DVD/CD の枠を表す点線の内側に描きます。

❶ ❷

❶ 写真と手書きエリアの合成方法として手書き部分のパターンを次の 3 種類の中から選びます。

文字のみ／白フチ付／白フチ付でフチの内側を白ヌキ

- マークは必ず 1 つ塗りつぶしてください。
- 塗りつぶしたマークが薄いと読み込まれないことがあります。
- 背景になる写真と同じような色の文字を合成すると文字が読みにくくなります。

  この場合は「合成の設定」で白フチ付を選択してください。

❷ 合成したい手書きの文字やイラストをここに描き込みます。

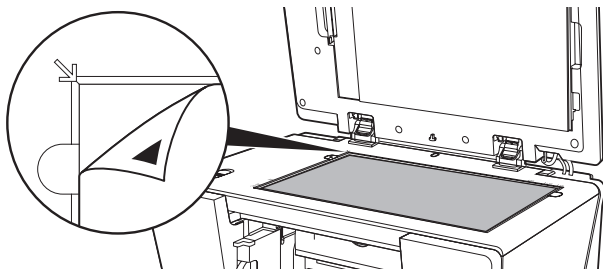
- きれいに読み込むためにかすれないようにはっきりと描いてください。
- 蛍光ペンなどのうすい色はうまくいかない場合があります。
- 印刷領域の設定によっては、実際のDVD/CDの印刷結果とDVD/CD手書きナビシート上の印刷イメージとが異なる場合があります。また、ナビシートを印刷する用紙の種類によって、写真の色合いなどの見えかたも異なります。
- DVD/CD の内径と外径を表す点線の近辺に文字やイラストを描くと、印刷のときに欠けることがあります。文字やイラストは、内径と外径の点線の内側に描き込むことをお勧めします。

6 A4 サイズの用紙にお試し印刷する

お試し印刷を行わない場合は、次の手順 7 に進んでください。

❶ ［お試し印刷］を選び、OK ボタンを押します。

❷ 原稿台ガラスに、DVD/CD 手書きナビシートをセットします。

マークを塗りつぶした面を下にして、DVD/CD 手書きナビシートの左下隅の ▲ マークを原稿台ガラスの左上隅にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせます。

❸ OK ボタンを押します。

❹ 印刷領域を指定し、OK ボタンを押します。

外径／内径の寸法は、DVD/CD（プリンタブルディスク）の印刷面の寸法に合わせて指定してください。

❺ A4 サイズの用紙がセットされていることを確認します。⇒ P.18

❻ お試し印刷を開始します。

カラースタートボタンを押すと、お試し印刷が開始されます。

- お試し印刷結果の色合いや見えかたが、実際の DVD/CD の印刷結果と異なる場合があります。
- お試し印刷で印刷結果を確認し、修正したい場合は、手順 5 からやり直してください。

7 DVD/CD 手書きナビシートを読み込み、写真を印刷する

❶ ［シート読込＆印刷］を選び、OK ボタンを押します。

❷ 原稿台ガラスに、DVD/CD 手書きナビシートをセットします。⇒手順 6

❸ OK ボタンを押します。

❹ 印刷領域を指定し、OK ボタンを押します。

- 外径／内径の寸法は、DVD/CD（プリンタブルディスク）の印刷面の直径を測り、外径は計測した値より小さい数値で、内径は計測した値より大きい数値を指定してください。
- プリンタブルディスクの詳しい情報は、製品メーカーへお問い合わせください。

❺ ご使用のDVD/CD（プリンタブルディスク）の種類を指定し、OKボタンを押します。

ご使用のメディアが推奨品の場合は、適切な濃度で印刷するために、［推奨品DVD/CD］を指定してください。推奨品でない場合は、［その他DVD/CD］を指定してください。

推奨品一覧は、キヤノンサポートホームページcanon.jp/supportでご確認ください。

❻ 印刷設定を確認します。

カラースタートボタンを押します。

❼ 印刷準備が終わったら、DVD/CD（プリンタブルディスク）をセットします。

DVD/CD手書きナビシートが読み込まれ、指定した写真に手書きエリアの内容が合成されて印刷されます。

印刷が完了するまでは原稿台カバーを開けないでください。

- 液晶モニターに［DVD/CD手書きナビシートの読み取りに失敗しました］と表示された場合は、OKボタンを押して、以下を確認してください。
  - 原稿台ガラスが汚れていないか、DVD/CD手書きナビシートの用紙が汚れていないか、またはDVD/CD手書きナビシートの向きや位置、表裏を確認してください。
  - 塗りつぶしたマークが薄くないか、正しく塗りつぶされているか、DVD/CD手書きナビシートにチェックマークもれがないか、または一つの項目に複数のチェックマークをつけていないか確認してください。
- DVD/CDへの印刷が完了するまで、メモリーカードを抜かないでください。

参考

- 印刷を中止するときは、ストップ/リセットボタンを押します。
- ファンクションボタン（左/［設定ガイド］）を押すと（⇒P.14）、DVD/CD（プリンタブルディスク）のセット方法が表示されます。
- 手書きのイラストの大きさや形によっては、印刷に時間がかかることがあります。
- 印刷後はドライヤーの熱や直射日光を避け、自然乾燥させてください。また、インクが乾くまで印刷面には触らないでください。

カードスロットをパソコンのドライブに設定する

本機のカードスロットを、パソコンのメモリーカード用ドライブとして、書き込みができるように設定することができます。

本機の操作パネルを使って、［各設定］の［カード書き込み状態］で［書き込み可能］にしている場合は、カードダイレクト印刷ができなくなります。本機のカードスロットをパソコンのメモリーカード用ドライブとして操作したあとは、メモリーカードを抜いてから［カード書き込み状態］を［書き込み禁止］に設定してください。また、本機の電源を切った場合も［書き込み可能］は解除され、次回電源 ON 時には［書き込み禁止］に設定が戻ります。詳しくは、『操作ガイド（お手入れ編）』の「本機の設定を変更する」を参照してください。

1 カード書き込み状態画面を表示する

❶ メモリーカードがセットされていないことを確認します。

セットされている場合は、カードスロットから取り出してください。詳しくは「メモリーカードを取り出す」（P.71）を参照してください。

❷ ホーム画面から［設定］を選びます。⇒ P.13

❸ ［各設定］を選び、OK ボタンを押します。

❹ ［その他の設定］を選び、OK ボタンを押します。

❺ ［カード書き込み状態］を選び、OK ボタンを押します。

2 カード書き込み状態を設定する

❶ カード書き込み状態を設定します。

書き込み禁止： カードスロットを読み取り専用として設定します。メモリーカードから印刷するときは、必ずこのモードに設定してください。

書き込み可能： カードスロットをメモリーカード専用ドライブとして設定し、メモリーカードへの書き込みが可能になります。

❷ OK ボタンを押します。

カードスロットをパソコン用メモリーカードドライブとして使用する場合は、メモリーカードを本機から取り出す前にパソコン側での取り出し操作が必要になります。

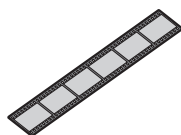
- Windows をご使用の場合は、リムーバブルディスクアイコンを右クリックして［取り出し］を選んで取り出し操作を行ってください。［取り出し］が表示されない場合は、アクセスランプが点滅していないことを確認し、カードを取り出してください。
- Macintosh をご使用の場合は、 アイコンをゴミ箱に捨ててください。

写真やフィルムからの印刷の流れ

本機では、紙焼きの写真や 35 mm フィルム（スリーブ、マウント）を読み込んで印刷することができます。フィルムは、スリーブ（6 コマずつつながった通常の現像仕上がり状態）とマウント（1 コマずつスライド用マウントにセットした状態）の両方に対応しています。読み込んだ写真にいろいろな設定をして印刷することができます。

Step 1

- 写真を読み込もう（⇒ P.94）
- フィルムを読み込もう（⇒ P.96）

紙焼きの写真

35 mm スリーブフィルム

35 mm マウントフィルム

Step 2

印刷方法を選択する

- 選んで印刷する（⇒ P.100）
- 絵はがきを作る（⇒ P.102）
- シール紙に印刷する（⇒ P.102）
- すべての写真を印刷する（⇒ P.103）

Step 3

用紙のサイズ・種類や補正を設定する

- 用紙サイズを設定する（⇒ P.36）
- 用紙の種類を設定する（⇒ P.36）
- フチのあり／なしを設定する（⇒ P.36）
- 顔明るく補正を設定する（⇒ P.37）
- 色あせ補正を設定する（⇒ P.37）
- 明るさを設定する（⇒ P.37）
- コントラストを設定する（⇒ P.37）
- 色合い調整を設定する（⇒ P.37）

Step 4

設定した用紙をセットして印刷する

※ 読み込んだ写真やフィルムの画像データは本機やメモリーカードへの保存ができません。パソコンに保存する場合は、パソコンから読み込んでください。詳しくは、『スキャナ操作ガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

写真を読み込もう

紙焼きの写真を読み込む方法について説明します。

原稿台ガラスには、E 判や L 判は 4 枚、2L 判やはがきは 2 枚までセットできます。

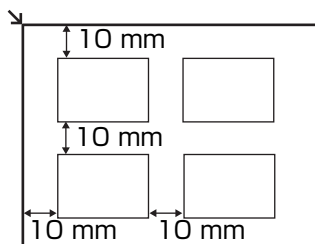
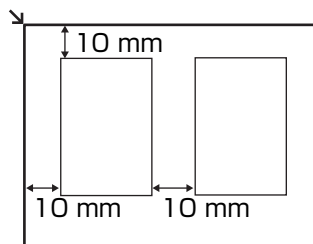
1 読み込む準備をする

❶ 本機の電源を入れます。⇒ P.15

❷ ホーム画面から［かんたん写真焼増し］を選びます。⇒ P.13
置きかたガイドが表示されます。

2 写真を原稿台ガラスにセットする

❶ 原稿台カバーを開けます。

❷ 写真を原稿台ガラスにセットします。
写真はコピーまたはスキャンする面を下向きにして、以下のように原稿台ガラスにのせてください。

E 判 /L 判

2L 判／はがき

- 写真は原稿台ガラスと平行になるように、原稿台の端から 10 mm 以上あけてセットしてください。
- 傾き補正機能により、約 10 度までの傾きは自動的に補正されます。
- プレビュー画面に が表示された場合は、写真が原稿台の端に近づきすぎていないか、傾きが大きすぎないかを確認し、写真をセットし直してから、再度読み込んでください。
- 写真が 2 枚以上ある場合は、写真と写真の間隔を 10 mm 以上あけてください。写真と写真の間隔が狭いと、1 つの画像として読み込まれる場合があります。
- 長い辺が約 180 mm 以上の写真の傾きは補正できません。
- 約 25 mm 四方より小さい写真は正しく読み込むことができません。
- 次のような写真は、正しく読み込めない場合があります。
  －長方形以外の変形した写真（いろいろな形に切り抜いた写真など）
  －全体に白い写真
- フチのある写真はフチの部分を正しく読み込めない場合があります。必要に応じてトリミングを行って印刷してください。

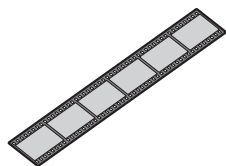
3 原稿台カバーをゆっくり閉じ、OK ボタンを押す

写真が読み込まれます。

- 印刷が開始される前に写真を再読み込みするため、印刷が終わるまで原稿台カバーを開けたり、写真を原稿台ガラスから取り外さないでください。
- 別の写真をセットするときは、ファンクションボタン（左 /［再読込］）を押してください。（⇒ P.14）［読み込んだ画像を削除し再度、読み込みますか？］と表示されたら、［はい］を選んで OK ボタンを押し、前回の画像データを削除してから、手順 2 から操作してください。

フィルムを読み込もう

35 mm スリーブフィルムや 35 mm マウントフィルムを読み込む方法について説明します。

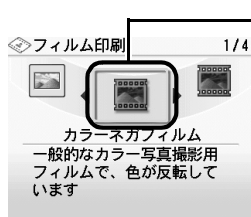
パソコンからフィルムをスキャンする場合も、本機で読み込む場合と同様にセットしてください。

35 mm スリーブフィルム

35 mm マウントフィルム

1 読み込む準備をする

❶ 本機の電源を入れます。⇒ P.15

❷ ホーム画面から［フィルム印刷］を選びます。⇒ P.13

2 読み込むフィルムの種類を選ぶ

❶ 読み込むフィルムの種類を選びます。

以下のフィルムの種類が選べます。

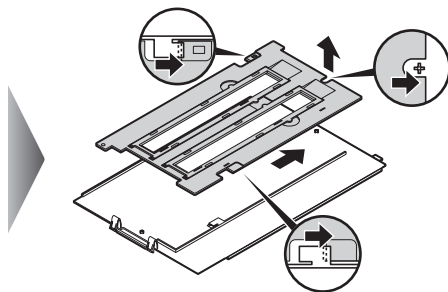
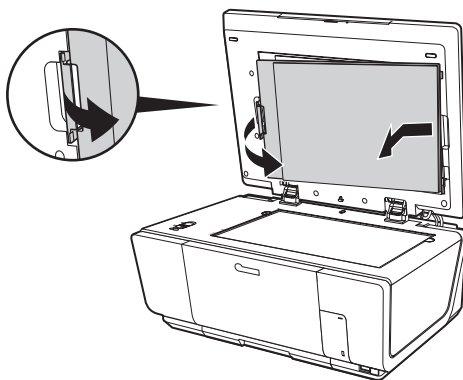
カラーネガフィルム、白黒ネガフィルム、カラーポジフィルム、マウント（スライド用）

❷ OK ボタンを押します。

フィルムのセット方法が表示されます。

3 フィルムガイドを取り外す

❶ 原稿台カバーから FAU 保護シートを取り外します。

❷ シートの裏側から、スリーブ用フィルムガイドを取り外します。

35 mm マウント用フィルムを使用するときは、本機に同梱されているマウント用フィルムガイドを用意してください。

写真やフィルムから印刷してみよう

4 フィルムを原稿台ガラスにセットする

35 mm スリーブフィルムの場合：⇒ P.97

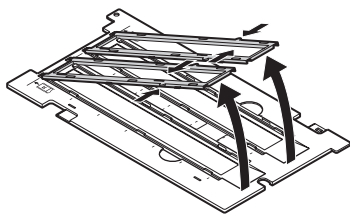
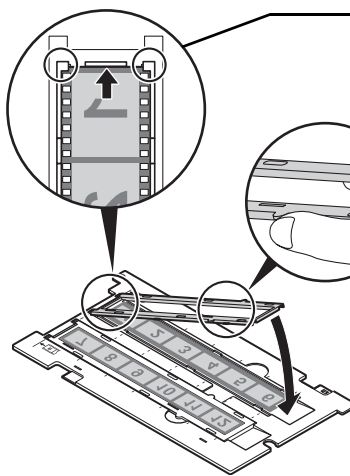
35 mm マウントフィルムの場合：⇒ P.99

5 原稿台カバーをゆっくり閉じ、カラースタートボタンを押す

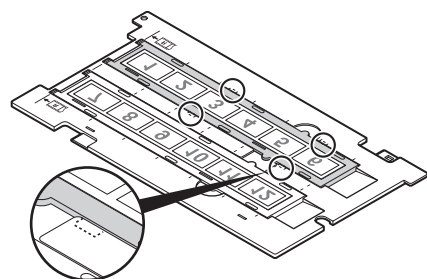
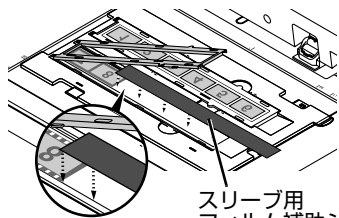
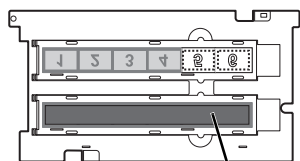
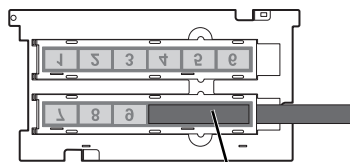
フィルムが読み込まれます。

- 印刷が開始される前にフィルムを再読み込みするため、印刷が終わるまで原稿台カバーを開けたり、フィルムを原稿台ガラスから取り外さないでください。
- 正しく読み込めなかった場合は、『操作ガイド（お手入れ編）』の「困ったときには」の「フィルムのスキャンができない」を参照してください。
- 別のフィルムをセットするときは、ファンクションボタン（左 /［再読込］）を押してください。（⇒ P.14）［読み込んだ画像を削除し再度、読み込みますか？］と表示されたら、［はい］を選んで OK ボタンを押し、前回の画像データを削除してから、手順 2 から操作してください。

■ フィルムのセット方法

35 mm スリーブフィルムの場合：

❶ スリーブ用フィルムガイドのフィルムホルダーの縁を内側に押しながら開きます。

❷ スリーブ用フィルムガイドにフィルムのおもて面（像が正しく見える面）を下向きにセットします。フィルムの先端をフィルムガイドのツメの下に通し、コマとコマの間がフィルムガイドの白線マークに合うようにしてください。

❸ フィルムホルダーを指で内側に押し付け気味につまんで確実に閉じます。

参考

- フィルムホルダーがきちんと閉じないときは、フィルムをフィルムガイドの溝の内側に正しくセットし直してから閉じてください。
- フィルムホルダーを閉じたとき、外側の突起すべてがフィルムガイドの溝にはまっていることを確認してください。フィルムホルダーが浮いているときは、上から全体を押しつけてください。

全コマをうめない場合

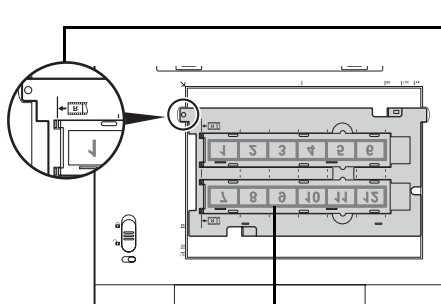
ガイドの長さより短いフィルムをセットしたとき、フィルムのない部分に接しているコマの画像がやや白っぽくなることがあります。この場合は、素通しの部分をスリーブ用フィルム補助シートでふさいで読み込んでください。

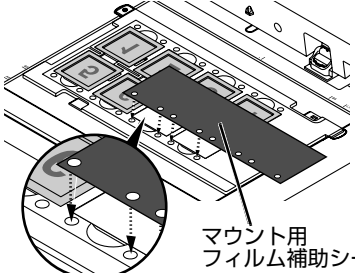
スリーブ用
フィルム補助シート

フィルム補助シートの使いかた

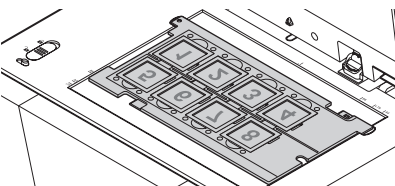
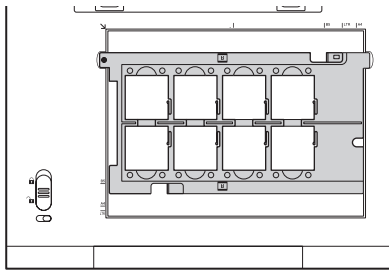
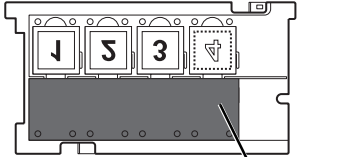
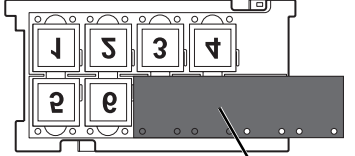
図のように１～４までしかないフィルムをセットした場合は、７～12をスリーブ用フィルム補助シートでふさいでください。５～６にフィルムがなくてもスリーブ用フィルム補助シートでふさぐ必要はありません。

図のように１～９にフィルムをセットした場合は、10～12をスリーブ用フィルム補助シートでふさいでください。

スリーブ用フィルム補助シートはフィルムガイドの外側にはみ出しますが、そのまま原稿台にセットしてください。

❹ フィルムガイドの Я マークが表になるように、原稿台の溝に合わせてセットします。

❺ フィルムのおもて面（像が正しく見える面）が下向きになっていることを確認してください。

フィルムの画像のない箇所に管理用のシールが貼られていると、それを画像と判断する場合があります。

写真やフィルムから印刷してみよう

35 mm マウントフィルムの場合：

❶ 原稿台の左右の溝に合わせてマウント用フィルムガイドをセットします。

❷ マウント用フィルムガイドにフィルムのおもて面（像が正しく見える面）を下向きにし、画像は逆さまになるようにセットします。フィルムは原稿台ガラスから浮かないようにセットしてください。

全コマをうめない場合

- フィルムとフィルムのあいだに空きがないように、左から順（1 ～ 4 → 5 ～ 8 の順）にセットしてください。
- フィルムのない部分があるとき、フィルムのない部分に接しているコマの画像がやや白っぽくなることがあります。この場合は、5 ～ 8 でフィルムのない部分をマウント用フィルム補助シートでふさいで読み込んでください。

フィルム補助シートの使いかた

図のように 1 ～ 3 にフィルムをセットした場合は、5 ～ 8 をマウント用フィルム補助シートでふさいでください。4 にフィルムがセットされていなくてもマウント用フィルム補助シートでふさぐ必要はありません。

マウント用
フィルム補助シート

図のように 1 ～ 6 にフィルムをセットした場合は、7 ～ 8 をマウント用フィルム補助シートでふさいでください。

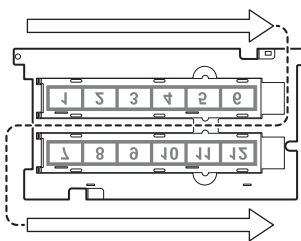
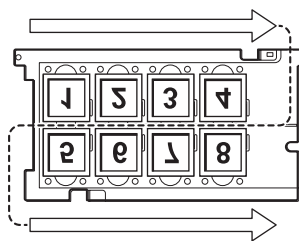
マウント用フィルム補助シートはフィルムガイドの外側にはみ出しますが、そのまま原稿台にセットしてください。

- フィルムは左から右に読み込まれます。
- 読み込んだ写真が液晶モニターで逆さまに表示されないようにするために、フィルムは写真の上側が手前になるようにセットしてください。撮影したカメラの機種によってはフィルムのコマ順のとおりに読み込めない場合があります。

読み込む順番

35 mm スリーブフィルム

35 mm マウントフィルム

写真やフィルムから印刷してみよう

読み込んだ写真を印刷する

写真を見ながら、印刷部数を指定して印刷してみましょう。

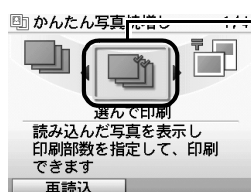
1 印刷の準備をする

❶ 用紙をセットします。⇒ P.18

❷ 写真（P.94）またはフィルム（P.96）を読み込みます。

❸ 給紙箇所を確認します。⇒ P.24

オートシートフィーダから給紙する場合はオートシートフィーダランプが点灯、カセットから給紙する場合はカセットランプが点灯するように、給紙切替ボタンで設定してください。

2 印刷メニューを選ぶ

❶ ［選んで印刷］を選び、OK ボタンを押します。

❷ 用紙サイズや用紙の種類などを確認し、［次へ］を選んで、OK ボタンを押します。

写真選択画面が表示されます。

設定内容を変更するときは、各項目を選んで OK ボタンを押してください。⇒ P.34

3 印刷したい写真を選び、写真ごとに印刷枚数を指定する

例：かんたん写真焼増しモードの画面

❶ イージースクロール ホイールか ◀▶ ボタンで印刷したい写真を表示します。

❷ ＋－ボタンで印刷枚数を指定します。

❸ 手順 ❶、❷ を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷枚数を指定します。

❹ OK ボタンを押します。

印刷設定確認画面が表示されます。

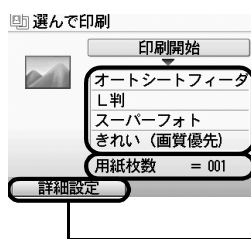
こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒ P.103
- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77

写真やフィルムから印刷してみよう

4 印刷を開始する

❶ 印刷設定を確認します。

参考

設定内容を変更するときは、各項目を選んで OK ボタンを押してください。⇒ P.34

❷ 選んだ写真の合計の印刷枚数を確認します。

❸ 詳細設定を変更します。⇒ P.34

❹ カラーで印刷する場合はカラースタートボタンを押し、白黒で印刷する場合はモノクロスタートボタンを押します。

写真ごとに指定した部数で印刷されます。

印刷を中止するときは、ストップ / リセットボタンを押します。

便利な印刷機能を使う

いろいろな写真印刷

いろいろなレイアウトの写真印刷が楽しめます。

1　印刷の準備をする⇒ P.100

2　印刷メニューを選ぶ

■ 絵はがきを作る－絵はがき風印刷

読み込んだ写真から、オリジナルの絵はがきを作ることができます。

以下の順に画面を表示します。

かんたん写真焼増しモード：ホームボタン→［かんたん写真焼増し］→［絵はがき風印刷］

フィルム印刷モード　　　：ホームボタン→［フィルム印刷］→［絵はがき風印刷］

それぞれの印刷メニューの画面で［絵はがき風印刷］を選び、表示される案内にしたがって操作します。

- 用紙サイズは［はがき］に設定されます。［はがき］以外を選ぶことはできません。
- ［全面　フチなし］または［半分　フチなし］で印刷すると、画像がフチなしで印刷されるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。

こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒ P.77
- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77

■ シール紙に印刷する－シール紙印刷

キヤノン純正のシール紙を使うと、読み込んだ写真で、かんたんにシールを作ることができます。

以下の順に画面を表示します。

かんたん写真焼増しモード：ホームボタン→［かんたん写真焼増し］→［シール紙印刷］

フィルム印刷モード　　　：ホームボタン→［フィルム印刷］→［シール紙印刷］

それぞれの印刷メニューの画面で［シール紙印刷］を選び、表示される案内にしたがって操作します。

- シール紙はカセットから印刷できません。オートシートフィーダにセットしてください。
- オートシートフィーダに一度にセットできる枚数は 1 枚です。

こんなこともできます

- 表示方法を変更する⇒ P.77
- 印刷する範囲を指定する－トリミング⇒ P.77

■ **すべての写真を印刷する－すべての写真を印刷**

読み込んだ写真をすべて印刷します。

以下の順に画面を表示します。

かんたん写真焼増しモード：ホームボタン→［かんたん写真焼増し］→［すべての写真を印刷］
フィルム印刷モード　　　：ホームボタン→［フィルム印刷］→［すべての写真を印刷］

それぞれの印刷メニューの画面で［すべての写真を印刷］を選び、表示される案内にしたがって操作します。

便利な表示機能を使う

表示方法を変更する

［表示方法を変更］が表示されている画面で、ファンクションボタン（左／［表示方法を変更］）を押すと、写真の表示方法を変更することができます。⇒ P.14

かんたん写真焼増しモードおよびフィルム印刷モードの場合は、［標準画面表示］、［フルスクリーン表示］または［拡大表示］を選ぶことができます。

操作方法については、「メモリーカードから印刷してみよう」の「表示方法を変更する」（P.77）を参照してください。

印刷する範囲を指定する－トリミング

液晶モニターに表示されている写真のトリミング編集を行うことができます。

操作方法については、「メモリーカードから印刷してみよう」の「印刷する範囲を指定する－トリミング」（P.77）を参照してください。

PictBridge 対応機器から印刷する

PictBridge 対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などをご使用のときは、本機と PictBridge 対応機器を各社推奨の USB ケーブルで接続して、直接写真を印刷することができます。

本機に接続できるカメラについて

- PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などで撮影した画像をパソコンを介さずに直接プリンタで印刷するための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本機と接続して画像を印刷することができます。
- カメラや携帯電話の液晶モニターなどで、印刷する画像の指定や、さまざまな印刷の設定を行うことが可能です。
  - ＊ 以降、PictBridge に対応しているデジタルカメラやデジタルビデオカメラ、カメラ付き携帯電話などを総称して、PictBridge 対応機器と呼びます。

このマークが表記されているカメラは、PictBridge に対応しています。

＊ PictBridge に関する最新情報についてはキヤノンホームページでご確認いただけます。
canon.jp/pictbridge にアクセスしてください。

PictBridge 対応機器を接続する

本機に PictBridge 対応機器を接続するときは、各社推奨の USB ケーブルを使用します。

▲ 警告

本機のカメラ接続部には、PictBridge 対応機器および Bluetooth ユニット BU-20（オプション）以外は、接続しないでください。火災や感電、本機の損傷の原因となる場合があります。

PictBridge 対応機器を接続して印刷する場合、PictBridge 対応機器の電源は、家庭用電源をご使用になることをお勧めします。バッテリーをご使用になるときは、フル充電されたバッテリーをご使用ください。

1 本機の準備をする

本機に付属の『かんたんスタートガイド（本体設置編）』の操作にしたがって、本機を印刷できるように準備してください。

PictBridge 対応機器の操作でプリントヘッド位置を調整することはできません。プリントヘッドの位置調整をしていない場合は、『操作ガイド（お手入れ編）』の「印刷にかすれやむらがあるときは」の「プリントヘッド位置を調整する」を参照し、プリントヘッドの位置を調整してください。

2 本機の電源を入れ、用紙をセットする⇒ P.15、⇒ P.18

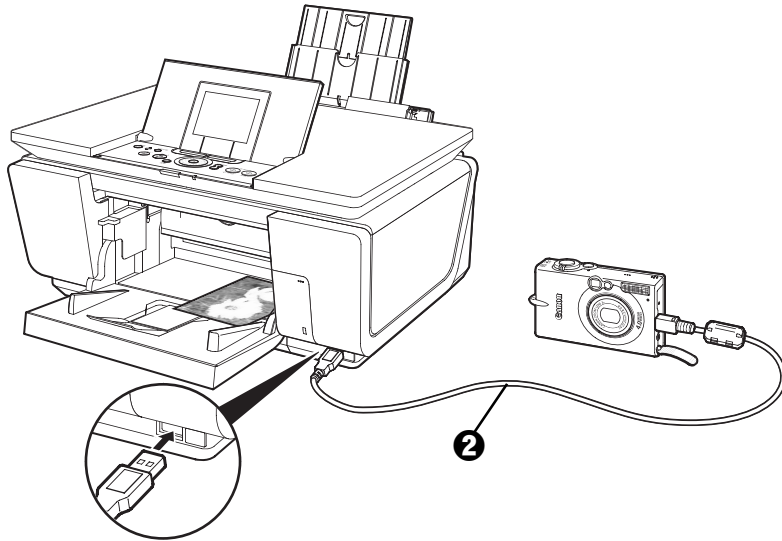
3 本機と PictBridge 対応機器を接続する

ご使用の PictBridge 対応機器の種類により、接続する前に PictBridge 対応機器で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。
ご使用の機器に付属の取扱説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。

❶ PictBridge 対応機器の電源が切れていることを確認します。

❷ 各社推奨の USB ケーブルで、PictBridge 対応機器と本機を接続します。

自動的に電源が入ります。

電源が入らない機種をご使用の場合は、手動で電源を入れてください。

❸ PictBridge 対応機器から印刷できる状態にします。

本機の接続が確認されると、PictBridge 対応機器の液晶モニターに が表示されます。

が表示されない場合は、『操作ガイド（お手入れ編）』の「困ったときには」の「デジタルカメラからうまく印刷できない」を参照してください。

PictBridge 対応機器から印刷する

操作については、必ず PictBridge 対応機器に付属の取扱説明書にしたがってください。ここでは、本機を使用したときに PictBridge 対応機器で設定できる用紙サイズ（ペーパーサイズ）や用紙タイプ（ペーパータイプ）、レイアウト、イメージオプティマイズ、日付／画像番号（ファイル番号）印刷について説明します。

■ カメラ側で PictBridge の印刷設定を確認／変更するには

使用する用紙サイズ（ペーパーサイズ）や用紙タイプ（ペーパータイプ）などを変更するときは、PictBridge 対応機器側の操作で PictBridge の印刷設定を開始し、設定内容を確認／変更してください。

説明している項目について

ご使用の機器によっては、説明している項目が設定できない場合があります。設定できない項目については、本機の設定にしたがって印刷されます。

※ 説明に使用している名称は、キヤノン製 PictBridge 対応機器を使用したときに表示される名称を例に説明しています。PictBridge 対応機器により設定項目の名称は異なる場合があります。

下記の設定項目は、PictBridge 対応機器を接続しているときに本機側の［PictBridge 設定］で変更することができます。ただし、［PictBridge 設定］で変更できるのは、機器側で下記の項目を「標準設定」（本機の設定にしたがう選択項目）にした場合のみです。

⇒「本機側で PictBridge の印刷設定を確認／変更するには」（P.109）

PictBridge 対応機器側の項目	本機側の用紙／設定画面
用紙サイズ（ペーパーサイズ）：標準設定	PictBridge 設定画面の ❶❷❹ で変更可能 ⇒「各設定項目について」（P.110）
用紙タイプ（ペーパータイプ）：標準設定	
レイアウト：標準設定	
イメージオプティマイズ（画像補正）：標準設定	PictBridge 設定画面 ❺ ～ ⓭ で変更可能 ⇒「各設定項目について」（P.110）

● 印刷できる画像データについて

本機で印刷できる画像データは、DCF 規格のデジタルカメラで撮影した画像データ *、または PNG データです。

*Exif2.21 に対応しています。

● 「用紙サイズ」（「ペーパーサイズ」）／「用紙タイプ」（「ペーパータイプ」）について

「標準設定」（本機の設定にしたがう選択項目）を選んだときには、本機側の［PictBridge 設定］で設定している［用紙サイズ］［用紙の種類］で印刷されます。

「用紙サイズ」（または「ペーパーサイズ」）と「用紙タイプ」（または「ペーパータイプ」）の設定で、本機にセットできるのは以下の用紙です。

「用紙サイズ」（「ペーパーサイズ」）の設定	「用紙タイプ」（「ペーパータイプ」）の設定	本機にセットする用紙
L 判（標準設定）	フォト（標準設定）	スーパーフォトペーパー SP-101 L
	フォト	キヤノン写真用紙・絹目調 SG-201 L
		エコノミーフォトペーパー EC-101 L
		エコノミーフォトペーパー EC-201 L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 L
2L 判	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 2L
		キヤノン写真用紙・絹目調 SG-201 2L
		エコノミーフォトペーパー EC-101 2L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 2L
はがき *2	フォト	フォト光沢ハガキ KH-201N
		ピクサスプチシール PS-101 *1*4
		ピクサスプチシール・フリーカット PS-201 *1*4
		フォトシールセット PSHRS *1*4
	高級フォト	プロフェッショナルフォトはがき PH-101
カード	フォト	エコノミーフォトペーパー EC-101 カード *4
六切 *5	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 六切
A4 *2 *3	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 A4
		キヤノン写真用紙・絹目調 SG-201 A4
		キヤノン光沢紙 GP-401 A4
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 A4
ワイド *6	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 ワイド

*1 専用のシール紙です。シール紙に印刷する場合は、「用紙サイズ」（または「ペーパーサイズ」）は「はがき」に設定します。

*2 「用紙サイズ」（または「ペーパーサイズ」）で「はがき」または「A4」を選んだときは、「用紙タイプ」（または「ペーパータイプ」）で「普通紙」を選ぶことができます。また、「用紙タイプ」（または「ペーパータイプ」）で「普通紙」が選ばれていると「レイアウト」で「フチなし」を選んでもフチありで印刷されます。

*3 「用紙サイズ」（または「ペーパーサイズ」）で「A4」を選んだときは、4 面に配置して印刷することができます。

*4 カセットから給紙した場合、故障の原因になることがありますので、必ずオートシートフィーダにセットしてください。

*5 キヤノン写真用紙・絹目調 SG-201 六切に印刷する場合は、「用紙サイズ」（または「ペーパーサイズ」）で「六切」、「用紙タイプ」（または「ペーパータイプ」）で「標準設定」を選んで印刷することができます。
＊本機の設定は、PictBridge 設定画面の ❷ で［スーパーフォト］を選んでください。⇒ P.109

*6 キヤノン製 PictBridge 対応機器のみ設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。

● 「レイアウト」／「トリミング」について

「標準設定」（本機の設定にしたがう選択項目）を選んだときには、本機側の［PictBridge 設定］の［フチあり］／［フチなし］の設定にしたがって印刷されます。「トリミング」は PictBridge 対応機器側の設定にしたがいます。

シール紙に印刷する場合は、「レイアウト」から「複数画像」を選び、「2」（2 面）、「4」（4 面）、「9」（9 面）、「16」（16 面）を設定してください。

＊ ご使用の PictBridge 対応機器により、「レイアウト」で「2 面配置」「4 面配置」「9 面配置」「16 面配置」と表示される場合があります。印刷するシール紙の面数に合わせて設定してください。

＊ PictBridge 対応機器側で「2 面」「4 面」「9 面」「16 面」に該当する選択項目がない場合は、専用のシール紙に印刷することはできません。

＊ シール紙に印刷するときは、「レイアウト」で「フチなし」を選ばないでください。

● 「イメージオプティマイズ」について

「標準設定」（本機の設定にしたがう選択項目）を選んだときには本機側の［PictBridge 設定］の設定にしたがって印刷されます。各設定については、「本機側で PictBridge の印刷設定を確認／変更するには」（P.109）を参照してください。
また、キヤノン製 PictBridge 対応機器をご使用の場合は、「VIVID」「NR」「顔明るく」「赤目補正」が設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。

※「VIVID」は、緑や青色をより鮮やかに印刷します。
「NR」は、「ノイズリダクション」の略で、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを除去します。
「顔明るく」は、逆光画像を補正して印刷します。
「赤目補正」は人物の目が赤く写った写真を補正して印刷します。

● 「日付／画像番号（ファイル番号）印刷」について

本機側では変更できません。PictBridge 対応機器側の設定にしたがいます。

※ PictBridge 対応機器側で、撮影するときに日付を写し込む機能が設定されているときには、「切」に設定してください。「日付」、「画像番号」（または「ファイル」）、「両方」に設定すると、日付や画像番号（ファイル番号）と重なって印刷されます。

● その他の設定について

キヤノン製 PictBridge 対応機器をご使用の場合は、以下の印刷機能をご使用いただけます（機種によっては設定できない場合があります）。各機能の設定については、ご使用のキヤノン製 PictBridge 対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。

- 撮影情報印刷

  撮影した時の写真情報（Exif 情報）を、一覧や指定した写真の余白に印刷できます。

  「レイアウト」を選び、「i マーク」が表示されている選択項目を選んでください。

- 35 mm フィルムサイズ（ベタ焼きサイズ）印刷

  選んだ写真やインデックス指定した写真を、35 mm フィルムサイズ（ベタ焼きサイズ）で印刷することができます。

  「レイアウト」を選び、「フィルムマーク」が表示されている選択項目を選んでください。

- PictBridge 対応機器側で接続ケーブルを抜くことが許可された場合を除いて、印刷が終了するまでは接続ケーブルを絶対に抜かないでください。接続ケーブルを取り外すときは、PictBridge 対応機器に付属の取扱説明書を参照してください。
- PictBridge 対応機器の操作で、以下の機能は使用できません。
  －印刷品質の設定
  －メンテナンス機能

■ 本機側で PictBridge の印刷設定を確認／変更するには

本機側で用紙の種類やサイズなど PictBridge 標準の印刷設定を変更する操作について説明します。

● PictBridge 設定画面の表示と設定の操作について

1 本機の電源を入れる⇒ P.15

2 PictBridge 設定画面を表示する

❶ ホーム画面から［設定］を選びます。⇒ P.13

❷ ［各設定］を選び、OK ボタンを押します。

❸ ［PictBridge 設定］を選び、OK ボタンを押します。
PictBridge 設定画面が表示されます。

3 設定を確認／変更する

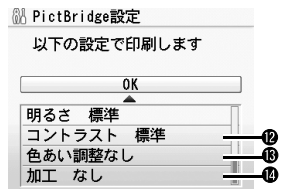
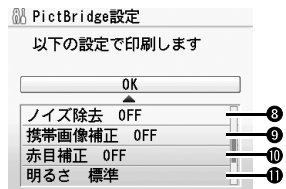
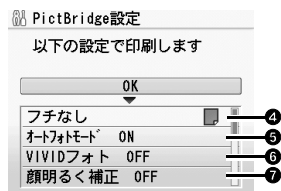
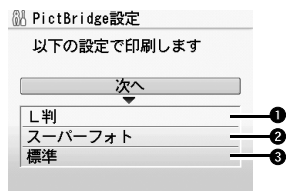
❶ 設定する項目を選び、OK ボタンを押します。

❷ 選択項目を選び、OK ボタンを押します。

❸ 印刷設定を確認し、［次へ］を選んで、OK ボタンを押します。

❹ 手順 ❶、❷ を繰り返し、各項目を設定します。

❺ 必要な項目を設定後、［OK］を選んで、OK ボタンを押します。
設定した内容で、PictBridge 対応機器から印刷できます。

● 各設定項目について

❶ PictBridge 対応機器から印刷するときの用紙サイズを設定できます。

❷ PictBridge 対応機器から印刷するときの用紙の種類を設定できます。

❸ PictBridge 対応機器から印刷するときの印刷品質を設定できます。

❹ フチのあり／なしを設定できます。

❺ ［オートフォトモード ON］を選ぶと、写真の色合いや明るさを自動補正する機能が有効になります。

❻ ［VIVID フォト ON］を選ぶと、VIVID フォト機能（緑や青色をより鮮やかに印刷）が有効になります。

❼ ［顔明るく補正 ON］を選ぶと、逆光などで暗くなった人物の顔を明るく印刷できます。

❽ ［ノイズ除去 ON］を選ぶと、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを軽減できます。

❾ ［携帯画像補正 ON］を選ぶと、輪郭のギザギザをなめらかにして印刷できます。

❿ ［赤目補正 ON］を選ぶと、人物の目が赤く写った写真を補正して印刷できます。

⓫ 明るさを調整します。

⓬ コントラストを調整できます。

⓭ 色合いを調整できます。
例えば、肌の色味の赤を強くしたり、黄色を強くすることができます。

⓮ 写真をセピア色の濃淡だけで印刷したりイラスト風に印刷したりなど、写真の加工種類を変更することができます。

ワイヤレス通信対応機器から印刷する

本機は、携帯電話から赤外線通信を利用してワイヤレスで手軽に写真を印刷することができます。またオプションの Bluetooth ユニット BU-20 を使用すると、Bluetooth 通信機能がある携帯電話からワイヤレスで印刷することができます。

重要

携帯電話から赤外線通信で正しく印刷を行うためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 対応機種：IrDA ポートを搭載し、赤外線通信による画像データ転送に対応した携帯電話
  動作確認済みの携帯電話については、キヤノンサポートホームページ canon.jp/support でご確認ください。
- 印刷可能なデータ：携帯電話のカメラで撮影した画像

● 赤外線通信で印刷するときは

印刷する用紙やレイアウトを設定する⇒下記参照

赤外線通信で印刷する⇒ P.113

● Bluetooth 通信で印刷するときは

印刷する用紙やレイアウトを設定する⇒下記参照

Bluetooth 通信で印刷する⇒ P.114

印刷する用紙やレイアウトを設定する

赤外線通信や Bluetooth 通信を利用して携帯電話から写真を印刷するときは、［ワイヤレス印刷設定］で用紙サイズや用紙の種類、レイアウトなどを設定します。Bluetooth 通信を利用してパソコンから印刷する方法については、『Bluetooth ユーザーズガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

＊ お買い上げ時から何も設定を変更していない場合は、スーパーフォトペーパー SP-101L に、フチなしで印刷する設定になっています。

■ ワイヤレス印刷設定画面の表示と設定の操作について

1 本機の電源を入れる⇒ P.15

2 ワイヤレス印刷設定画面を表示する

❶ ホーム画面から［設定］を選びます。⇒ P.13

❷ ［各設定］を選び、OK ボタンを押します。

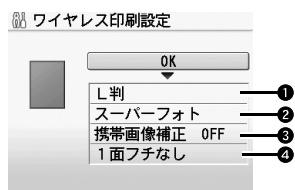
❸ ［ワイヤレス印刷設定］を選び、OK ボタンを押します。
ワイヤレス印刷設定画面が表示されます。

3 設定を確認／変更する

❶ 設定する項目を選び、OK ボタンを押します。

❷ 選択項目を選び、OK ボタンを押します。

❸ 必要な項目を設定後、［OK］を選んで、OK ボタンを押します。
設定した内容で、携帯電話の写真を印刷できます。

■ 各設定項目について

❶ 携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズを設定できます。

❷ 携帯電話の写真を印刷するときの用紙の種類を設定できます。

携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズと用紙の種類については、「本機で使用できる用紙の種類」(P.18)を参照してください。

❸ [携帯画像補正 ON]を選ぶと、輪郭のギザギザをなめらかにして印刷できます。

❹ 携帯電話の写真を印刷するとき、用紙に合わせてレイアウトを設定できます。

シール紙に印刷：

16 面シール、9 面シール、4 面シール、2 面シール、フリーカット 1、フリーカット 2、フリーカット 3、フリーカット 4

シール紙以外に印刷：

フチあり：1 ／ 2 ／ 4 ／ 8 面
フチなし：1 ／ 2 ／ 4 ／ 8 面
ミックス：ミックス 1、ミックス 2、ミックス 3

[ミックス 1]、[ミックス 2]、または[ミックス 3]は用紙サイズが[A4]または[レターサイズ]に設定されているときのみ選べます。

シール紙に印刷するには

キヤノン純正のシール紙で印刷するときは、以下のように設定してください。

用紙の名称	用紙サイズ	用紙の種類	レイアウト
ピクサスプチシール PS-101	シール紙	スーパーフォト	16 面シール
ピクサスプチシール・フリーカット PS-201	シール紙	スーパーフォト	フリーカット 1、フリーカット 2、フリーカット 3、フリーカット 4
フォトシールセット PSHRS	シール紙	スーパーフォト	印刷するシールに合わせて 2 面シール／ 4 面シール／ 9 面シール／ 16 面シール

ワイヤレス通信で印刷してみよう

赤外線通信で印刷する

携帯電話の写真を赤外線通信で印刷できます。

赤外線通信で印刷を行う場合は、ご使用の携帯電話に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。

1 印刷の準備をする

❶ 本機の電源を入れます。⇒ P.15

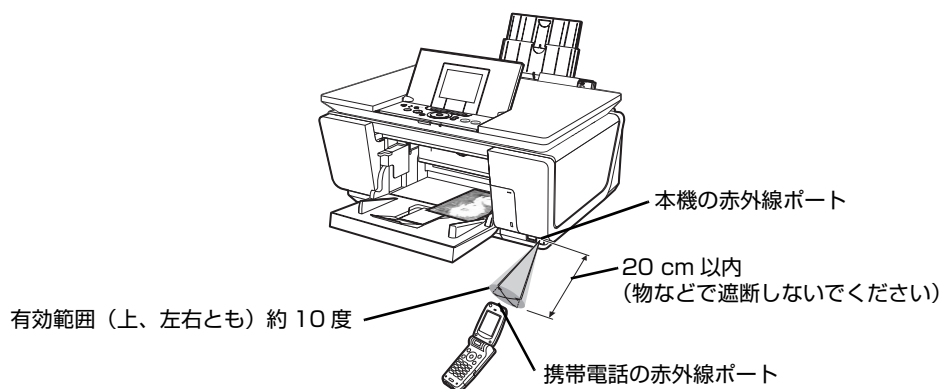
❷ 用紙をセットします。⇒ P.18

❸ 給紙箇所を確認します。⇒ P.24

2 印刷する用紙やレイアウトを設定する⇒ P.111

3 赤外線通信を開始する

❶ 携帯電話の赤外線ポートを、本機の赤外線ポートと 20 cm 以内の距離で正面に向き合うように置きます。

本機の赤外線ポートの有効角度は、上、左右ともに中心軸に対して約 10 度です。ただし、通信相手となる携帯電話によっては、本機との通信可能な距離が異なります。携帯電話に付属の取扱説明書で確認してください。

❷ 印刷したい写真を選び、携帯電話の赤外線ファイル転送機能で、データを本機に送信します。
データの送信が終了すると、印刷が開始されます。

- 携帯電話から印刷する操作については、携帯電話に付属の取扱説明書を参照してください。
- 本機の赤外線ポートと携帯電話の赤外線ポートの間に物などを置いて遮断しないでください。送受信ができなくなります。
- データを受信中は、本機と赤外線通信の接続を切らないように注意してください。もし切れてしまった場合は、もう一度携帯電話からデータを送信してください。
- ご使用の機種により、赤外線による転送容量に制限があるため、高画質での印刷ができないことがあります。
- 印刷して画像が粗くなるときは、名刺サイズやカードサイズ、シール紙などの小さいサイズの用紙で印刷することをお勧めします。

送信できるデータについて

- 携帯電話のセキュリティ設定のため、ダウンロードしたコンテンツや、メールに添付された URL からダウンロードした写真等は印刷できません。
- 動画は印刷できません。
- 画像の大きさによって送信を開始してから印刷が開始されるまで時間がかかることがあります。
- ご使用の機種により、メモリーカードに保存したデータは印刷できないことがあります。
- 印刷される画像の品質と印刷される向き（縦または横）は、撮影した画像サイズによって自動的に設定されます。
- 携帯電話で撮影した画像のサイズによっては、フチなしで印刷すると左右と上下の画像が切れたり、フチありで印刷すると左右上下の余白の大きさが変わることがあります。
- 1.8 MB 以上の画像サイズは、送信できない場合があります。

Bluetooth 通信で印刷する

ここではオプションの Bluetooth ユニット BU-20 を使って、携帯電話などの Bluetooth 対応機器から写真を印刷する操作手順について説明します。

パソコンから印刷する方法については、『Bluetooth ユーザーズガイド（電子マニュアル）』を参照してください。

OPP（Object Push Profile）または BIP（Basic Imaging Profile）のプロファイルに対応している携帯電話から印刷できます。

ご使用の携帯電話が対応しているプロファイルについては、ご使用の携帯電話に付属の取扱説明書を参照してください。

■ Bluetooth 通信で印刷する

携帯電話から Bluetooth 通信で印刷を行うときは、ご使用の携帯電話に付属の取扱説明書もあわせて参照してください。

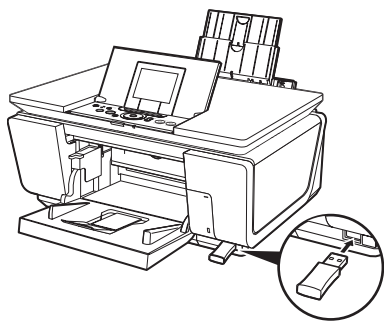
1 印刷の準備をする

❶ 本機の電源を入れます。⇒ P.15

❷ 用紙をセットします。⇒ P.18

❸ 給紙箇所を確認します。⇒ P.24

2 Bluetooth ユニットを取り付ける

本機のカメラ接続部に Bluetooth ユニットを差し込みます。

3 印刷する用紙やレイアウトを設定する⇒ P.111

4 携帯電話から印刷を開始する

●機種名を選ぶ場合は、本機の初期設定「Canon MP960-1」を選んでください。

●パスキーの入力を求められた場合は、初期設定「0000」を入力してください。

機種名やパスキーなどの設定は、本機の Bluetooth 設定画面で変更できます。⇒ P.116

- 通信距離は約 10 m ですが、以下の状況によって変化する場合があります。また、以下の状況により、印刷速度が変化する場合があります。
  －通信機器間の障害物や電波状況
  －磁場、静電気、電波障害の発生する場所
  －通信する機器の受信感度、アンテナ性能
- 送信できるデータについては「送信できるデータについて」(P.114) を参照してください。

■ Bluetooth 通信の設定を変更する－ Bluetooth 設定

機種名やパスキーなどの Bluetooth 通信の設定を変更できます。

1 本機の電源を入れる⇒ P.15

2 Bluetooth ユニットを取り付ける

3 Bluetooth 設定画面を表示する

❶ ホーム画面から［設定］を選びます。⇒ P.13

❷ ［各設定］を選び、OK ボタンを押します。

❸ ［Bluetooth 設定］を選び、OK ボタンを押します。

4 設定を確認／変更する

❶ 設定する項目を選び、OK ボタンを押します。

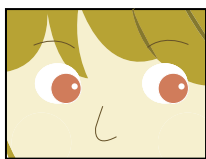
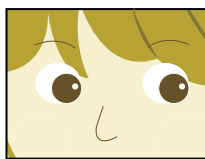
❷ イージースクロール ホイールか ▲▼◀▶ ボタンで選択項目を選び、OK ボタンを押します。

■ 各設定項目について

- ［機種名選択］： Bluetooth 対応機器に表示される本機の機種名を設定できます。
  ここで［MP960-2］に設定すると、Bluetooth 対応機器に表示される本機の機種名が「Canon MP960-2」となります。初期設定は［MP960-1］です。
- ［アクセス拒否設定］： ［する］に設定すると、Bluetooth 対応機器から本機を検索できなくなります。
- ［セキュリティ設定］： ［有効］に設定すると、［パスキー変更］で設定したパスキーが有効になります。パスキーを設定することで、ほかの Bluetooth 対応機器からの不正な使用を防ぐことができます。
- ［パスキー変更］： パスキーを変更できます。パスキーとは、ほかの Bluetooth 対応機器からの不正な使用を防ぐために設定する暗証番号です。
  初期設定は［0000］です。
  パスキーを変更すると、今まで印刷できていた Bluetooth 対応機器でパスキーの入力が求められる場合があります。その場合は、変更したパスキーを入力してください。

メモリーカードの写真をきれいに印刷しよう

印刷設定を変更して、写真をよりきれいに印刷してみましょう。印刷設定の変更のしかたについては本書34ページを参照してください。

人物の目が赤く写ったときは

赤目補正 OFF *

赤目補正 ON

空などの青い部分や、暗い部分にノイズが多いときは

ノイズ除去 OFF *

ノイズ除去 ON

海や空、草原などの風景写真をより鮮やかに印刷したいときは

VIVID フォト OFF *

VIVID フォト ON

逆光などで写真が暗くなったときは

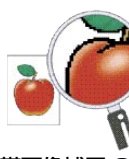
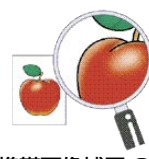
顔明るく補正 OFF *

顔明るく補正 ON

写真が暗すぎたり、明るすぎたりしたときは

オートフォトモード OFF

オートフォトモード ON *

輪郭のギザギザをなめらかにして印刷したいときは

携帯画像補正 OFF *

携帯画像補正 ON

* 初期設定

写真に合わせて明るさやコントラスト、色あいを調整してみましょう！

明るさ

明るさ －2

暗く

明るさ 標準

明るく

明るさ ＋2

コントラスト

コントラスト －2

弱く

コントラスト 標準

強く

コントラスト ＋2

色合い

肌色 赤＋2

赤色強く

色あい 調整なし

黄色強く

肌色 黄＋2

セピア色やイラスト風に印刷すると、おもむきのある写真が出来上がり！

加工なし

セピア

イラストタッチ

●キヤノン PIXUS ホームページ　canon.jp/pixus

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

●キヤノンお客様相談センター

PIXUS・インクジェット複合機に関するご質問・ご相談は、下記の窓口にお願いいたします。

キヤノンお客様相談センター

050-555-90012

【受付時間】〈平日〉9:00 ～ 20:00、〈土日祝日〉10:00 ～ 17:00（1/1 ～ 1/3 は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9631 をご利用ください。
※ＩＰ電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本機で使用できるインクタンク番号は、以下のものです。

BCI-7eBK

BCI-7ePC

BCI-9BK

BCI-7eM

BCI-7eC

BCI-7ePM

BCI-7eY

※インクタンクの交換については、『操作ガイド（お手入れ編）』の「インクタンクを交換する」を参照してください。

紙幣、有価証券などを本機で印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条／通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条　等

再生紙を使用しています。

QT5-0661-V01

PRINTED IN THAILAND